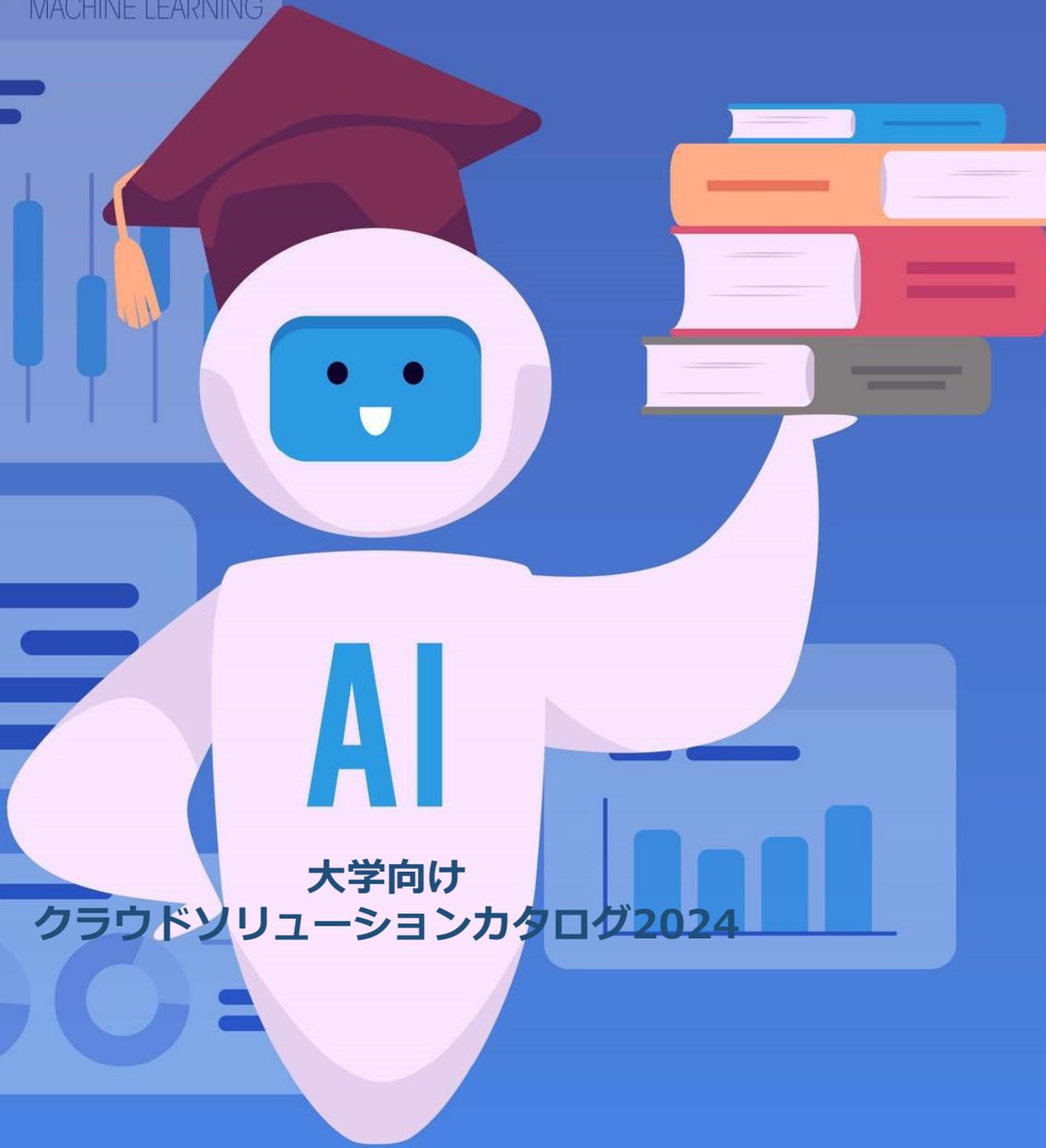


MACHINE LEARNING



大学向け

クラウドソリューションカタログ2024

# AI TOOLS FOR EDUCATION

## 「大学向けクラウドソリューションカタログ 2024」の発行に寄せて

大学 ICT 推進協議会 クラウド部会

主査 渡邊 英伸（広島大学）

本年度も本カタログを発行できる運びとなりました。これも日頃から大学 ICT 推進協議会クラウド部会にご参加いただいている会員様のご支援あつてのことと厚く御礼申し上げます。

クラウドサービスは教育機関や研究機関において不可欠な基盤となり、その柔軟性や拡張性により、多様な課題に対応し、新しい価値を創出する原動力となっています。そして今、AI 技術との融合がクラウドの重要性をさらに高め、これまでにない革新の波を起こしています。また、セキュリティの重要性もかつてないほど高まっており、クラウド環境におけるデータの保護、AI モデルのセキュリティ、そして適切なアクセス管理は、信頼性の高い運用を実現するために不可欠です。

本カタログは、最新のクラウドソリューションを網羅し、大学が直面する多様な課題に対する最適な解決策を提供することを目的としています。クラウドの活用は、教育の質の向上、研究の効率化を高める鍵となります。本カタログが、皆様のクラウド導入・活用における道標となり、大学のさらなる発展と安全なデジタルトランスフォーメーションに貢献することを願っています。

クラウド部会では、AXIES 年次大会における企画セッションの開催のほか、北海道大学や広島大学で開催される関連シンポジウムとの連携などにより、クラウド普及活動を推進しております。クラウドの導入や更なる活用を検討されている正会員様、大学向けにクラウドサービスやソリューションを提案されたい賛助会員様のご参加をお待ちしております。

以上



# 大学向けクラウドソリューションカタログ 2024 目次

「大学向けクラウドソリューションカタログ 2024」の発行に寄せて／

大学 ICT 推進協議会 クラウド部会 主査 渡邊 英伸 . . . . . 01

**特集：クラウド AI サービス** . . . . . 06

## 1. 教育支援系ソリューション

- (1) ATR CALL BRIX／株式会社内田洋行 . . . . . 17
- (2) 画面モニタリングシステム RealCAST (リアルキャスト)／株式会社内田洋行 . . . . . 19

## 2. 研究支援系ソリューション

- (1) Cloud Volumes ONTAP／ネットアップ合同会社 . . . . . 23
- (2) Autonomous Ransomware Protection + Cloud Insights Storage Workload Security による多層防御  
／ネットアップ合同会社 . . . . . 25
- (3) BlueXP Classification で実現するデータガバナンス／ネットアップ合同会社 . . . . . 27
- (4) FlexPod XCS／ネットアップ合同会社 . . . . . 29
- (5) NetApp Keystone for Storage as a Service (STaaS)／ ネットアップ合同会社 . . . . . 31
- (6) codemari クラウドサービス／株式会社内田洋行 . . . . . 33

## 3. 事務支援系ソリューション

- (1) TWX-21 MRO 集中購買サービス／株式会社日立製作所 . . . . . 37
- (2) RoomSense クラウドサービス／株式会社内田洋行 . . . . . 39

## 4. 情報基盤系ソリューション

- (1) さくらのVPS／さくらインターネット株式会社 . . . . . 43
- (2) さくらのクラウド／さくらインターネット株式会社 . . . . . 45
- (3) さくらの専用サーバ PHY (ファイ)／さくらインターネット株式会社 . . . . . 47
- (4) SINET 接続サービス／さくらインターネット株式会社 . . . . . 49
- (5) 脆弱性管理サービス／アイティーエム株式会社 . . . . . 51
- (6) EverFlex from Hitachi 仮想化基盤／株式会社日立製作所 . . . . . 53
- (7) エンタープライズクラウドサービス G2／株式会社日立製作所 . . . . . 55
- (8) クライアントサービス 日立のデータセンター／株式会社日立製作所 . . . . . 57
- (9) フェデレーテッドクラウド管理 (監視・タスク実行・ファイル転送) サービス／株式会社日立製作所 . . . . . 59
- (10) 日立 データセンターサービス／株式会社日立製作所 . . . . . 61
- (11) リモートアクセスシステム DoMobile／株式会社日立ソリューションズ・クリエイト . . . . . 63
- (12) RevoWorks クラウド／ジェイズ・コミュニケーション株式会社 . . . . . 65

(13) Cato クラウド (SASE ソリューション) / ジェイズ・コミュニケーション株式会社	67
(14) Darktrace ActiveAI Security Platform / ジェイズ・コミュニケーション株式会社	69
(15) Nutanix Enterprise AI / Nutanix Japan 合同会社	71
(16) Nutanix Kubernetes Platform / Nutanix Japan 合同会社	73
(17) ExtremeCloud™ IQ / Extreme Networks 株式会社	75
(18) Wasabi Hot Cloud Storage Wasabi Cloud NAS / Wasabi Technologies Japan 合同会社	77

## 5. その他ソリューション

(1) ASSETBASE / 株式会社内田洋行	81
(2) ソフトウェア配布提供システム Download Station / 株式会社内田洋行	83
(3) ウチダの Office 学割 U365 / 株式会社内田洋行	85
(4) ウチダのパソコン学割 U365 / 株式会社内田洋行	87
(5) ウチダの証明書学外発行サービス / 株式会社内田洋行	89
(6) SiteScan2.0(プラットフォーム診断) / アイティーエム株式会社	91
(7) WebSiteScan(Web アプリケーション脆弱性診断) / アイティーエム株式会社	93

## 6. 大学向けクラウドソリューション比較表

97

## 7. 大学におけるクラウド導入事例

(1) ルミネイトエデュケーション / Extreme Networks 株式会社	107
(2) 桜美林大学 / さくらインターネット株式会社	109
(3) 流通経済大学 / さくらインターネット株式会社	111
(4) 九州大学 / さくらインターネット株式会社	113
(5) 京都産業大学 / Nutanix Japan 合同会社	115
(6) 九州産業大学 / Nutanix Japan 合同会社	117
(7) 滋賀大学 / Nutanix Japan 合同会社	119
(8) 北見産業大学 / Nutanix Japan 合同会社	121

## 8. クラウドプロバイダ紹介

(1) さくらインターネット株式会社	125
(2) アイティーエム株式会社	127
(3) Extreme Networks 株式会社	129

企業別索引	132
-------	-----

大学 ICT 推進協議会クラウド部会の歩み	134
-----------------------	-----

大学 ICT 推進協議会クラウド部会 ご入会のご案内	137
----------------------------	-----



# 特集

## クラウド AI サービス

大規模言語モデル（LLM）が盛り上がりを見せ、推論用のアクセラレータでは NVIDIA 以外に Groq や SamvaNova、Cerebras といったスタートアップも注目を集めています。クラウドサービスも AI により新たな進化の段階にあり、AI を取り入れたサービスが賑わっています。本特集ではクラウド AI サービスに関連し、さくらインターネット社より IaaS、ネットアップ社より「AI の真価を導くインテリジェントデータインフラの価値」とする調査レポート、エクストリーム ネットワークス社より AIOps を紹介しております。

## さくらインターネット株式会社

### 「NVIDIA H100 Tensor コア GPU」 2,000 基を整備完了

#### ～生成 AI 向けクラウドサービス「高火力」にて、計算能力 2.0EF を達成～

デジタルインフラサービスを提供するさくらインターネット株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：田中 邦裕、以下「さくらインターネット」）は、石狩データセンターにおいて「NVIDIA H100 Tensor コア GPU」を約 2,000 基整備する計画が完了したことをお知らせします。これにより、生成 AI 向けクラウドサービス「高火力」は計算能力 2.0EFLOPS（エクサフロップス）※を達成いたしました。



石狩データセンターにおける「NVIDIA H100 Tensor コア GPU」

当社が 2023 年 6 月に発表した本計画は、経済安全保障推進法に基づく特定重要物資である「クラウドプログラム」の供給確保計画に関する経済産業省の認定を受けました。2025 年 3 月末までの完了を予定しておりましたが、多くの引き合いがあり予定よりも前倒して整備を進め、2,016 基の「NVIDIA H100 Tensor コア GPU」を整備完了する運びとなりました。

供給確保計画認定日	GPU搭載数	計算能力	期間
2023年6月16日	約2,000基	2.0EFLOPS	2023年7月から2025年3月末まで
2024年4月15日	約8,000基	16.9EFLOPS	2024年4月から2027年12月末まで

さくらインターネットは、2016 年より GPU リソースサービスを提供しています。特に 2024 年 1 月より提供を開始した「高火力」は、大規模言語モデルなどの生成 AI を中心とした利用を想定したクラウドサービスです。現在「高火力」は、2024 年 1 月から第 1 弾としてベアメタルシリーズ「高火力 PHY」を、2024 年 6 月から第 2 弾としてコンテナシリーズ「高火力 DOK」を提供しています。今後「高火力」では時間単位で貸し出しができ、かつ環境構築の柔軟性が高いクラウドシリーズの提供など、さらにサービスを拡大する予定です。

さくらインターネットはコンピューティングリソースを安定供給確保し、デジタルインフラ企業として今後もデジタル社会の継続的な発展へ寄与してまいります。

※ 半精度、Sparsity Acceleration なし

<https://www.sakura.ad.jp/>

お問い合わせ先：プラナスソリューションズ株式会社(さくらグループ) 須藤 sudo@prunus-sol.co.jp

## ネットアップ合同会社

### AI の真価を導くインテリジェントデータインフラの価値

～NetApp が 2024 年 4 月に公開した「データ複雑性レポート 2024」の調査結果を踏まえて～

#### はじめに

昨年に引き続き、生成 AI の盛り上がりは衰えるどころか、具体的な応用や製品への組み込みが進み、勢いを増すばかりの状況です。生成 AI のモデルを開発している企業からは、続々と昨年よりも性能の向上したモデルが発表され、クラウドベンダー各社も生成 AI のサービスや、付随して必要となる関連サービスを充実させています。

そうした状況を俯瞰するために、弊社は昨年に引き続き「クラウド複雑性レポート 2024」を 4 月に公開させていただきました。本記事では、「クラウド複雑性レポート 2024」の内容を下敷きしつつ、関連する調査データや論文データを引用し、組織が AI を用いてどのように競争力を高めるのか、また、実現をするための課題と解決策についてご説明をさせていただきます。

#### AI の取り組みは進むが、一方で格差も産まれる

では、具体的にどの程度、AI への取り組みが進んでいるのでしょうか。ここでは、AI への取り組みにおけるグローバル全体および、各国の比較データをご紹介します。



#### Q: AI の導入はどの段階まで進んでいますか？

グローバル全体で見ると、49%の組織が、「特定の AI プロジェクトにコミットしており稼働中」、「AI プロジェクトを試験的に実施、または、2024 年中に実施する予定」といった、AI への取り組みをしっかりとハンドリングしている状況であることが分かります。特に、インドにおいては、70%もの組織が AI への取り組みをハンドリングしている状況であると答えています。

一方で、我々日本の組織を見てみると、わずか 19%の組織しか、AI への取り組みをハンドリングできていないという調査結果が得られています。この数字に関しては、様々な企業の取り組みを見ている立場上、若干の疑問はあるものの、AI への取り組みの進み方については、既に格差が生まれ始めているという事実に関しては、疑問の余地はないでしょう。

実際、弊社においても組織内で利用できる生成 AI サービスがありますが、社員に対して利用しているかどうかを尋ねてみると、積極的に利用していると答える人と、全く利用していないと答える人に二極化していることが分かります。

## AI 開発、AI 活用の両面で重要度を増しているクローズドデータ

日本で AI の取り組みが遅れている事に関して、悲観的になるかもしれませんが、実は、そこまで悲観的になる必要はありません。生成 AI の世界では、毎年、昨年より性能の高いモデルが公開され、AI にできるタスクが増えているという性質上、先行する組織の取り組みを後追えば、キャッチアップはしやすいと言えるからです。

では、組織の競争力を高めるようなタスクに対応できる AI モデルが開発されるのを待てば良いのかと言われると、実はそこにも課題がありそうだという事が分かってきました。

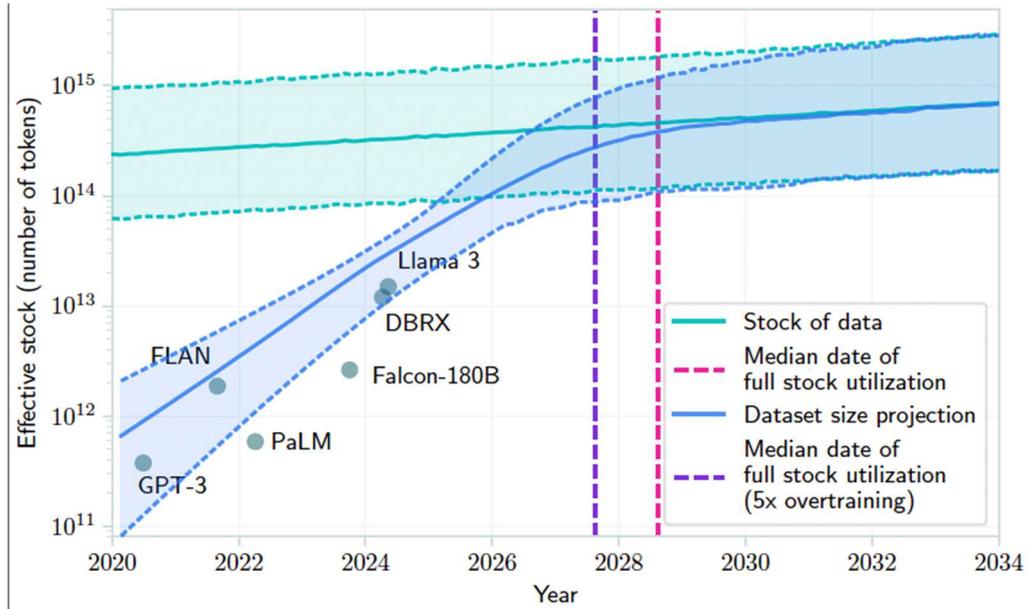


図. 大規模言語モデルの学習に使用された、公開テキストとデータセットの在庫予測

Will we run out of data? Limits of LLM scaling based on human-generated data(Villalobos et al., 2024)より引用

この図は 2024 年に発表された論文から引用しているものですが、現在のスピードで AI モデル開発が進むと、2026 年～2028 年頃には、人類が生み出した学習に使えるデータをすべて消費してしまい、データの在庫が枯渇、結果 AI モデルの性能向上が停滞してしまうという予測を示すものです。

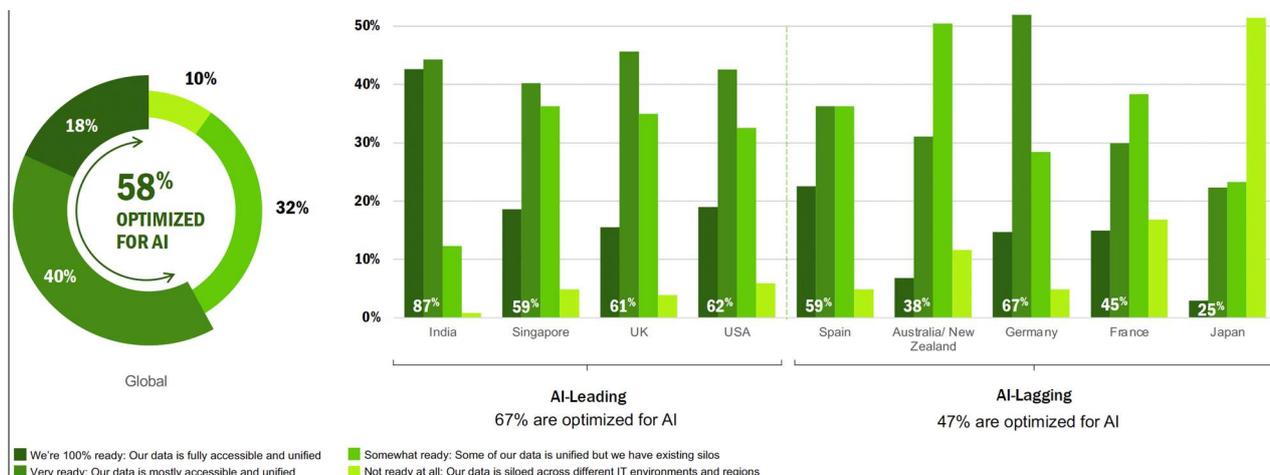
もちろん、こうした課題を乗り越えて、AI モデルの性能向上は現在と変わらない速度で伸びていく事も考えられますが、良いモデルが出てくるのをただ待っていれば良い、という単純な状況で無いことは理解できたかと思います。では、どのようにすれば良いのか？という疑問が湧くかと思いますが、この論文の中でも、以下の 4 つの戦略が提示されています。

- ① AI 生成データを用いた学習
- ② マルチモーダルと転移学習
- ③ クローズドデータを用いた学習
- ④ データ学習効率の向上

ネットアップは 30 年以上、お客さまのデータを保存するストレージを提供してきたため、特に③のクローズドデータを用いた学習に注目しています。この論文の主張は、AI 開発においてクローズドデータを用いた学習がデータ枯渇に対する一つの戦略であるという事です。AI 開発に限らず、AI 活用においても、クローズドデータを用いることで既存モデルを拡張することができます。従って、AI 開発・AI 活用の両面において、どのようにクローズドデータに AI を導くかが、今後重要になってくると考えられます。

## クローズドデータを AI に導く際に直面する課題

どのようにクローズドデータを AI に導くか、という話をする前に、なぜそれが難しいのかという課題を弊社のレポートのデータを下敷きにご紹介をいたします。



### Q: AI の影響を最適化するために、IT 環境におけるデータ基盤とデータ管理はどの程度整っていますか？

始めに、AI を最適に活用するためのデータインフラとデータ管理がどの程度準備できているかという問いに関して、グローバル全体では 58%の組織が AI を最適に活用する準備ができていると答えていますが、日本においては、25%の組織しか準備ができていません。つまり、特に日本国内においては、データ基盤がサイロ化しており、簡単に利活用できない状態であることが分かります。

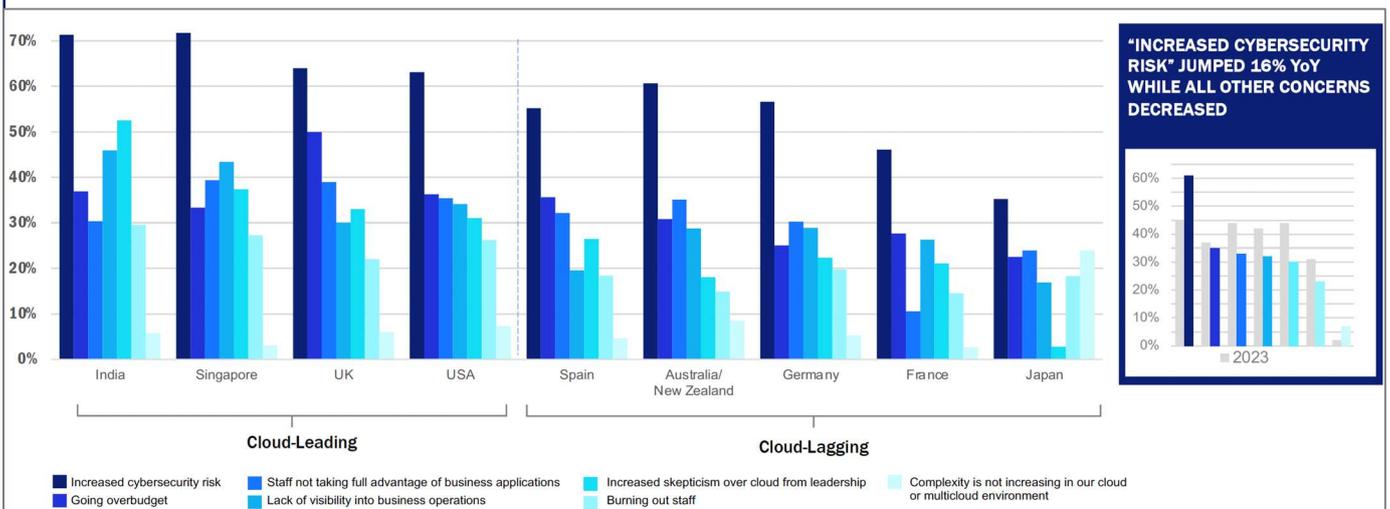


### Q: IT 環境にデータサイロが存在すると、AI プロジェクトの進捗にどのような支障が生じるか？

サイロ化することで、どのような問題が顕在化するかという質問に対しては、特にコストや時間、人的リソースが多く必要になるということが、グローバル全体の調査結果から分かります。実際、AI 関連の PoC 等を支援する際も、AI を用いてどのような価値を生み出すかという取り組みにかかる時間よりも、どのようにデータを集めるのか、また、どのようにデータを加工するのか、といった課題に時間をかけているお客さまが多くいらっしゃいます。

また、昨今はオンプレだけ、クラウドだけといった環境だけでなく、複数のクラウドを跨がってマルチクラウドの環境を利用している組織や、オンプレとクラウドを組み合わせたハイブリッドクラウドの環境を利用している組織もあり、AI で導きたいデータの保存先はあらゆる場所に散らばっています。

本カタログのテーマである、クラウドやマルチクラウドの環境に目を向けると、AI 開発や AI 活用で利用したいデータの管理において、どのような課題があるのでしょうか。



**Q: クラウドやマルチクラウド環境で複雑化するデータを管理することが、ビジネスに与える最大の影響とは？**

調査によると、クラウドに先進的な国でも、後進的な国でも、サイバーセキュリティとコストの問題を挙げています。特に、サイバーセキュリティに関しては、昨年の調査と比較して 16%増加するなど、昨今増えているランサムウェア等のサイバー攻撃をクラウド、マルチクラウド環境でどのように防いでいくのかという課題感が感じられます。

**AI サービスに NetApp ストレージを活用する事で得られる価値**

では、クローズドデータを AI に導くために、サイロ化・コスト増・サイバーセキュリティといった課題に対して、我々 NetApp はどのような価値を提供できるのでしょうか。

これまで 30 年以上お客さまにストレージを提供してきた NetApp には、AI サービスにデータを導く基盤でもご利用いただけるインテリジェントな機能が豊富に揃っており、以下の価値をご提供できます。

- サイロの排除による運用の簡素化
  - データファブリックを実現する様々なデータ機能により活用したいデータを一元管理
  - RAG のために新たなストレージを用意すること無く、既存環境から権限も含めて連携
- コストの最適化
  - 重複排除、圧縮、コンパクションによるストレージのコスト効率化機能
  - Spot by NetApp を活用した FinOps でクラウド全体のコストを削減
- サイバーセキュリティの強化
  - 米国国家安全保障局、国防総省など高度なセキュリティ認証を取得
  - マルチテナントでセキュリティを分けつつ機微な情報も分類/マスクすることで AI から活用
  - ランサムウェアを検知出来る ARP(Autonomous Ransomware Protection)機能

今後の AI 開発、AI 活用において、データに関する課題がございましたら、是非ご相談ください。

<https://www.netapp.com/ja/>

お問い合わせ先：ネットアップ合同会社 脇 masahiro.waki@netapp.com

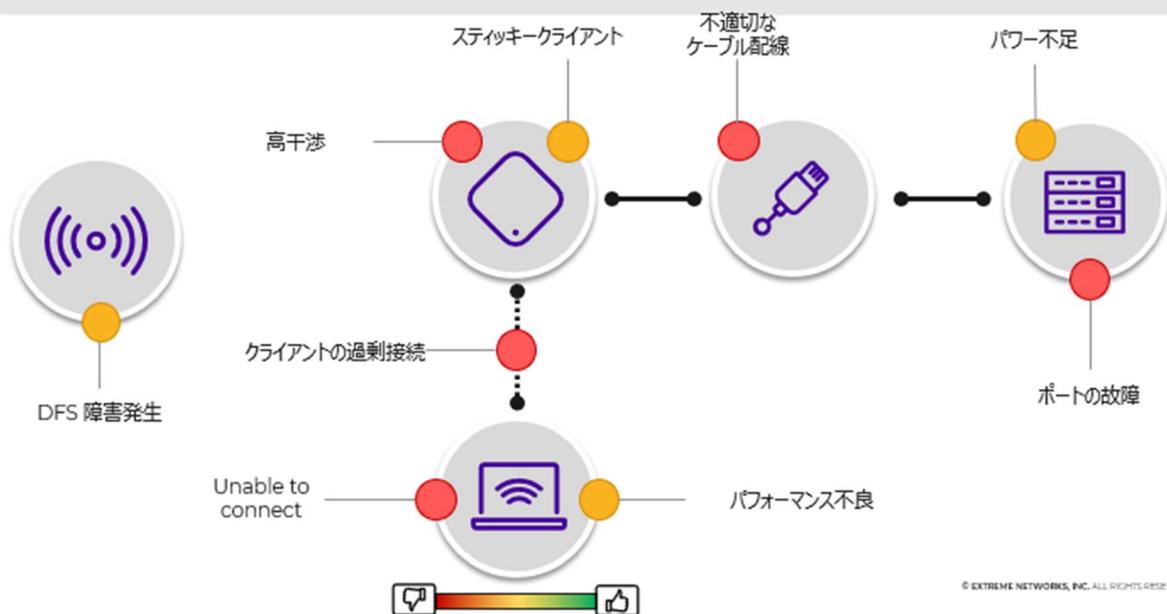
## エクストリーム ネットワークス株式会社

### ExtremeCloud CoPilot

#### <IT の効率化を妨げる一般的な問題>

IT チームの問題をさらに複雑にしているのは、ネットワークの問題はどこにでも転がっている可能性があるため、特定が難しく、IT 効率を妨げる一般的な問題が数多く存在することです。これらの問題は IT チームからリソースを奪う可能性があります。IT チームはトラブルシューティング、根本原因分析の実施、オンサイト訪問を行う必要があり、ダウンタイムやパフォーマンス低下の影響に対処する可能性があるからです。これらの課題はすべて、ネットワーク・チームを、本来取り組むべき戦略的イニシアチブから引き離します。

#### ITの効率化を妨げる一般的な問題



#### <AIOps の必要性>

ネットワークの複雑性の課題と IT リソースの枯渇は大きな課題です。加えて、IT チームはアジャイル手法を採用し、多くの役割を担うようになり、進化しています。深いドメインの専門家はますます少なくなっています。クラウド技術は著しく成長しており、調査では、将来的にほぼすべてのネットワークがクラウド管理されるようになると指摘されています。これらのトレンドは、AIOps の必要性と同時に可能性をもたらしています。クラウドに大量のデータを取り込み、そのデータに機械学習テクノロジーを適用することで、IT チームは AIOps を利用してはるかに効率化し、戦略的な運用を取り戻すことができます。

#### <ExtremeCloud IQ CoPilot>

ExtremeCloud CoPilot は、問題が発生する前に解決することで、IT 運用チームが時間を節約し、リスクを低減できるようにする AIOps ソリューションです。また、問題が発生した場合でも、CoPilot は問題の特定、理解、修正を迅速に行うことで、MTTR (平均解決時間) を短縮することができます。ExtremeCloud CoPilot は、ML/AI を導入して、問題を予測し、より迅速に解決し、ネットワークを修正するための推奨事項を説明します。

## <AIOpsによる平均解決時間（MTTR）の短縮>

Extreme AIOps のビジョンは、プロアクティブな対応によってトラブル・チケットを削減し、問題が発生した場合の MTTR を短縮することで、組織の効率化を支援することです。以前は AIOps がなければ、問題を特定し、その解決方法を知るまでに数時間、数日、あるいは数週間を要していたでしょう。この作業の多くの部分は手作業で行われ、現場への訪問が必要であり、何が起きているのかを理解するためにログやトラブルチケットを膨大に解析する必要があるからです。

Extreme CoPilot を使用すると、問題の特定、把握、修正、検証に必要な時間が大幅に短縮されます。



クラウドベースの SaaS ソリューションである ExtremeCloud CoPilot は、既存のライセンスに機能を追加することができ、リスクをさらに低減し、IT チームの時間を節約するのに役立ちます。

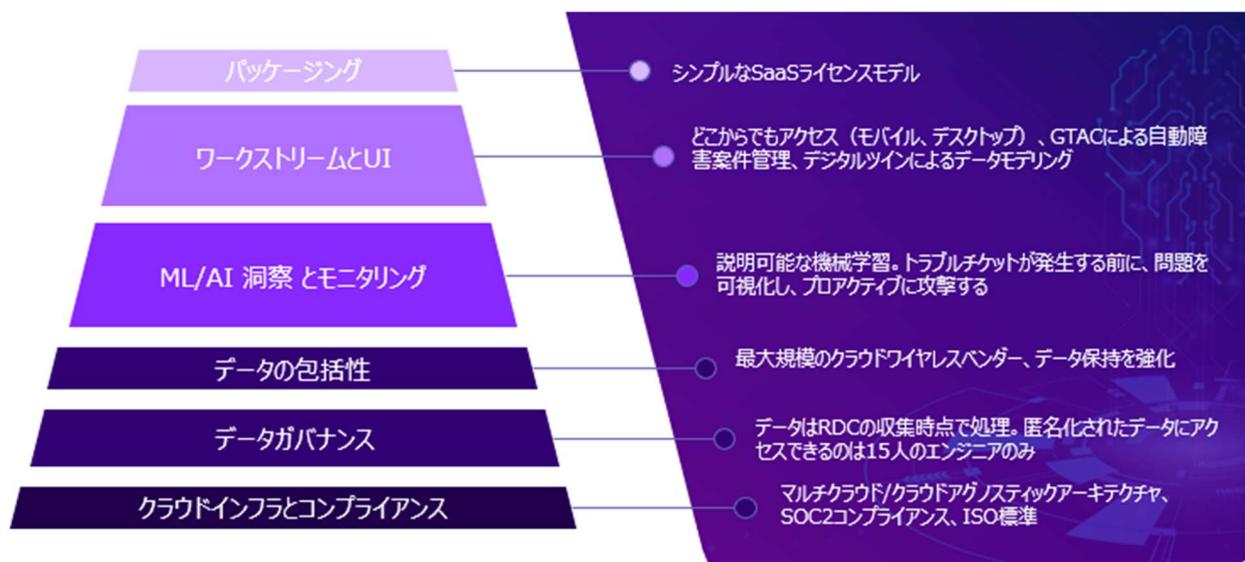
すべての AIOps ソリューションが同じように構築されているわけではありません。AIOps ソリューションを導入する前に、さまざまなコンポーネントを検討する価値があります。例えば、堅牢なクラウド上に構築されているか？データガバナンス要件をサポートしているか？最も有用な ML/AI レコメンデーションを提供する包括的なデータセットを可能にするクラウドベースのプラットフォーム上に構築されているか？すっきりとしたユーザーインターフェースと、既存の業務にうまく統合できるワークストリームを持っているか？

Extreme AIOps は強固な基盤の上に構築されています。多くの場合、他社のソリューションでは、ソリューション全体にわたって ISO 標準を持たないため、データが漏洩する危険性があると考えられます。

クラウド・インフラストラクチャ： ダウンタイムを防ぎ、セキュリティを維持するために、AIOps ソリューションは強固で安全なクラウド上に構築されなければならない。

データガバナンス： 複数のパブリック・クラウド・プロバイダーを利用したり、自社のデータセンターを利用したりすることで、組織の柔軟性/俊敏性、回復力を高め、多くのデータ・ガバナンスのユースケースに適合させることができる。

AI/ML インサイト&モニタリング： デバイスやクライアント全体のプロアクティブな運用と可視化により、トラブルチケットや人的介入、スタッフの訪問の必要性を低減。



ExtremeCloud IQ が提供する Extreme AIOps により、IT 管理者は統合、自動化、セキュアなエクスペリエンスでリスクを低減し、運用を簡素化できます。統合：Site Engine、WiNG、またはオンプレミス用の ExtremeCloud IQ Controller を使用してハイブリッドネットワークをシームレスに構築し、ExtremeCloud IQ にリンクしてクラウドを管理できます。サードパーティや IoT デバイスの管理有線+無線+SD-WAN の管理自動化 Explainable-ML を活用した洞察と推奨事項の提供により、IT 運用の効率化を実現ユニバーサル・プラットフォームによるシームレスなクラウド移行 Extreme Fabric でネットワークを自動的にプロビジョニング&セグメント化セキュア：他のクラウドベンダーがクラウド設備のみを認証しているのに対し、Extreme AIOps はソリューション全体が ISO 認証を取得しています。さらに SOC2 コンプライアンス、CSA 認証、GDPR コンプライアンスも取得しているため、企業はセキュアなクラウド上に安心してネットワークを構築できます。

**Copilot ケーススタディ:**  
リモートオフィスにおけるパフォーマンスの解決

**課題**  
オフィス内のアプリケーションは動作はしたが、かなりのフラストレーションがたまる。ネットワークは遅いが機能しているように見えたため、だれもITに苦情は言わなかった。

**COPILOT DETECTが問題を検知**  
CoPilot は、Wi-Fi 効率の問題を IT 部門に積極的に警告し、AP ハードウェアやクライアント・ドライバの問題を除外して、ネットワークパフォーマンスの低下を引き起こしている最も可能性の高い異常は、信号対雑音比 (SNR) の低さであることを特定しました。

**説明可能なインサイト**  
Co-Pilot は、問題が発生しているオフィスの特定のエリアを特定しました。RF 干渉と低 SNR の違いを理解することで、Co-Pilot は問題を説明し、ネットワークの変更を推奨することができました。

**お客様へもたらした価値**  
問題を積極的に認識することで、IT 部門はパフォーマンスを最適化するために AP の位置を変更することができました。ネットワークの制限に縛られることがなくなったため、従業員の生産性は向上し、IT 部門はユーザーが不満を抱く前に問題を解決することで、調査時間を何時間も節約することができました。

<https://jp.extremenetworks.com/>

お問い合わせ先：エクストリーム ネットワークス株式会社 山本 [myamamoto@extremenetworks.com](mailto:myamamoto@extremenetworks.com)



# 1. 教育支援系ソリューション

製品・サービス名称	英語学習システム「ATR CALL BRIX」
提供企業名	株式会社内田洋行
紹介サイト URL	<a href="https://www.uchida.co.jp/education/solution/atrcall-brix/high-education/">https://www.uchida.co.jp/education/solution/atrcall-brix/high-education/</a>

■製品サービスの特長

**音声を使ったトレーニングで、**  
**インプットからアウトプットへ**  
**ATR CALL BRIXは、**  
**日本人の苦手意識に徹底的に寄り添う**  
**eラーニング教材です。**

私たちの思考は音声を支えられています。「話す」ときだけでなく、「考える」ときや「読む」とき、「書く」ときも頭の中では音声が発生しているのです。ですから、正しい発音を身に付け、単語の聞き分けができるようになると、読んだり書いたりするときも、頭の中で正しい音が再生されるようになります。

「ATR CALL BRIX」は、このような脳の仕組みに基づき、高校までで培ってきたインプット中心の英語力をアウトプットにつなげるために、音声を学習の中心に据えています。音声を活用した訓練を適切な順番で繰り返し行うことで、「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能をバランスよく向上できるように設計されています。



言語活動は読み書きだけでも、発音だけでも成立しませんが、「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を相互に統合させながら学習する必要があります。そのため用意された課題タイプは約100種類、目的に応じて適切な順序で、反復学習を行うことで、単語から文章へしっかり定着させます。

主なコースコンテンツ

✓	TOEIC®L&R テスト対策コース
✓	TOEFL®対策 実践問題演習コース (Section2 対策用文法問題付き)
✓	TOEFL®対策 必須単語 5000 語マスターコース
✓	英検対策コース (準1級~5級)
✓	理工系学生のための英語力強化コース COCET3300 対応
✓	科学技術英単語コース
✓	リメディアルコース

製品・サービス名称	ATR CALL BRIX		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック ・プライベート ・その他 ( )	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
<b>■一般事項</b>			
契約実績	非公開		
費用	※トライアルの有無、課金体系、従量制課金の上限設定、割引プラン等 選定ご担当者様向けにトライアル ID のご提供が可能です。(標準 2 週間) 【ID】1 人 1 年 10,000 円 (税抜) ~ 【初期設定費用】		
利用条件	サイトライセンス適用の場合、ID 発行が可能なのは在学中の学生および教職員のみ。 入学前教育やオープンキャンパスなど、在学生以外が利用する場合は要相談。		
支払方法	年次請求、前払、振込		
販売代理店	指定の代理店はありません		
<b>■契約</b>			
申込み方法	発注後に所定の申込フォームをお渡しします	利用開始までの期間	最短 1 週間
約款の有無	有 (無) ( )	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ( )
データ保存場所	(国内)・海外 ( )	データ削除規定の有無	有 (無) その他 ( )
準拠法	(日本国法) 海外法規 ( )	管轄裁判所	(国内)・海外 ( )
<b>■信頼性</b>			
SLA	有 (無) (SLA 内容 : )		
実績稼働率	(有)・無・その他 ( )	目標稼働率	有 (無)・その他 ( )
ストレージ	(多重化有) 無・その他 ( )	バックアップ	(有)・無・その他 ( )
データ暗号化	(有)・無・その他 ( )	暗号化通信	(有)・無・その他 ( )
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	(対応)・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	(対応)・未対応・対応予定
管理ツール	(有)・無・その他 ( )	API 公開	有 (無)・その他 ( )
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	平日 9:00-17:00	QA 対応時間帯	平日 9:00-17:00
コンタクト方法	(電話)・(メール)・その他 ( )	対応インシデント数	上限なし
計画停止の頻度	年 1 回程度、長期休暇期間	サービス停止の通知	緊急時以外は 1 か月前
ログの開示	有 (無) (※条件 )	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行	<a href="#">お問い合わせフォームからご連絡ください</a>	

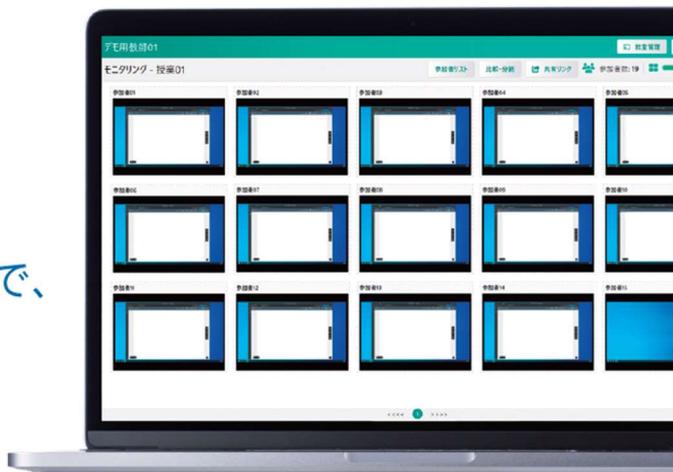
製品・サービス名称	画面モニタリングシステム RealCAST (リアルキャスト)
提供企業名	株式会社内田洋行
紹介サイト URL	<a href="https://www.uchida.co.jp/education/solution/realcast/">https://www.uchida.co.jp/education/solution/realcast/</a>

■製品サービスの特長

マルチ OS 対応クラウド型画面モニタリングシステム



学習者の端末の画面を一覧でモニタリングできるクラウド型システムで、クラス全員の学習の様子を把握しながら授業を進行できます。



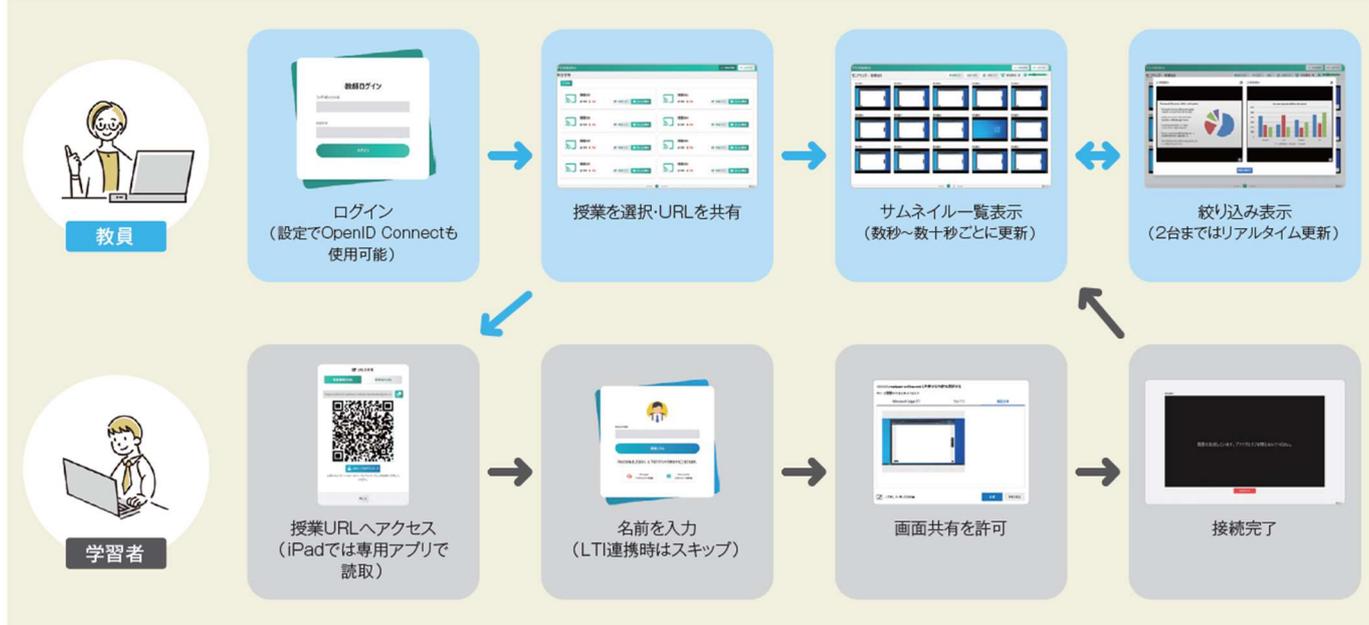
**point ▶ 1** 1人1台端末を使用した対面授業に  
学習者の学習状況を把握でき、1人1台1アカウント運用やBYOD端末での授業をサポートします。



**point ▶ 2** オンライン/ハイブリッド型の授業に  
Zoom、Teams等のWeb会議システムや、学習eポータル「L-Gate」、Moodle等のLMSと組み合わせて補完的に活用できます。



システム操作フロー



LTI 1.3 Core / OneRoster 1.2対応 ※対応予定

LTI 1.3 Core 対応のLMSや学習eポータルと連携すると、学習者への参加URLの配布が簡単になり、学習者による氏名入力も省略できます。教員ユーザーの登録は、OneRoster 1.2 規格準拠のCSVデータでインポートすることができます。

OpenID Connect対応

学習者がMicrosoftアカウントまたはGoogleアカウントをお使いの場合は、それらのアカウントの氏名を自動取得し、入力を省略できます。



本システムを使用した授業で第三者の著作物を表示・送受信する場合、当該著作物の権利者に公衆送信の許諾を得るか、または授業目的公衆送信補償金制度に基づく一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会 (SARTRAS) への登録・申請と補償金の支払を行ってください。

製品・サービス名称	RealCAST		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（ ） 大学数（非公開）校：利用大学名（ ）		
費用	年額利用料金制：校種、ユーザ数等に応じお見積をご提示いたします。 トライアル（評価利用）についてはお問い合わせください。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数：50名、最低利用期間：1年		
支払方法	年次請求、前払、振込、円建		
販売代理店	無、有（代理店名：内田洋行の販売代理店に準ずる ）		
<b>■契約</b>			
申込み方法	注文書・その他（ ）	利用開始までの期間	応相談（1～2か月程度）
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無（SLA内容： ）		
実績稼働率	有・無・その他（ ）	目標稼働率	有・無・その他（ ）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	平日 9：00-17：00	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	規定なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	適宜通知
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：ICT プロダクト企画部 担当者：大橋 一貴	電話番号：03-5634-6209 FAX 番号：03-5634-6831 Mail： <a href="mailto:realcast-gr@groups.uchida.co.jp">realcast-gr@groups.uchida.co.jp</a>	



## 2. 研究支援系ソリューション

製品・サービス名称	Cloud Volumes ONTAP
提供企業名	ネットアップ合同会社
紹介サイト URL	<a href="https://www.netapp.com/ja/cloud-services/cloud-volumes-ontap/">https://www.netapp.com/ja/cloud-services/cloud-volumes-ontap/</a>

## ■製品サービスの特長

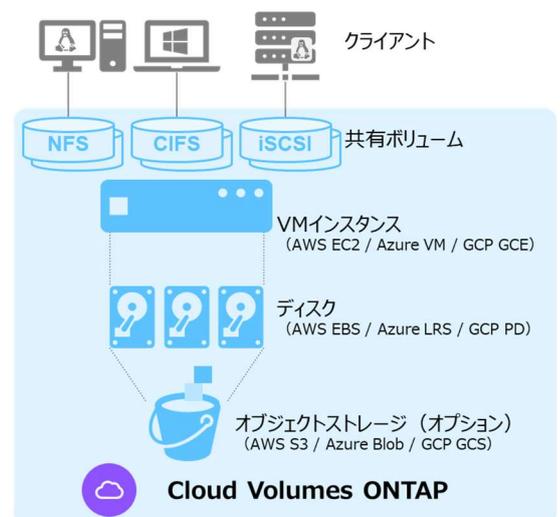
### ◆Cloud Volumes ONTAP を選ぶ理由

Cloud Volumes ONTAP は、ファイルとブロックのワークロードに対応した高度なデータ管理を実現する Software-Defined Storage サービスです。Cloud Volumes ONTAP を利用すると、クラウド ストレージ コストの最適化およびアプリケーションのパフォーマンスの向上と同時に、データ保護、セキュリティ、コンプライアンスを強化できます。

### ◆Cloud Volumes ONTAP の特長

お客様のクラウド ストレージで高度なデータ管理機能を利用できます。ONTAP は、SMB、NFS、iSCSI、S3 をサポートしているため、アプリケーション環境に NAS、SAN、オブジェクトストレージをプロビジョニングすることが可能です。またパフォーマンスへの影響ゼロの NetApp Snapshot コピーを作成し、バックアップとリカバリ用のデータのポイントインタイムコピーをほぼ瞬時に作成できます。ストレージリソースを余分に消費することも、アプリケーションのパフォーマンスに影響が生じることもありません。さらにオプションとして、使用頻度の低いデータを低コストのオブジェクトストレージに自動的に階層化できるため、ストレージコストの削減することが可能です。環境に応じて、AWS、Google CloudPlatform、Microsoft Azure から好きなクラウドをご利用いただけます。

- 特徴 1 優れたストレージ効率化機能
- 特徴 2 充実したデータ保護機能
- 特徴 3 優れた運用管理性
- 特徴 4 充実したデータセキュリティ機能
- 特徴 5 ハイブリッド/マルチクラウド環境でのデータモビリティの実現



### ◆Cloud Volumes ONTAP の導入

- ・各クラウド事業者から購入する時間単位の従量課金制、または販売代理店様から期間ライセンスとしてご提供が可能。
- ・Keystone によるサブスクリプションベースのサービス選択も可能。
- ・Cloud Volumes ONTAP の導入は数分で完了。
- ・30 日間無償トライアル、各クラウド事業者から直接入手可能。

製品・サービス名称	Cloud Volumes ONTAP		
<b>■ 分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック ・プライベート ・その他 ( )	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
<b>■ 一般事項</b>			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（複数の企業様ご利用） 大学数（非公開）校：利用大学名（日本の教育機関では複数の国立大学様が利用中）		
費用	トライアル有り。 従量課金、期間ライセンスをご選択可能。ストレージの必要容量、可用性のオプションの選択により料金が変動致します。 Keystone によるサブスクリプションベースのサービス選択も可能。詳細は弊社または、代理店へお問い合わせください。		
利用条件	【クラウド】最低利用期間は 1 時間です。【期間ライセンス】代理店を通じた 1 ヶ月単位での販売となります。 【Keystone】最低利用期間は 12 か月です。		
支払方法	【クラウド】各パブリッククラウド事業者の支払い条件に基づく。【期間ライセンス/Keystone】代理店との個別契約		
販売代理店	有（代理店名：代理店一覧 <a href="https://partner-connect.netapp.com/jp/partner-directory">https://partner-connect.netapp.com/jp/partner-directory</a> ）		
<b>■ 契約</b>			
申込み方法	注文書・その他（Web からサインアップ）	利用開始までの期間	数時間
約款の有無	有・無	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ( )
データ保存場所	ご利用リージョン内	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（リージョンをご選択）	管轄裁判所	国内・海外（リージョンをご選択）
<b>■ 信頼性</b>			
SLA	有・無（SLA 内容：ご利用構成/パブリッククラウド事業者により変動）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他 ( )	バックアップ	有・無・その他 ( )
データ暗号化	有・無・その他 ( )	暗号化通信	有・無・その他 ( )
<b>■ 機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ( )	API 公開	有・無・その他 ( )
<b>■ 保守・運用</b>			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	24H / 5D(月～金)
コンタクト方法	電話・メール・その他 ( )	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	クラウド事業者に依存	サービス停止の通知	クラウド事業者に依存
ログの開示	有・無（※条件 ( )	第三者認証取得状況	ISO9001,14001 など
問合せ先	企業名：ネットアップ合同会社 部署名：戦略アライアンス本部 担当者：脇 昌弘	電話番号：070-1395-0576 FAX 番号：03-6870-7401 Mail： <a href="mailto:masahiro.waki@netapp.com">masahiro.waki@netapp.com</a>	

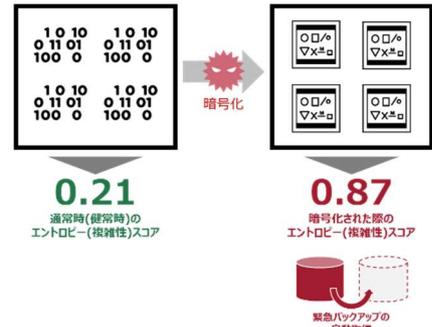
製品・サービス名称	NetApp :Autonomous Ransomware Protection with Artificial Intelligence(ARP/AI) + Data Infrastructure Insights Storage Workload Security(DII SWS) による多層防御
提供企業名	ネットアップ株式会社
紹介サイト URL	<a href="https://www.netapp.com/blog/first-enterprise-storage-with-ai-powered-ransomware-detection/">https://www.netapp.com/blog/first-enterprise-storage-with-ai-powered-ransomware-detection/</a> <a href="https://www.netapp.com/cloud-services/cloud-insights/">https://www.netapp.com/cloud-services/cloud-insights/</a>

### ■ 製品サービスの特長

#### Autonomous Ransomware Protection with Artificial Intelligence(ARP/AI) によるエントロピー解析

ストレージ OS「ONTAP」に AI 駆動型ランサムウェア検出機能を実装し、検知と対応を行う、次世代のランサムウェア対策ソリューションです。

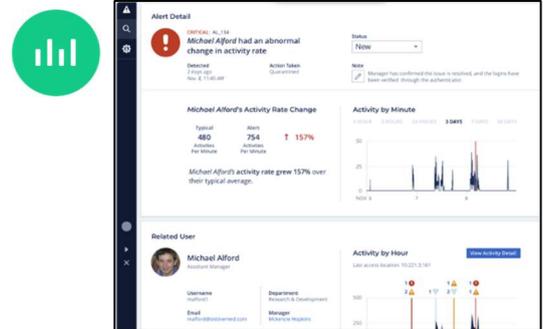
- ・ランサムウェアの検知
  - データ ファイルのエントロピー(複雑性)の傾向を把握
- ・ランサムウェアへの感染検出後の迅速な対応
  - ほぼリアルタイムに感染を検出し、被害を最小限に抑えるための緊急バックアップを自動取得
- ・インターネットに接続できない環境でも利用可能
  - ストレージ OS 自身に機能が組み込まれているためインターネット接続不要



#### Data Infrastructure Insights Storage Workload Security (DII SWS) による振る舞い検知

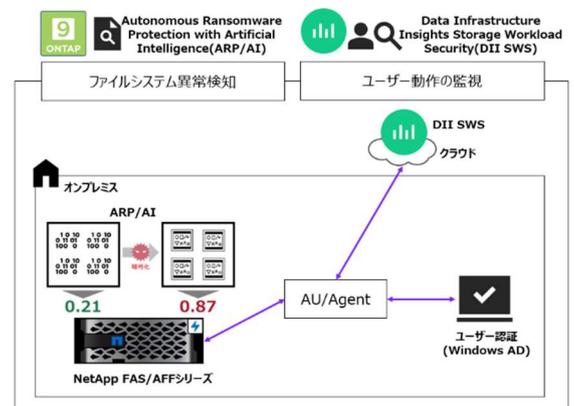
データアクセスを振る舞い検知ベースのアーキテクチャで監視する、SaaS 型のランサムウェア対策ソリューションです。

- ・ランサムウェアの検知
  - Deep Learning により悪意のあるデータアクセスを検出
- ・異常検出時はポリシーに従いアクションを自動実行
  - ストレージ OS「ONTAP」と連動してしたスナップショットの自動取得
  - 異常が検出されたユーザーのアクセスを強制的に遮断
- ・ランサムウェア感染以外の不正アクセスも検知
  - データの持ち出し等、ランサムウェア以外の不正アクセスも検知可能



#### ARP/AI + DII SWS による多層防御構成例

ARP/AI と DII SWS でストレージ内の同一領域を監視することにより、ファイルのエントロピー解析/振る舞い検知の多層防御で外部からの攻撃を検知し、復旧用のスナップショットを自動で取得します。各機能を単体で利用するよりも検知の精度を向上させ、より堅牢にデータを保護可能です。



製品・サービス名称	NetApp :Autonomous Ransomware Protection with Artificial Intelligence(ARP/AI) + Data Infrastructure Insights Storage Workload Security(DII SWS)による多層防御		
<b>■ 分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック ・プライベート ・その他 ( )	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
<b>■ 一般事項</b>			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（ ） 大学数（非公開）校：利用大学名（芝浦工業大学）		
費用	ストレージの機種/必要容量/オプションの選択により料金変動致します。詳細は弊社または、代理店へお問い合わせください。		
利用条件	【ARP/AI】ストレージ OS に組み込まれた機能となるため、対象となる OS ライセンスをご選択ください 【DII SWS】最低利用期間 12 か月からの利用契約となります		
支払方法	代理店との個別契約		
販売代理店	有（代理店名：代理店一覧 <a href="https://partner-connect.netapp.com/jp/partner-directory">https://partner-connect.netapp.com/jp/partner-directory</a> ）		
<b>■ 契約</b>			
申込み方法	注文書・その他 ( )	利用開始までの期間	3 か月(目安)
約款の有無	有・無	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ( )
データ保存場所	国内・海外 ( )	データ削除規定の有無	有・無・その他 ( )
準拠法	日本国法・海外法規（機器設置先に依存）	管轄裁判所	国内・海外（器設置先に依存）
<b>■ 信頼性</b>			
SLA	有・無（DII の SLA 内容詳細： <a href="https://www.netapp.com/how-to-buy/sales-terms-and-conditions/terms-with-customers/general-terms/services-terms/cloud-services-service-specific-terms/cloud-insights/">https://www.netapp.com/how-to-buy/sales-terms-and-conditions/terms-with-customers/general-terms/services-terms/cloud-services-service-specific-terms/cloud-insights/</a> ）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開） 99.99% (DII)
ストレージ	多重化有・無・その他 ( )	バックアップ	有・無・その他 ( )
データ暗号化	有・無・その他 ( )	暗号化通信	有・無・その他 ( )
<b>■ 機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ( )	API 公開	有・無・その他 ( )
<b>■ 保守・運用</b>			
障害対応時間帯	代理店との契約に依存	QA 対応時間帯	代理店との契約に依存
コンタクト方法	電話・メール・その他 ( )	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	無	サービス停止の通知	販売終了から半年前に通知
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	ISO 14001 等
問合せ先	企業名：ネットアップ合同会社 部署名：戦略アライアンス本部 担当者：脇 昌弘	電話番号：070-1395-0576 FAX 番号：03-6870-7401 Mail： <a href="mailto:masahiro.waki@netapp.com">masahiro.waki@netapp.com</a>	

製品・サービス名称	BlueXP Ransomware Protection
提供企業名	ネットアップ合同会社
紹介サイト URL	www.netapp.com/ja/bluexp/ransomware-protection/

## ■製品サービスの特長

### ◆オンプレミス～ハイブリッドクラウド～マルチクラウド全体を包括するランサムウェア対策ソリューション

BlueXP Ransomware Protection は、ランサムウェアの保護、検出、リカバリのためのオーケストレーションサービスです。

“地球上で最もセキュアなストレージ”のサイバーレジリエンス機能と、ハイブリッド マルチクラウド環境全体のシンプルな管理を実現する BlueXP サービスの統合によって、クラウドも含めたワークロード全体での包括的なランサムウェア対策を単一のコントロールプレーンで行います。ランサムウェア攻撃の可能性のある異常を検出した場合は、誤ってまたは悪意を持ってコピーを削除しないように、ロックされた改ざん防止スナップショットを自動的に作成します。NIST サイバーセキュリティフレームワークの6つの機能を全てカバーし、数回クリックするだけで有効化できる推奨事項や自動化されたワークフローを通じて、簡単かつ迅速なランサムウェアへの備えと復旧による運用業務の負担を削減します。



**1. アプリケーションベースのワークロードにフォーカスし、データを自動で識別・優先付けし、ワークロードのリスクを分析**

**4. 攻撃の疑いを検知した場合に、書き換えや消去のできないスナップショットを作成することで、ほぼリアルタイムで自動的に対応。一般的なSIEMと統合**

**2. ワークロード保護ポリシーを推奨してデータをワンクリックで保護（バックアップ、イミュータブルスナップショット など）**

**5. シンプルで一元化された復旧操作によりデータを迅速にリストアし、アプリケーションを早期復旧**

**3. 業界最高レベルの AI/ML を活用し、ワークロードデータに対する潜在的な攻撃をほぼリアルタイムで正確に検知**

**6. ランサムウェア対策の戦略とポリシーを導入し、結果のモニタリング**

### ◆BlueXP Ransomware Protection を使用するメリット

- ハイブリッド マルチクラウド上のファイルストレージ、オブジェクトストレージ、データベースなど様々な形のデータを監視し、現在のランサムウェアからの保護体制を評価します。また、保護体制を更に強化するための AI/ML ベースの推奨事項を提案し、かつワンクリックで適用可能です。
- 攻撃を検出した場合は、変更かつ消去が不可能なスナップショットを自動的に作成し、更なる影響と業務の中断を最小限に削減します。
- 復元ポイントの推奨を提示し、全てのワークロードデータの整合性があるワークフローの調整を行うことで、より簡単かつ迅速にワークロードのリカバリを実施します。

製品・サービス名称	BlueXP Ransomware Protection		
<b>■ 分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック ・プライベート ・その他 ( )	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
<b>■ 一般事項</b>			
契約実績	法人数 (非公開) 社 : 利用企業名 ( ) 大学数 (非公開) 校 : 利用大学名 ( )		
費用	トライアル有り。(90 日間無料) 従量課金、期間ライセンスをご選択可能。詳細は弊社または、代理店へお問い合わせください。		
利用条件	【クラウド】マーケットプレイス経由の従量課金となります。 【期間ライセンス】代理店を通じた 12 カ月単位での販売となります。		
支払方法	【クラウド】各パブリッククラウド事業者の支払い条件に基づく。【期間ライセンス】代理店との個別契約。		
販売代理店	有 (代理店名 : 代理店一覧 <a href="https://partner-connect.netapp.com/jp/partner-directory">https://partner-connect.netapp.com/jp/partner-directory</a> )		
<b>■ 契約</b>			
申込み方法	注文書・その他 (Web からの申込み)	利用開始までの期間	数時間
約款の有無	有・無	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ( )
データ保存場所	国内・海外 (非公開)	データ削除規定の有無	有・無・その他 ( )
準拠法	日本国法・海外法規	管轄裁判所	国内・海外
<b>■ 信頼性</b>			
SLA	有・無		
実績稼働率	有・無・その他 (非公開)	目標稼働率	有・無・その他 (お客様環境に配置するコネクタインスタンスの稼働率に依存します)
ストレージ	多重化有・無・その他 (非公開)	バックアップ	多重化有・無・その他 (非公開)
データ暗号化	有・無・その他 (非公開)	暗号化通信	有・無・その他 ( )
<b>■ 機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ( )	API 公開	有・無・その他 ( )
<b>■ 保守・運用</b>			
障害対応時間帯	保守契約に依存	QA 対応時間帯	保守契約に依存
コンタクト方法	電話・メール・その他 (Web)	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	導入環境に依存	サービス停止の通知	販売終了から半年前に通知
ログの開示	有 無 (※条件 )	第三者認証取得状況	
問合せ先	企業名 : ネットアップ合同会社 部署名 : 戦略アライアンス本部 担当者 : 脇 昌弘	電話番号 : 070-1395-0576 FAX 番号 : 03-6870-7401 Mail : <a href="mailto:masahiro.waki@netapp.com">masahiro.waki@netapp.com</a>	

製品・サービス名称	FlexPod Datacenter AI
提供企業名	ネットアップ合同会社
紹介サイト URL	<a href="http://www.netapp.com/jp/products/converged-systems/flexpod-converged-infrastructure.aspx">http://www.netapp.com/jp/products/converged-systems/flexpod-converged-infrastructure.aspx</a>

## ■製品サービスの特長

### ◆FlexPod Datacenter for AI でさらに多くのデータを分析

業務を効率化して収益を伸ばしたいのであれば、人工知能（AI）と機械学習（ML）の利用をお勧めいたします。Cisco UCS C480 ML M5 サーバ搭載の FlexPod Datacenter for AI ソリューションを導入すれば、すぐに AI / ML モデルをトレーニングして詳細な分析情報を得られます。

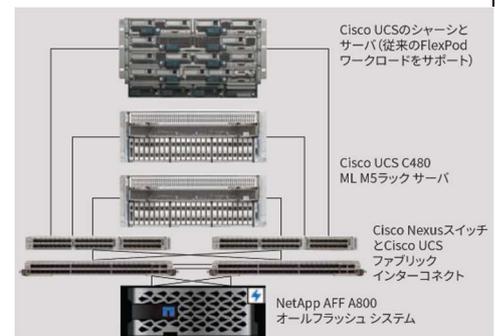
### ◆FlexPod Datacenter for AI が選ばれる理由

#### AI / ML への取り組みを導入しやすい検証済みの構成で導入可能

**20PB 以上に拡張可能なグローバル ネームスペースにより大容量の学習データセットを ONTAP の FlexGroup でサポート**  
**重複排除と圧縮の手法で、データ ストレージの容量要件を最大 10 分の 1 に低減**  
**開発、テスト、トレーニング、推論の各環境をサポート**

### FlexPod Datacenter for AI ソリューション

FlexPod Datacenter for AI ソリューションは、分析ワークロードに最適な統合インフラです。広く普及している FlexPod Datacenter プラットフォームを基盤に、Cisco UCS ブレード サーバとラックサーバ、Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチ、Cisco UCS 6000 シリーズ ファブリック インターコネクト、NetApp ONTAP 搭載の NetApp AFF A800 フラッシュ ストレージ アレイで構成された製品です。



■ **Cisco UCS C480 ML M5 ラック サーバ** : グラフィック処理ユニット（GPU）、高速インターコネクト テクノロジ、高速ネットワークが統合されたこのサーバは、スピーディーなタスク処理を実現する、目的に即した妥協のない製品です。特長は、それぞれ最大 28 コアを搭載可能な 2 つの CPU と、インターコネクトに NVIDIA NVLink を使用した最大で 8 つの NVIDIA Tesla V100-32GB Tensor Core GPU です。これにより、GPU 間での高速通信を実現し、コンピューティングの処理速度を向上させます。NVIDIA によれば、TensorFlow のパフォーマンスはモジュールあたり最大 125 テラフロップスで、サーバあたり最大 1 ペタフロップスの処理能力を発揮できます。

■ **NetApp ONTAP** : ネットアップ ストレージ システムに搭載されている ONTAP ソフトウェアにより、分散したデータソースからシームレスなデータ レイクを簡単に構築できます。複数の I/O ストリームを同時にサポートする、このデータレイクを使用すれば、オールフラッシュ アレイからトレーニング環境へデータを高速かつ低レイテンシでストリーミングできます。トレーニングが完了したら、生成された推論モデルをリポジトリにすばやく移して推論テストと仮定検証を実施することで、Cisco UCS C480 ML M5 サーバの超高速 GPU アクセラレーションにより、すぐに結果が得られます。

FlexPod Datacenter for AI ソリューションには、AI と ML のワークロードとデータベースを強力に支える機能がすべて備わっています。この拡張性に優れたアーキテクチャを導入すれば、組み込みの先進テクノロジーと統合管理アプローチを活かして、多くのメリットをもたらすことができます。ソリューションは Kubeflow Pipelines と統合しているので、プライベートとパブリックの複数のクラウド プラットフォームで連携し、人工知能機能を幅広く利用することが可能です。

製品・サービス名称	FlexPod Datacenter AI		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（ ） 大学数（非公開）校：利用大学名（ ）		
費用	代理店にてお見積り致します 弊社または、代理店へお問い合わせください。		
利用条件	弊社または、代理店へお問い合わせください。		
支払方法	弊社または、代理店へお問い合わせください。		
販売代理店	有（代理店名：代理店一覧 <a href="https://www.netapp.com/ja/partners/partner-connect/">https://www.netapp.com/ja/partners/partner-connect/</a> ）		
<b>■契約</b>			
申込み方法	注文書	利用開始までの期間	数日～
約款の有無	有・無	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	非公開	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（リージョンをご選択）	管轄裁判所	国内・海外（リージョンをご選択）
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無（ ）		
実績稼働率	有・無・その他（ ）	目標稼働率	有・無・その他（ ）
ストレージ	多重化有・無・その他（非公開）	バックアップ	有・無・その他（機能により可能）
データ暗号化	有・無・その他（機能により可能）	暗号化通信	有・無・その他（機能により可能）
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	24H/ 365D	QA 対応時間帯	9:00～17:00 / 5D(月～金)
コンタクト方法	電話・メール・その他（Web）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	未定	サービス停止の通知	有
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	ISO/IEC27001,ISO/IEC27017
問合せ先	企業名：ネットアップ合同会社 部署名：パートナーアライアンス統括本部 担当者： 脇 昌弘		電話番号：070-1395-0576 <a href="mailto:masahiro.waki@netapp.com">Email：masahiro.waki@netapp.com</a>

製品・サービス名称	NetApp Keystone for Storage as a Service (STaaS)
提供企業名	ネットアップ合同会社
紹介サイト URL	https://www.netapp.com/ja/services/keystone/

## ■製品サービスの特長

### ◆オンプレミスでの柔軟性を備えたサブスクリプションサービス

NetApp Keystone はパブリッククラウドで提供されているデータストレージサービスをプライベート環境で「サービス」として提供するネットアップのストレージサービスです。

### ◆NetApp Keystone for STaaS の特長

- ・ご利用用途にあったサービスレベルをご選択いただくだけで、要件を満たすストレージ機材を NetApp が提供します。
- ・サポートメンテナンスはもちろん、煩わしい OS や FW の更新計画も NetApp が提案、更新します。
- ・らデータをオンプレミスで保管することで、コンプライアンス、パフォーマンス、セキュリティの適切な管理が可能になります。
- ・ハイブリッドマルチクラウド環境でのデータ共有の実現も可能です。

1つのサブスクリプションで一元的な管理



オンプレミス ストレージ サービス      クラウド ストレージ サービス

Keystone契約にはオンプレ利用が必須

契約期間：1年, 2年, 3年, 4年\*, 5年\*

\*クラウドサービスが含まれる場合は不可。

契約の20%までの超過容量を  
契約単価と同じレートで、オンデマンドで利用可能

月額支払い：四半期毎にオンプレミスの支出を最大25%クラウドに再配分

1年毎の前払い：一年毎に前年の25%まで契約容量削減可能



#### IT の運用を簡易化

ハードウェアのライフサイクルを管理する複雑な作業から解放され、使用状況に応じてコストを適正化



#### 柔軟性

要件に応じてサービスの消費、支払い、アクティブ化を柔軟に調整



#### クラウドのメリットをオンプレミスで管理

単一のコンソールから、複数のクラウド間で簡単にストレージを拡張



#### パフォーマンスと保護レベルの予測性が向上

クラウドデータサービスをいつ、どこで、どのように使用するかを選択できるため、データ保護に関する不安を解消

### <選択プラン> ファイル、ブロック、オブジェクトから選べるストレージ サービス レベル

	ファイルとブロック - NFS、CIFS、iSCSI、FCの各プロトコル					オブジェクト - S3プロトコル	クラウド サービス*
	Extreme	Premium	Performance	Standard	Value		
ワークロード タイプ	分析、データ ベース	VDI、仮想化アプ リケーション、 ソフトウェア開 発	OLTP、OLAP、 VDI、コンテナ、 ソフトウェア 開発	ファイル共有、 Webサーバ	バックアップ	メディア リポジトリ、 データレイク、 アーカイブ	Cloud Volumes ONTAP®** (NFS、CIFS、 iSCSI)
最大IOPS/TiB	12,288	4,096	2,048	512	128	N/A	N/A
最大スループット MBps/TiB	384	128	64	16	4	N/A	N/A
レイテンシ	<1ミリ秒	<2ミリ秒	<4ミリ秒	<4ミリ秒	<17ミリ秒	N/A	N/A
最小容量***	25 TiB	25 TiB	25 TiB	100 TiB	100 TiB	500 TiB	4 TiB
追加可能な容量 の単位	1 TiB	1 TiB	1 TiB	1 TiB	1 TiB	1 TiB	1 TiB

1. IOPS、スループットMBpsのパフォーマンス指標は以下に基づいています（ファイルとブロックサービスのみ該当）。  
a. ブロックサイズ32KB  
b. IO比率は読み取り70%/書き込み30%  
2. 実際のIOPS/TiBとMBps/TiBはワークロードの特徴によって変わる可能性があります。  
3. レイテンシには、コントローラポートとの間のアプリケーション、ホスト、またはお客様ネットワークのレイテンシは含まれません。

\*コンピューティング、ストレージ、ネットワークなどのクラウド前サービスの料金はクラウドプロバイダから課金されます。  
\*\*クラウドストレージとクラウドコンピューティングの特徴によって異なります。

\*\*\*サブスクリプションあたり

製品・サービス名称	NetApp Keystone for Storage as a Service (STaaS)
-----------	--

■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック ・プライベート ・その他 ( )	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 ( 非公開 ) 社 : 利用企業名 ( ) 大学数 ( 非公開 ) 校 : 利用大学名 ( )		
費用	トライアル : 無 / 課金体系 : サービスレベルと契約容量に応じた固定金額 + 超過容量分 ( 契約容量の 20% ) の従量課金 / 容量、契約年数に応じた割引価格設定		
利用条件	【オンプレサービス】最低利用期間 12 か月 / 最低利用量 25TiB (Extreme, Premium, Performance) 【クラウドサービス】最低利用期間 12 か月 / 最低利用量 4 TiB		
支払方法	オンプレサービスの場合 : 月次 / 年次 ( 前払 ) 請求 支払方法 : 契約販売店による オンプレ + クラウドサービスの場合 : 月次請求 支払方法 : 契約販売店による		
販売代理店	有 ( 代理店名 : 代理店一覧 <a href="https://partner-connect.netapp.com/jp/partner-directory">https://partner-connect.netapp.com/jp/partner-directory</a> )		
■契約			
申込み方法	注文書 その他 ( )	利用開始までの期間	2 か月程度
約款の有無	有・無 ( )	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ( )
データ保存場所	国内・海外 ( )	データ削除規定の有無	有・無・その他 ( )
準拠法	日本国法・海外法規 ( )	管轄裁判所	国内・海外 ( )
■信頼性			
SLA	有・無 ( SLA 内容 : )		
実績稼働率	有・無・その他 ( )	目標稼働率	有・無・その他 ( )
ストレージ	多重化有・無・その他 ( )	バックアップ	有・無・その他 ( )
データ暗号化	有・無・その他 ( )	暗号化通信	有・無・その他 ( )
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 ( xx 年 xx 月 )	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 ( xx 年 xx 月 )	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ( )	API 公開	有・無・その他 ( )
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	24H/365D
コンタクト方法	電話・メール・WEB フォーム	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	オンプレなし クラウド事業者による	サービス停止の通知	オンプレなし クラウド事業者による
ログの開示	有・無 ( ※条件 )	第三者認証取得状況	ISO9001,14001 など
問合せ先	企業名 : ネットアップ合同会社 部署名 : 戦略アライアンス本部 担当者 : 有地園子	電話番号 : 070-3194-1390 FAX 番号 : Mail : sonoko@netapp.com	

製品・サービス名称	codemari クラウドサービス
提供企業名	株式会社内田洋行
紹介サイト URL	<a href="https://www.uchida.co.jp/codemari/">https://www.uchida.co.jp/codemari/</a>

## ■製品サービスの特長

# 複雑なAV機器を「タブレット端末」や声で、楽々操作。

スクリーンやプロジェクター、照明やスピーカーなど、さまざまな機器が装備された空間では、複数の機器を扱うための知識が必要です。その複数の機器を、「タブレット端末」や声で操作するためのWEBアプリケーションソフトがcodemari(コデマリ)です。タブレット端末が1台あれば機器操作が苦手な人も、タブレット端末を使ってドラッグ&ドロップで直感的に操作できたり、声で指示するだけで簡単に操作できます。



### ▼codemari の特長

#### 環境をワンタッチで構築。リモコンいらずで調整も自由自在!

必要な機器の起動・セットアップをボタン1つで行えます。映像、音声、照明の調整を全てタブレット端末で操作でき、声による操作も可能です。

#### ネットワーク経由で遠隔操作

ネットワークを通じて、室内からはもちろん、離れた準備室からでも事前準備や操作ができます。

#### 全部屋の稼働状況の確認、利用実態の把握が可能!

管理者は、部屋の一覧で稼働状況の確認と遠隔サポートが容易に行えます。また、操作ログを閲覧でき、部屋の利用実態の把握ができます。

#### コデマリからビルの照明・空調設備の制御が可能

講義・プレゼン中でも部屋の状態を正確に把握でき、部屋の中を快適な(生産性の高い)状態に維持できます。

### ▼主な操作



#### ①ダッシュボード

全ての機器の状態を確認と機器毎の個別の操作もできます。



#### ②照明設定

照明のON/OFF、照度の調節を行います。あらかじめ設定した状態を指定して一括で変更することもできます。



#### ③サウンド設定

スピーカーの音源切替、音量のUP/DOWNやミュートを行います。



#### ④映像設定

プロジェクターで投影したりディスプレイに表示する映像を指定して切り替えます。

#### 柔軟な画面構成が可能

お客様の導入機器や使い方に合わせて、画面内のアイコンや文言などの設定変更が行えます。  
※機器の変更・追加については、事前にお問い合わせください。

**部屋名**

**かんたん設定一覧**  
お客様の使い方に合わせた専用の操作画面をご用意します。



#### ⑤スクリーン制御

スクリーンのプリセット操作、昇降を行います。



#### ⑥カメラ操作

カメラのプリセット操作やパン・チルト・ズームの微調整を行います。



#### ⑦空調設定

空調の設定を行います。部屋の温湿度、CO<sub>2</sub>濃度の状況も把握できます。



#### ⑧収録システム制御

収録システムのレイアウトの切替、収録の開始・停止を行います。

### ▼運用・管理を支援する機能



#### 授業時間に合わせて自動で機器のON/OFFができます。

授業時間に合わせて自動で機器を立ち上げることができ、余分な時間が削減されます。教室毎の終了時刻に合わせ、機器の電源OFFが行え、つけっぱなしによる動作不良を防げます。



#### 全体状況の把握を簡単に

部屋の一覧で稼働状態を一目で確認でき、一覧から各部屋の操作画面へ遷移し、遠隔サポートも容易に行えます。



#### 運用実績に基づいた改善検討

操作履歴を帳票やグラフや状態遷移図で確認でき、期間で区切って導入後のICT機器の利用状況を評価できます。全体的な傾向や部屋間の比較を行うことで、相対的に評価でき、使われていない部屋のICT機器の利用を促したり、他の部屋に移設する等、将来の改善方法を検討することができます。



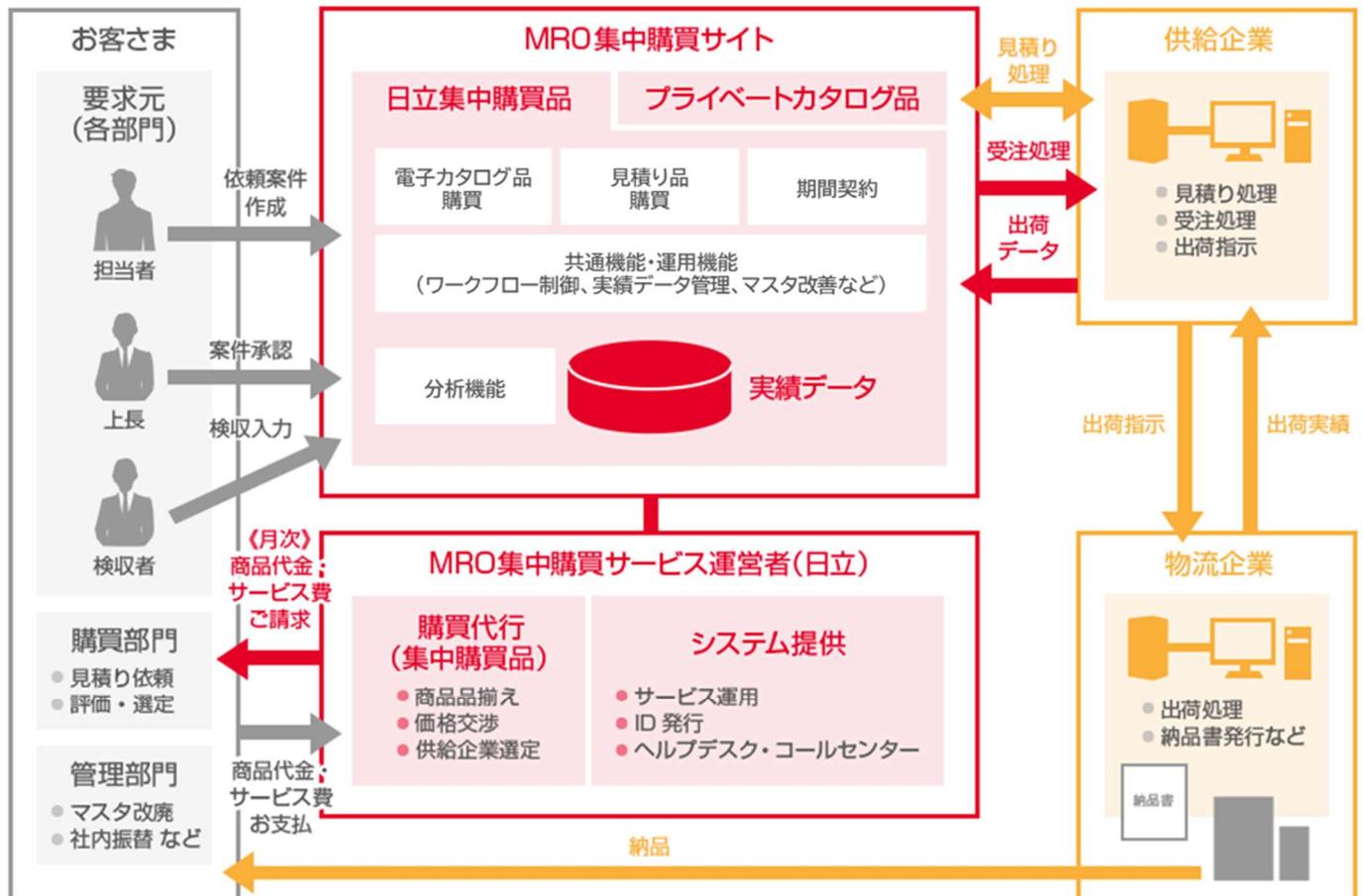
製品・サービス名称	codemari クラウドサービス		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック・プライベート ・その他 ( )	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名 ( ) 大学数（非公開）校：利用大学名 ( )		
費用	導入時の初期設定費用、毎月の利用料（定額）が発生します。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません。		
支払方法	月次／年次請求、前払		
販売代理店	有（代理店名： )		
<b>■契約</b>			
申込み方法	注文書・その他 ( )	利用開始までの期間	注文後 2 か月程度
約款の有無	有・無 ( )	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ( )
データ保存場所	国内・海外 ( )	データ削除規定の有無	有・無・その他 ( )
準拠法	日本国法・海外法規 ( )	管轄裁判所	国内・海外 ( )
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無（SLA 内容： )		
実績稼働率	有・無・その他（非公開 )	目標稼働率	有・無・その他（非公開 )
ストレージ	多重化有・無・その他 ( )	バックアップ	有・無・その他 ( )
データ暗号化	有・無・その他 ( )	暗号化通信	有・無・その他 ( )
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ( )	API 公開	有・無・その他 ( )
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	平日 9：00-17：00	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ( )	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 )	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：ICT プロダクト企画部 担当者：太田 裕士	電話番号：03-5634-6209 FAX 番号：03-5634-6831 Mail： <a href="mailto:ootahiroshi@uchida.co.jp">ootahiroshi@uchida.co.jp</a>	



### 3. 事務支援系ソリューション

製品・サービス名称	TWX-21 MRO 集中購買サービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	<a href="https://e-sourcing.twx-21.com/mall/index.html?link_id=twx_lid_110225_02">https://e-sourcing.twx-21.com/mall/index.html?link_id=twx_lid_110225_02</a>

■製品サービスの特長



間接材の購買改革を支援するサービスです。

さまざまな大学/研究機関でのご利用が可能。以下の2タイプにより間接材購買全体の改革を支援いたします。

利用タイプ1：集中購買参加タイプ（購買代行型）

- ・簡単な Web 画面操作で、商品検索、注文作成、承認が可能。他システム(SAP など)との連携も可能です。
- ・これからご利用いただく大学/研究機関とこれまでご利用いただいている一般企業の購入量を集約し、日立が単価交渉、商品選定を行います。継続的な原価低減を実現し、支払いは MRO 集中購買サービスに統一します。

利用タイプ2：システム環境利用タイプ（プライベートカタログ型）

- ・大学/研究機関個別のカタログを掲載し、発注側、受注側の機能を含めた電子取引の環境をご提供します。
- ・多くの利用実績のあるシステム環境のみをご提供します。

製品・サービス名称	TWX-21 MRO 集中購買サービス		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック ・プライベート ・その他 ( )	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数 (760) 社 : 利用企業名 (バンドー化学株式会社様、株式会社 IHI 様) 大学数 (非公開) 校 : 利用大学名 (北海道大学様)		
費用	初期費用 : 作業内容に応じて設定。ランニング費用 : データ件数、ユーザ ID 数などに応じて設定。		
利用条件	お客さまの関連業務により異なるため、個別対応になります。詳細は弊社営業までお問い合わせください。		
支払方法	月次・後払、支払方法 (振込)		
販売代理店	無、有 (代理店名 : )		
<b>■契約</b>			
申込み方法	注文書・その他 (弊社営業)	利用開始までの期間	2ヶ月～
約款の有無	有・無 ( )	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ( )
データ保存場所	国内・海外 ( )	データ削除規定の有無	有・無・その他 ( )
準拠法	日本国法・海外法規 ( )	管轄裁判所	国内・海外 ( )
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無 (SLA 内容 : )		
実績稼働率	有・無・その他 (99.5%以上)	目標稼働率	有・無・その他 (非公表)
ストレージ	多重化有・無・その他 (RAID5)	バックアップ	有・無・その他 ( )
データ暗号化	有・無・その他 ( )	暗号化通信	有・無・その他 ( )
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 (GUI 対応など)	API 公開	有・無・その他 ( )
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	弊社営業日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00～12:00, 13:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール	対応インシデント数	別途個別見積り
計画停止の頻度	1 回/月 (第 2 日曜日) 定期保守のため終日停止。メンテナンス・エンハンス・保守作業の停止は、サービスの稼働保証時間外 (平日 19:00～翌日 9:00、休日) に実施	サービス停止の通知	計画停止はサービスのホームページに記載、メンテナンス・エンハンス・保守作業による停止は事前に通知
ログの開示	有 (コンテンツ)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、QMS、EMS
問合せ先	企業名 : 株式会社 日立製作所 部署名 : 公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 第 3 グループ 担当者 : 江盛、荒木	電話番号 : 03-5471-4507 FAX 番号 : 03-5471-4519 Mail : <a href="mailto:ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp">ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp</a>	

製品・サービス名称	RoomSense クラウドサービス
提供企業名	株式会社内田洋行
紹介サイト URL	<a href="https://office.uchida.co.jp/ict/roomsense/">https://office.uchida.co.jp/ict/roomsense/</a>

## ■製品サービスの特長

# RoomSense

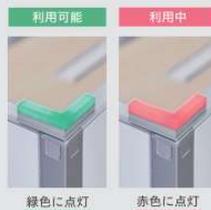
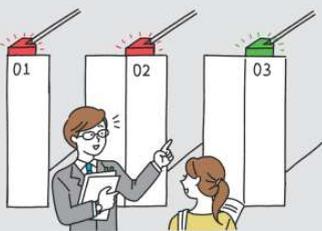
グループワークや個人学習を行う席の空き状況やトイレの空き状況、食堂や休憩スペースの混雑状況等を可視化して利便性を向上するシステムです。

- その場で、直ぐに空いている場所や席を見つけられます。
- 離れた場所でも空いている場所を見つけられ、無駄な時間を削減できます。
- 利用履歴を活用し、効率的な施設運用ができます。



### 01 利用状況をセンサーが検知しLEDライトの表示で空きスペースが一目でわかる。

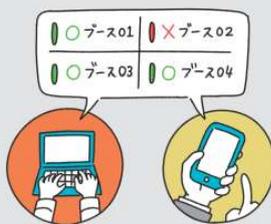
各ブースに設置したセンサーが、人の動きを検知することで、LEDライトの色を切り替えます。



◀LEDライトの色で、ブースの利用状況を瞬時に判断できます。

### 02 離れた場所からWebブラウザを使って、空いている席を簡単に探せる。

PCやスマホのWebブラウザで利用状況を閲覧できるので、離れた場所から利用可能な場所を探せます。



### 03 利用履歴の蓄積から、オープンスペースの稼働率が確認できる。

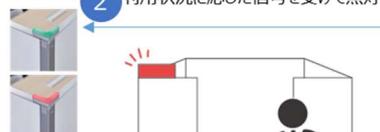
利用履歴をもとに、稼働率をグラフで確認したり、データをダウンロードして、活用することができます。



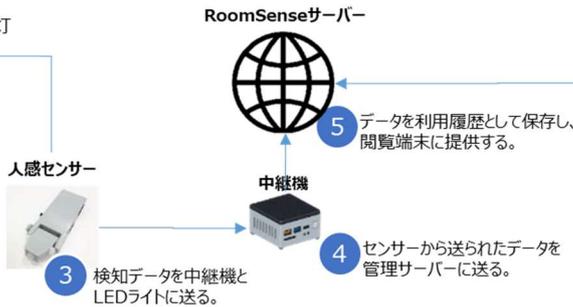
◀検索条件で設定した場所や期間で、単位時間毎の稼働率を確認できます。

## ■仕組み

### LEDライト



1 テーブルの天板裏等に設置された人感センサーが人を検知する。



3 検知データを中継機とLEDライトに送る。

4 センサーから送られたデータを管理サーバーに送る。

5 データを利用履歴として保存し、閲覧端末に提供する。

### 閲覧端末



6 管理サーバーにアクセスし、利用状況や利用履歴を確認する。

## ラーニング・commons



大学のラーニング・commonsなどに設置すれば、違う校舎やフロアにいてもスマホで空きスペースを確認することができます。

## 図書館自主学習室



図書館の自主学習席などの空きスペースを見つけることが難しい場所でも、スマホや表示端末で簡単に確認できます。

製品・サービス名称	RoomSense クラウドサービス		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック ・プライベート ・その他 ( )	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名 ( ) 大学数（非公開）校：利用大学名 ( )		
費用	導入時の初期設定費用、毎月の利用料（定額）が発生します。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません。		
支払方法	※月次／年次請求、前払		
販売代理店	有（代理店名： ( )		
<b>■契約</b>			
申込み方法	注文書・その他 ( )	利用開始までの期間	注文後 2 か月程度
約款の有無	有・無 ( )	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ( )
データ保存場所	国内・海外 ( )	データ削除規定の有無	有・無・その他 ( )
準拠法	日本国法・海外法規 ( )	管轄裁判所	国内・海外 ( )
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無（SLA 内容： ( )		
実績稼働率	有・無・その他（非公開 ( )	目標稼働率	有・無・その他（非公開 ( )
ストレージ	多重化有・無・その他 ( )	バックアップ	有・無・その他 ( )
データ暗号化	有・無・その他 ( )	暗号化通信	有・無・その他 ( )
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ( )	API 公開	有・無・その他 ( )
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	平日：9:00-17:00	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ( )	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じて実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 ( )	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：ICT プロダクト企画部 担当者：太田 裕士	電話番号：03-5634-6209 FAX 番号：03-5634-6831 Mail： <a href="mailto:ootahiroshi@uchida.co.jp">ootahiroshi@uchida.co.jp</a>	



## 4. 情報インフラ系ソリューション

製品・サービス名称	さくらの VPS
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	<a href="https://vps.sakura.ad.jp/">https://vps.sakura.ad.jp/</a>

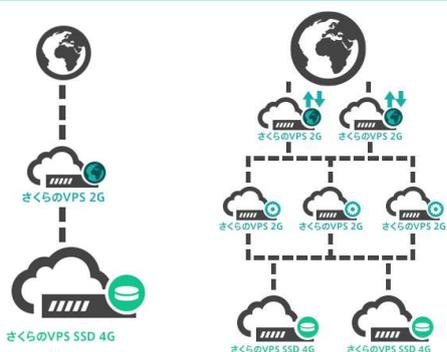
### ■製品サービスの特長

さくらの VPS が全面リニューアルしました！！

- ◎ 全プランで SSD を標準搭載しスループットが向上！
- ◎ 全プランで初期費用が無料に！
- ◎ 最大 2 倍のストレージ増量や月額料金の最大 50%値下げ！

#### ローカルネットワーク

台数無制限！複数台構成も低価格で構築できます



1 台からはじめて、サービス規模の拡張に合わせて複数台に！コントロールパネル上の簡単操作でスケールアウトが可能です。

セキュリティ向上

IP アドレスの拡張

各サーバは 3 つのネットワークインターフェースをもつため、グローバル、ローカルの 2 層ネットワークだけでなく、ローカル側を複数セグメント化した 3 層構成も可能。これにより大規模なシステムを VPS で実現できるようになります。

※最大 10 セグメントまで利用可能

#### ハイブリッド

全国 3 カ所に VPS の地理的な分散が可能です

さくらの VPS を、石狩(北海道)、東京地区、大阪地区の全国 3 カ所に分散配置し同一の L2 ネットワーク上で連携稼働させることが可能です。



#### ハイブリッド

異種サービスの連携運用が可能です

「さくらの VPS」と「さくらのクラウド」、「さくらの専用サーバ」、「ハウジング」を同一の L2 ネットワークで連携稼働させることが可能です。



製品・サービス名称	さくらのVPS		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック ・プライベート ・その他 ( )	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数 (非公開) 社 : 利用企業名 (事例は次の URL 参照 <a href="https://case.sakura.ad.jp/">https://case.sakura.ad.jp/</a> ) 大学数 (非公開) 校		
費用	Linux 版 : 初期費用なし、月額費用 643 円 (税込) ~ Windows 版 : 初期費用なし、月額費用 1,320 円 (税込) ~		
利用条件	2 週間の無料ご試用が可能。ご利用拘束期間は 3 ヶ月間となります。		
支払方法	標準は前払い、お支払い方法は請求書払い、クレジットカードとなります。 ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有 ( )		
<b>■契約</b>			
申込み方法	注文書・その他 (オンラインサインアップ)	利用開始までの期間	即時
約款の有無	有・無 ( )	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ( )
データ保存場所	国内・海外 ( )	データ削除規定の有無	有・無・その他 ( )
準拠法	日本国法・海外法規 ( )	管轄裁判所	国内・海外 ( )
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無 (SLA 内容 : )		
実績稼働率	有・無・その他 (非公開 )	目標稼働率	有・無・その他 (非公開 )
ストレージ	多重化有・無・その他 ( )	バックアップ	有・無・その他 (運用側にて取得)
データ暗号化	有・無・その他 ( )	暗号化通信	有・無・その他 ( )
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 (コントロールパネル提供)	API 公開	有・無・その他 ( )
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	24 時間 / 365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10 : 00-18 : 00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ( )	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無 (※条件 )	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名 : さくらインターネット株式会社 部署名 : 営業部 担当者 :	電話番号 : 03-5332-7071 FAX 番号 : 03-5332-7079 Mail : <a href="mailto:edu-ml@sakura.ad.jp">edu-ml@sakura.ad.jp</a>	

製品・サービス名称	さくらのクラウド
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	<a href="https://cloud.sakura.ad.jp/">https://cloud.sakura.ad.jp/</a>

### ■製品サービスの特長

実際にサーバやスイッチがあるような直感的操作が可能な IaaS 型クラウドです。

リージョン	東京
	石狩

### 高性能

最 **128 コア**、**480GB** メモリまでの充実のスペック

### 低価格

初期費用無料、月額 **1,540 円** から始められます  
月額 1,540 円～、1 日 77 円、1 時間 7 円 ※ディスク料金除く

### わかりやすい料金体系

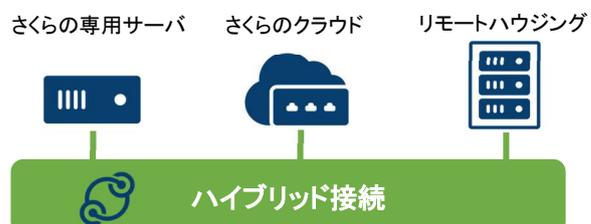
初期費用無料、データ転送量による従量課金なし！



時間割・日割・月額から最も安い料金が自動で適用されます。事前に料金計算できるため予算確定、稟議処理も簡単です。

### クラウドと異種サービスを接続できる

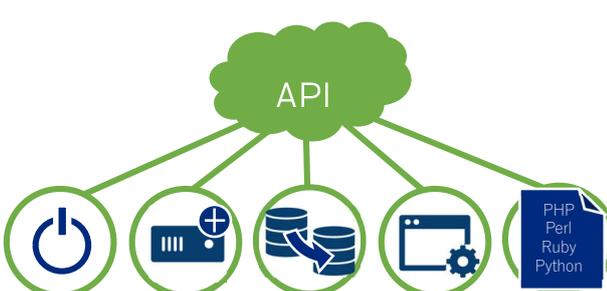
さくらのサービスメリットを最大化！



ローカルセグメントを同一ネットワークで接続し、複数サービスを自由に組み合わせたハイブリッド構成が人気です。  
※詳しくはご相談下さい。

### クラウド API で業務を効率化

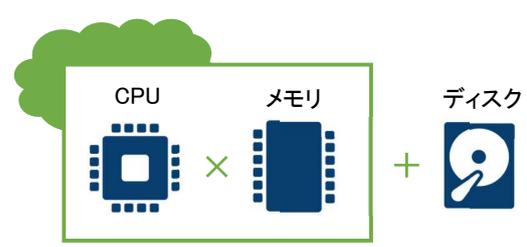
外部プログラムからサーバやインフラを操作！



サーバの作成から削除まで、クラウドの振る舞いのほとんど全てをプログラミングすることが可能です。

### 選べるプラン 95 種類

最大 20 コア × 224GB メモリの充実スペック！



CPU とメモリを自由に組み合わせてサーバを選択、コントロールパネルからすぐに作成できます。

### 標準提供機能

セットアップ済み提供 OS あり / インターネット接続回線は共有 100Mbps を無料でご提供 / 1 つの仮想サーバにつき、1 つのグローバル IP アドレスを付与 / コントロールパネルの提供 / 2 段階認証 / WAF の提供 (一部 OS) / マーケットプレイス

### 有償オプション

Windows Server / Red Hat® Enterprise Linux® Server / アーカイブ / データベースアプライアンス / バックアップ / ブリッジ接続 / スイッチ / ルータ+スイッチ (インターネット接続回線の集約・増速) / 追加 IP アドレス / ロードバランサ / VPC ルータ / GSLB (広域負荷分散) / DNS / オブジェクトストレージ / ハイブリッド接続 / SINET 接続 / AWS 接続 / 改ざん検知

製品・サービス名称	さくらのクラウド		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照 <a href="https://case.sakura.ad.jp/">https://case.sakura.ad.jp/</a> ) 大学数（非公開）校：利用大学名（国立情報学研究所、流通経済大学 他）		
費用	初期費用 0 円、ランニング費用：仮想サーバのタイプ、台数、オプションの有無により、時間割、日割、月額から最も安い料金で課金が発生します。		
利用条件	【クラウド】最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません。		
支払方法	標準は当月分を翌月 10 日請求、翌月末お支払い。お支払い方法は、クレジットカード払いとなります。ただし、お支払い時期や請求書払いへの変更につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有（ <a href="#">セールスパートナー一覧   さくらのパートナーネットワーク</a> ）		
<b>■契約</b>			
申込み方法	注文書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	即時
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無（SLA 内容：月間のサーバ稼働率が、 <b>99.95%</b> 以上）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他（ ）
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	24 時間/365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10:00-18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、PCIDSS
問合せ先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail： <a href="mailto:edu-ml@sakura.ad.jp">edu-ml@sakura.ad.jp</a>	

製品・サービス名称	さくらの専用サーバ PHY (ファイ)
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	<a href="https://server.sakura.ad.jp/">https://server.sakura.ad.jp/</a>

#### ■製品サービスの特長



## 自由度の高い物理専有 ホスティングサービス

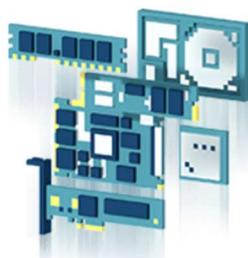
物理サーバをすぐに使えるさくらの専用サーバ PHYなら  
お客様のビジネスを支える安心がそろっています

## いま、さくらの専用サーバ PHYを選ぶ理由



### クラウドサービスとの連携

ハイブリッド接続により、クラウドやハウジングサービスなどとの連携が可能です。



### 高速なCPUと大量の メモリ、ストレージを専有

最新の高スペックサーバーリソースを独占できます。



### 自由自在にスケール可能

サーバー1台の構成から、台数に上限なしでスケールアウト可能です。



### サーバーを欲しいときに

サーバーを最速10分で提供可能です。  
オプションサービスのオンライン申し込みも可能になりました。



### 万全の保守体制

自社社員による、24時間365日のオンサイト保守でハードウェアの障害も安心です。

製品・サービス名称	さくらの専用サーバ PHY		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック ・プライベート ト ・その他 ( )	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数 (非公開) 社 : 利用企業名 (事例は次の URL 参照 <a href="https://case.sakura.ad.jp/">https://case.sakura.ad.jp/</a> ) 大学数 (非公開) 校		
費用	8core/64GB メモリ・ハードウェア占有型で月額 35,200 円～ (別途初期費用が必要)		
利用条件	最低利用期間は 3 ヶ月間です。		
支払方法	標準は前払い。お支払い方法は請求書払い、クレジットカードとなります。 ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有 ( )		
<b>■契約</b>			
申込み方法	注文書・その他 (Web)	利用開始までの期間	即時～数営業日
約款の有無	有・無 ( )	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ( )
データ保存場所	国内・海外 ( )	データ削除規定の有無	有・無・その他 ( )
準拠法	日本国法・海外法規 ( )	管轄裁判所	国内・海外 ( )
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無 (SLA 内容 : 月間のネットワーク稼働率が <b>99.95%</b> 以上を保証)		
実績稼働率	有・無・その他 (非公開)	目標稼働率	有・無・その他 (非公開)
ストレージ	多重化 有・無・その他 ( )	バックアップ	有・無・その他 ( )
データ暗号化	有・無・その他 ( )	暗号化通信	有・無・その他 ( )
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 (コントロールパネル提供)	API 公開	有・無・その他 ( )
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	24 時間 / 365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10:00～18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ( )	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無 (※条件 )	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名 : さくらインターネット株式会社 部署名 : 営業部 担当者 :	電話番号 : 03-5332-7071 FAX 番号 : 03-5332-7079 Mail : <a href="mailto:edu-ml@sakura.ad.jp">edu-ml@sakura.ad.jp</a>	

製品・サービス名称	SINET 接続サービス
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://www.sakura.ad.jp/education/solution/sinet.html

### ■製品サービスの特長

- 学術研究機関のキャンパスネットワークを、さくらインターネットのデータセンターまで拡張するサービスです。
- ネットワークは 10Gbps ベストエフォートで、全域が冗長化されています。
- すでに SINET 接続のある学術研究機関であれば、追加機器も必要なく、設定の投入だけでご利用になれます。
- さくらインターネットの全国拠点の複数サービスを組み合わせるとご利用可能です。

## SINET 接続サービスの特徴

### 1 SINET「クラウド接続」サービスに対応

国立情報学研究所が提供する SINET の「クラウド接続」サービスを利用して、SINET 経由で学術機関から当社の各種インフラサービスに接続可能です。

### 2 10Gbps ベストエフォート回線で SINET に接続

広帯域ネットワークを共有し、ご利用頂けます。

### 3 信頼性の高いネットワーク

SINET の NOC と当社データセンター間の通信経路は冗長化しています。

### 4 SINET 接続サービスとハイブリッド接続の併用

SINET と当社のハイブリッド基盤が接続されているので、以下の当社インフラサービスが利用可能です。

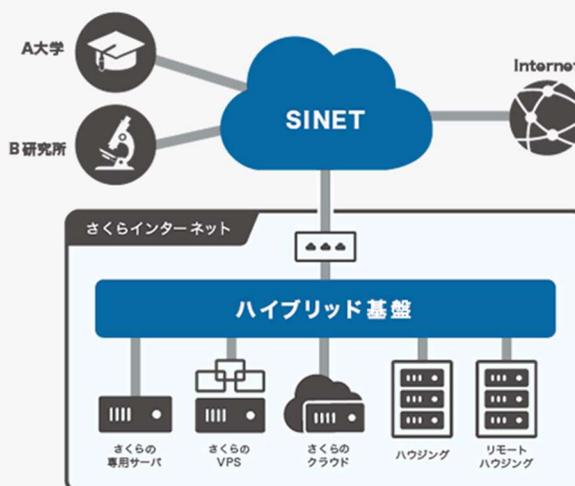
さくらの専用サーバ

ハウジング

さくらのクラウド

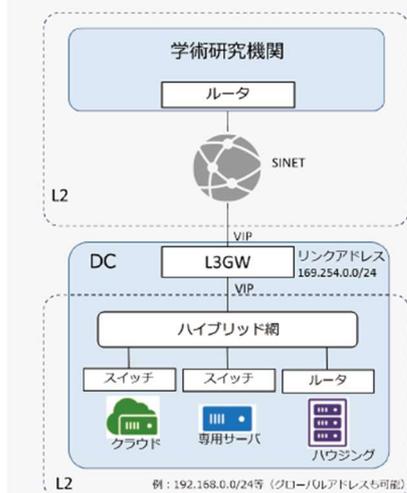
さくらの VPS

リモートハウジング



## ご利用方法

SINET 接続サービスを利用して、当社サービス（クラウド、専用サーバ、ハウジング）をご利用頂く方法をご説明致します。



- ① SINET 接続サービスは、国立情報学研究所が提供する SINET の「クラウド接続」サービスを利用して、学術研究機関内の L2 ネットワークと当社データセンター内の L2 ネットワークを、L3 ゲートウェイで接続するサービスです。そのため、学術研究機関内の L2 ネットワークと当社データセンター内の L2 ネットワークは別セグメントとなります。
- ② ご利用頂くリンクアドレスは弊社からご連絡いたします。
- ③ 当社サービスにはプライベートアドレス、グローバルアドレスの何れかを使用することができます。但し、ご利用開始後の IP アドレス追加、IP アドレス変更、サブネットマスクの変更はできませんので、ご注意ください。
- ④ 当社サービスに使用されるお客様管理下の IP アドレスのうち、3 個を VIP 等の用途に弊社にお貸出し載せます。
- ⑤ お客様側ルータにて、当社サービス迄の経路情報をご登録載せます。

※SINET100Gbps サービスを利用した別サービスもございますので、営業部までお問合せ下さい。

製品・サービス名称	SINET 接続サービス		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック ・プライベート ・その他 ( )	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照 <a href="https://case.sakura.ad.jp/">https://case.sakura.ad.jp/</a> ) 大学数（非公開）校		
費用	初期費用なし、1 VPN 当たり月額 16,500 円(税込)		
利用条件	ご利用拘束期間は 3 ヶ月間となります。		
支払方法	当社の他のサービスと同時のご請求、お支払いとなります。 お支払い時期や請求書払いへの変更につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有 ( )		
<b>■契約</b>			
申込み方法	申込み書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	1 ヶ月程度
約款の有無	有・無 ( )	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ( )
データ保存場所	国内・海外 ( )	データ削除規定の有無	有・無・その他 ( )
準拠法	日本国法・海外法規 ( )	管轄裁判所	国内・海外 ( )
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無（SLA 内容： ( )）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開 ( )）	目標稼働率	有・無・その他（非公開 ( )）
ストレージ	多重化有・無・その他 ( )	バックアップ	有・無・その他（Active & Standby）
データ暗号化	有・無・その他 ( )	暗号化通信	有・無・その他 ( )
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他 ( )
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	24 時間/365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10:00-18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ( )	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 ( )）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail： <a href="mailto:edu-ml@sakura.ad.jp">edu-ml@sakura.ad.jp</a>	

製品・サービス名称	脆弱性管理サービス
提供企業名	アイティーエム株式会社
紹介サイト URL	<a href="https://www.itmanage.co.jp/security/vul-management/">https://www.itmanage.co.jp/security/vul-management/</a>

### ■製品サービスの特長

社会がデジタル化に向かう昨今、安心・安全なデジタル社会を実現するにはサイバーセキュリティ対策がますます重要です。

#### 組織における脆弱性管理の課題

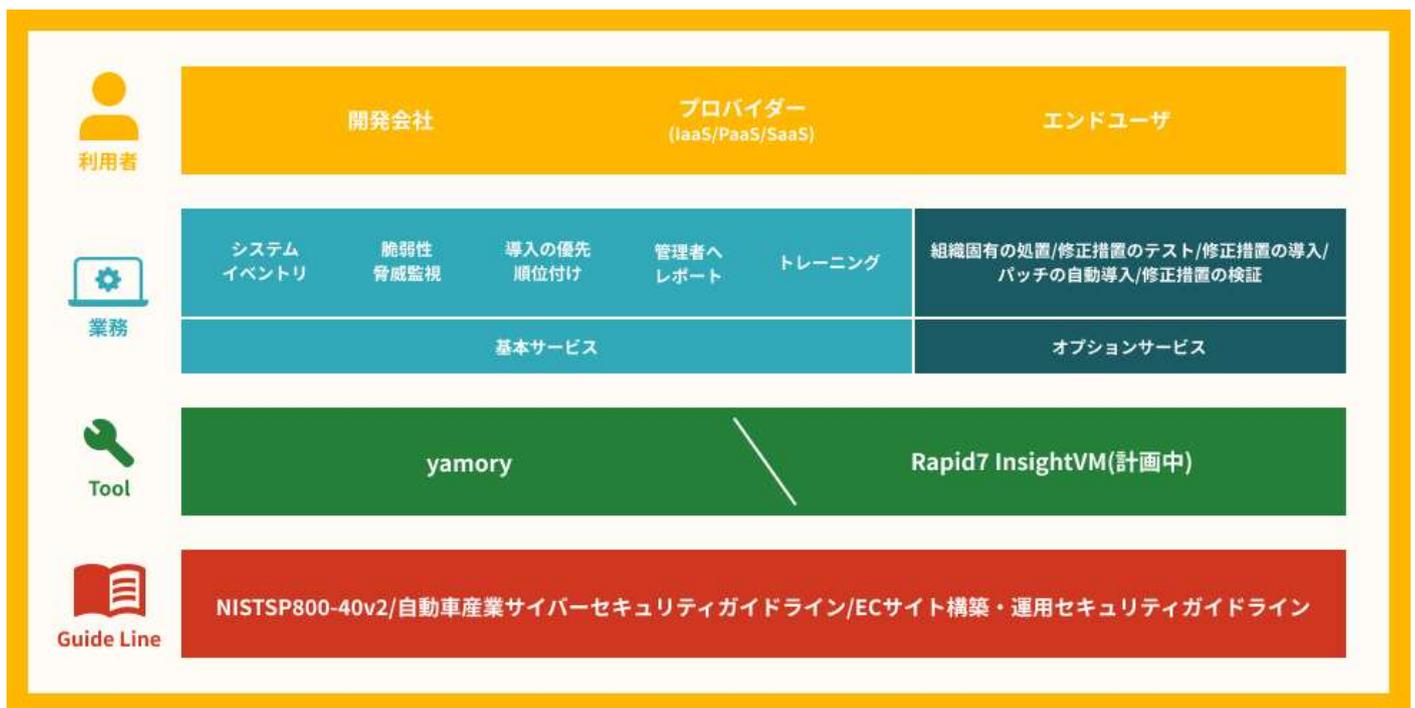
- ソフトウェア・インベントリ・ベースの継続的な脆弱性管理。
- 新たなリスクとして、ソフトウェア・サプライチェーン・リスクへの対応。
- 各種ガイドラインへの対応と継続的な管理プロセスの確立。

#### 脆弱性管理に必要なプロセス

効果的な脆弱性管理を行うには、1) 資産情報の把握、2) 脆弱性情報の収集、3) 脆弱性の検知、4) リスク評価、5) 報告、6) 循環プロセスが必要とされます。

#### 脆弱性管理サービスの特長

- 1) 標準化を意識した脆弱性管理モデルの採用。



- 2) 実践的な業務定義に基づくサービス内容。
- 3) 管理に必須であるプロセス/ツール/フローをワンストップで提供。
- 4) ソフトウェア脆弱性管理で必須な SBOM にも対応。

※アイティーエムが提供する脆弱性管理サービスは脆弱性管理ツール「yamory」を使用いたします。

経産省の『ソフトウェア管理に向けた SBOM (Software Bill of Materials) の導入に関する手引』に国産で唯一掲載された IT システムの脆弱性対策とリスク管理をオールインワンで実現する SaaS サービスです。

※「yamory」は、ビジョナル株式会社の登録商標です。

製品・サービス名称	脆弱性管理サービス		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数（ ）社：利用企業名（ ） 大学数（ ）校：利用大学名（ ）		
費用	無償トライアル有(最大2ヶ月) 費用はご利用プランおよび、管理対象アセット数に応じます。また、導入時に初期費用が発生します。 詳細はお問い合わせください。		
利用条件	【クラウドの場合】最小管理対象アセット数100、最低利用期間1年		
支払方法	年次請求、銀行振込にて前払い		
販売代理店	無、有（代理店名： ）		
<b>■契約</b>			
申込み方法	注文書・その他（ ）	利用開始までの期間	別途調整(最短3営業日~)
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無（SLA内容： ）		
実績稼働率	有・無・その他（99.9%以上 ）	目標稼働率	有・無・その他（99.9%以上 ）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	当社営業日 9:00-17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	年間複数件対応
計画停止の頻度	年に複数回、土日に実施	サービス停止の通知	原則1ヶ月前に通知
ログの開示	有・無（監査ログ機能を提供）	第三者認証取得状況	ISMS
問合せ先	企業名：アイティーエム株式会社 部署名：アプリケーション・セキュリティ事業本部 担当者：久光 勝美、柴田 諭		電話番号：03-6908-8310 FAX 番号：03-6636-6998 Mail：appsec@itmanage.co.jp

製品・サービス名称	EverFlex from Hitachi 仮想化基盤
提供企業名	株式会社 日立製作所 マネージドサービス事業部
紹介サイト URL	<a href="https://www.hitachi.co.jp/products/it/everflex/index.html">https://www.hitachi.co.jp/products/it/everflex/index.html</a>

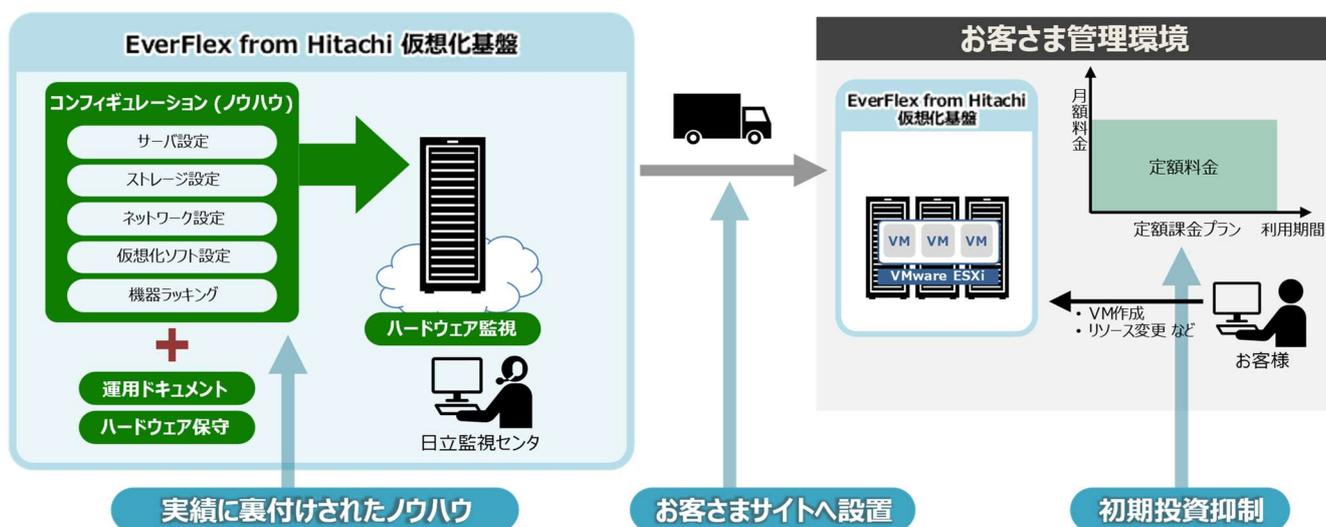
■製品サービスの特長

○ EverFlex from Hitachi 仮想化基盤とは

EverFlex from Hitachi（以下、EverFlex）は、as a Service 型の IT プラットフォームを提供するブランド名です。

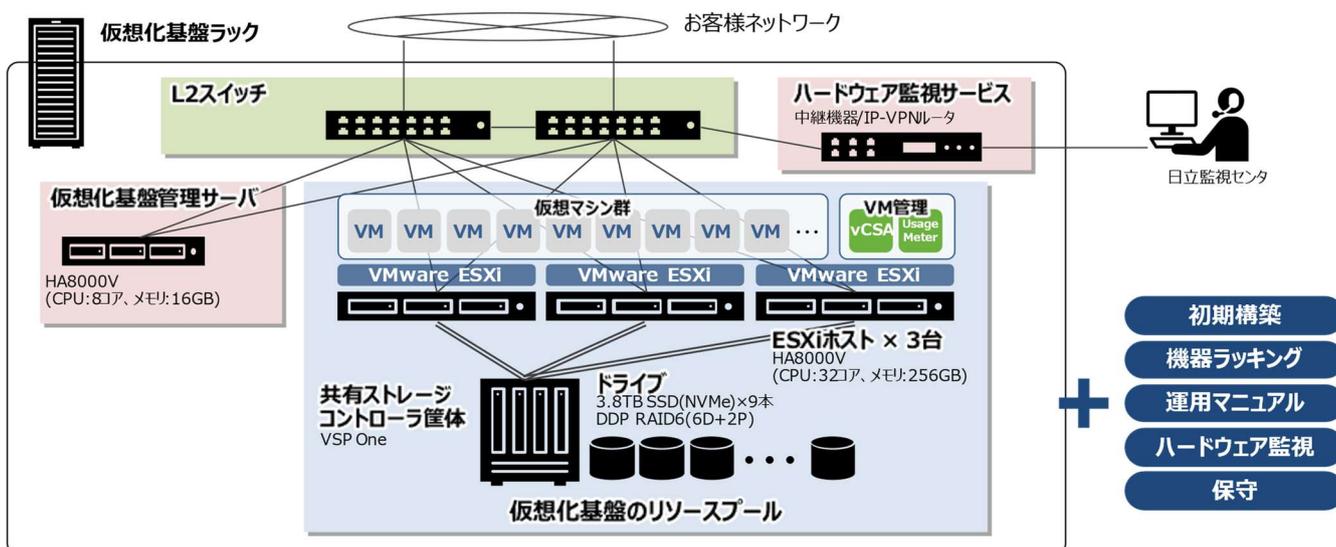
EverFlex にて提供する「仮想化基盤」は、パブリッククラウドの利点（アジリティや柔軟性など）とオンプレミスの利点（データ機密性や高信頼など）の両者良いとこ取りを実現したサービスです。

- 長年に渡り提供している日立クラウドサービスのノウハウをベースに標準化した仮想化基盤をサービス提供
- 専用仮想化基盤をお客さま環境に設置することにより、安心・安全なシステム環境を提供
- 月額料金による、初期投資を抑えたシステム導入



○ EverFlex from Hitachi 仮想化基盤 標準構成

- 標準構成を選択することで、構成検討、見積取得にかかる時間や手間を削減可能
- お客さま要件に合わせた構成の提供も可能



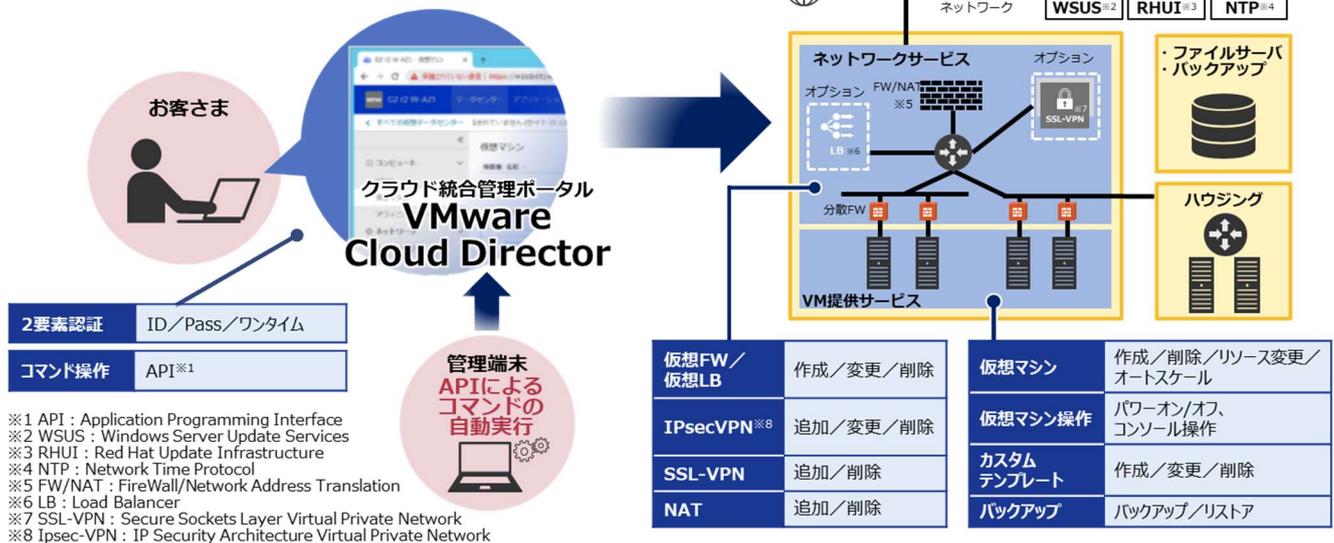
・ VMware、VMware vSphere、VMware vCenter、ESX、ESXi は米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。  
 ・ その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

製品・サービス名称	EverFlex from Hitachi 仮想化基盤		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック・プライベート ・その他 ( )	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数（非公開）： 大学数（非公開）		
費用	費用としてランニング費用が発生します。運搬・設置費用が初期費用として発生します。 課金単位は月額課金です。月額固定／従量課金が選択できます。		
利用条件	最低ユーザー数：1、利用期間：5年（60ヶ月） 利用期間は応相談。詳細は営業までお問い合わせ願います。		
支払方法	月次・後払、支払方法（振込）		
販売代理店	無、有（代理店名： )		
<b>■契約</b>			
申込み方法	その他（弊社営業）	利用開始までの期間	3か月～
約款の有無	有・無 ( )	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（契約書による）
データ保存場所	国内・海外 ( )	データ削除規定の有無	有・無・その他 ( )
準拠法	日本国法・海外法規 ( )	管轄裁判所	国内・海外 ( )
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無（SLA内容： )		
実績稼働率	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。	目標稼働率	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
ストレージ	多重化有・無・その他 ( )	バックアップ	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
データ暗号化	有・無・その他 ( )	暗号化通信	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	LDAP 連携	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
管理ツール	有・無・その他 ( )	API 公開	有・無・その他 ( )
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	24時間週7日	QA 対応時間帯	問合せ受付：24時間週7日 回答時間：営業日9～17時
コンタクト方法	電話・メール・その他 ( )	対応インシデント数	特になし
計画停止の頻度	原則として計画停止無し	サービス停止の通知	個別調整
ログの開示	有・無（※条件 )	第三者認証取得状況	Pマーク、QMS、EMS
問合せ先	企業名：株式会社 日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 第3グループ 担当者：江盛、荒木	電話番号：03-5471-4507 FAX 番号：03-5471-4519 Mail： <a href="mailto:ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp">ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp</a>	

製品・サービス名称	エンタープライズクラウドサービス G2
提供企業名	株式会社 日立製作所 マネージドサービス事業部
紹介サイト URL	<a href="https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/enterprise-g2/">https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/enterprise-g2/</a>

■製品サービスの特長

迅速・柔軟なシステム導入・運用が可能



本サービスは ISMAP クラウドサービスリストに登録されています。  
※ISMAP : 政府情報システムのためのセキュリティ評価制度



・従来サービスでは難しかったネットワーク・VMの組み合わせを実現

エンタープライズクラウドサービス G2 では、クラウド統合管理ポータル (VMware Cloud Director) を利用し、従来サービスでは難しかったネットワーク・VM の組み合わせで設計できます。お客さまにて任意のタイミングで切替や一時的なテスト環境構築などの柔軟な運用を実現。日立への問い合わせや作業依頼といった手間と時間を取らせません。

・ポータル機能でのお客さま運用で、導入一時費用低減と導入時間を短縮

エンタープライズクラウドサービス G2 では、クラウド統合管理ポータルで、必要なときにお客さまがリソースを変更できます。また、ご要望に合わせた必要最小限の構成に最適化することで、導入や運用にかかるコストを抑えられます。最新技術の採用により提供基盤を最適化。CPU などのサーバリソースを低価格にしました。

・従来サービスのお客さまサポートは、問い合わせから導入支援までメニュー化

従来サービスと同様に、エンタープライズクラウドサービス G2 では定期メンテナンスを実施。監視、障害対応によりお客さまのクラウドリソースを安定稼働させます。「どのような構成にしたらいかがわからない」といった疑問にも、日立の技術者がお応えするサポート対応が可能です。

※サービス仕様については、予告なく変更する場合があります。

製品・サービス名称	エンタープライズクラウドサービス G2		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック ・プライベート ・その他 ( )	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数 (非公開) 大学数 (非公開)		
費用	費用としてランニング費用が発生します。一部サービスでは導入にかかる一時費用が発生します。 請求は月次従量課金での精算となります。メニューにより時間・日額課金となっております。 詳細は営業までお問い合わせ願います。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数：規定なし、最低利用期間：1 カ月		
支払方法	※月次請求、後払、支払方法 (振込)		
販売代理店	無		
<b>■契約</b>			
申込み方法	その他 (弊社営業)	利用開始までの期間	最短 5 営業日
約款の有無	有・無 (契約書による )	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ( )
データ保存場所	国内・海外 ( )	データ削除規定の有無	有・無・その他 ( )
準拠法	日本国法・海外法規 ( )	管轄裁判所	国内・海外 ( )
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無 (SLA 内容：最低稼働率として 99.5%を保証 )		
実績稼働率	有・無・その他 ( )	目標稼働率	有・無・その他 (99.99%)
ストレージ	多重化有・無・その他 ( )	バックアップ	有・無・その他 ( )
データ暗号化	有・無・その他 ( )	暗号化通信	有・無・その他 ( )
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ( )	API 公開	有・無・その他 ( )
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	弊社営業日 9:00~18:00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00~18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 (ポータル等)	対応インシデント数	特になし
計画停止の頻度	最大 1 回/月	サービス停止の通知	1 ヶ月以上前に通知
ログの開示	有・無 (※条件 )	第三者認証取得状況	ISMAP、P マーク ISO (ISMS、QMS、EMS)
問合せ先	企業名：株式会社 日立製作所 公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 第 3 グループ 担当者：江盛、荒木	電話番号：03-5471-4507 FAX 番号：03-5471-4519 Mail： <a href="mailto:ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp">ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp</a>	

製品・サービス名称	クライアントサービス 日立のデータセンター
提供企業名	株式会社 日立製作所
紹介サイト URL	<a href="https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/platform_client/index.html">https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/platform_client/index.html</a>

■製品サービスの特長

Hitachi Cloud

クライアントサービス

**HITACHI**  
Inspire the Next

高信頼・高品質で実績豊富な日立のデータセンタ上で仮想デスクトップ環境を提供！

お客さまの課題 

1. 働き方改革への対応 柔軟な働き方を実現し、生産性や企業の魅力度を向上したい
2. セキュリティ対策 利便性を落とさずにセキュリティ対策をしたい
3. IT部門の負担軽減 構築/運用ノウハウがない、システム運用の負担を軽減したい

クライアントサービスの特徴



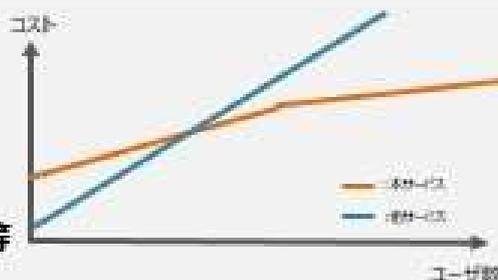
高品質・高信頼

- ・堅牢かつ高セキュリティな日立のデータセンタを活用
- ・高水準のセキュリティ要件に準拠
- ・常駐者による24時間365日監視 等



シンプルな価格体系

- ・ユーザー数に応じた月額課金
- ・シンプルかつ柔軟なメニュー体系
- ・ユーザー数や契約年数に応じた予約割引の適用 等



寄り添い型のサポート

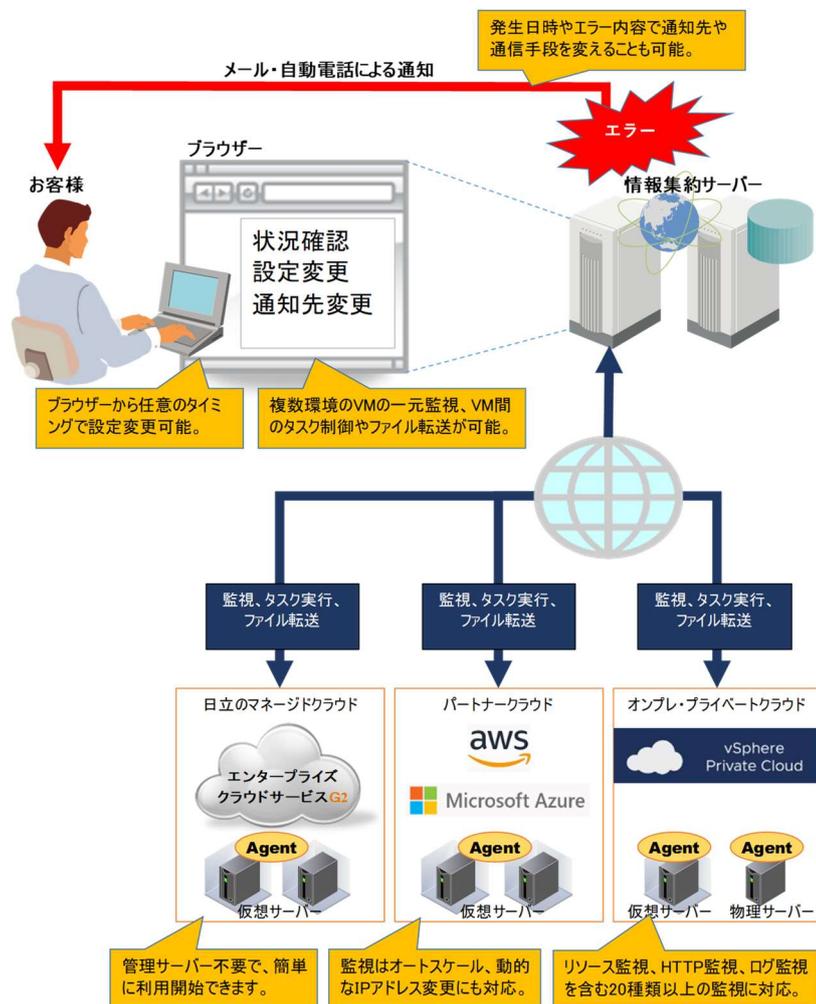
- ・豊富な実績に基づくノウハウ
- ・お客様の個別の事情に寄り添った手厚いサポート
- ・問い合わせ/障害発生時の受付窓口を一本化 等



製品・サービス名称	クライアントサービス 日立のデータセンター		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック・プライベート ・その他 ( )	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他 (用途不問)
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数 (10 ) 社：利用企業名 (S社、Z社、J社、N社、O社、M社、A社など ) 大学数 ( ) 校：利用大学名 ( )		
費用	※課金は基本料金+仮想デスクトップのスペック別台数単価*台数 ※基本料金は台数レンジごとに定額。 ※スペック別台数単価は、ボリュームディスカウントで台数レンジが高いほど安価。 ※契約年数は、1年、3年、5年。契約年数が長いほど安価。		
利用条件	最低ユーザ数は原則 500 台以上。		
支払方法	※月次請求、月末手配		
販売代理店	無、有 (代理店名： )		
<b>■契約</b>			
申込み方法	フロント業種 SE 経由で見積依頼	利用開始までの期間	ハードウェア調達期間に依存
約款の有無	有・無 ( )	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ( )
データ保存場所	国内・海外 ( )	データ削除規定の有無	有・無・その他 ( )
準拠法	日本国法・海外法規 ( )	管轄裁判所	国内・海外 ( )
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無 (SLA 内容： )		
実績稼働率	有 (99.99%)・無・その他 ( )	目標稼働率	有 (99.8%)・無・その他 ( )
ストレージ	多重化有・無・その他 ( )	バックアップ	有 (お客様データはオプション)・無・その他
データ暗号化	有・無・その他 ( )	暗号化通信	有・無・その他 ( )
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ( )	API 公開	有・無・その他 ( )
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ( )	対応インシデント数	規定なし
計画停止の頻度	3 回/年	サービス停止の通知	6 ヶ月前に通知
ログの開示	有・無 (※条件 )	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社 日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 第3グループ 担当者：江盛、荒木	電話番号：03-5471-4507 FAX 番号：03-5471-4519 Mail：ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	フェデレーテッドクラウド管理（監視・タスク実行・ファイル転送）サービス
提供企業名	株式会社 日立製作所マネージド&プラットフォームサービス事業部
紹介サイト URL	<a href="https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/f-kanshi/index.html">https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/f-kanshi/index.html</a>

## ■製品サービスの特長



### 監視サービス **Monitor**

サーバー及びネットワークデバイスの状態を監視し、エラーを検知すると、指定された通知先に通報します。リソース監視、HTTP監視、ログ監視を含む 20 種類以上の監視に対応します。

### タスク実行サービス **Kicker**

各種クラウド、オンプレミスに点在するサーバーに対しタスクを実行します。発生した障害は、指定された通知先に通報します。

### ファイル転送 **Transporter**

サーバーで保有するファイルを、クラウドのストレージ経由で任意のサーバーに転送。ファイルを分割暗号化し並列送信することで、安全かつ高速に転送します。

- 各種クラウド、オンプレミス環境のアラートや稼働統計、タスクの実行結果やファイル転送結果を 1 つの画面で確認可能  
複数のクラウドが混在した環境の監視やタスク実行、ファイル転送を同一システムで管理し 1 つの画面で確認できるのでアラートを見逃しにくくなります。
- 監視機能はリソース監視、HTTP 監視、ログ監視を含む 20 種類以上の監視に対応  
リソース監視、HTTP 監視、ログ監視など、多種多様な監視に対応します。監視設定サイトからエラー判定条件、通知抑止条件、設定ファイルのダウンロード、メールアドレス登録、外部監視の設定などを行えます。
- オートスケールや動的な IP アドレス変更に対応した監視を簡単・迅速に開始可能  
ネットワークもインターネット経由での管理のため、お客さま側でのマネージャーの準備や、専用線敷設は必要ありません。また、フェデレーテッドクラウド情報集約サーバーと対象サーバー間で発生する通信は HTTPS 通信のため、やり取りする管理情報は暗号化されています。

※サービスの改良などにより、予告なく記載されている仕様が変更になることがあります。

- vSphere は、米国およびその他の地域における VMware Inc. の登録商標または商標です。
- AWS は、Amazon Inc. の登録商標または商標です。
- Microsoft Azure は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

製品・サービス名称	フェデレーテッドクラウド管理（監視・タスク実行・ファイル転送）サービス		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（パブリックとプライベートを管理）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数（非公開） 大学数（非公開）：		
費用	費用としてランニング費用が発生します。一部サービスでは初期費用が発生します。課金単位は月額課金です。サービスによっては日額/時間課金が可能です。詳細は営業までお問い合わせ願います。		
利用条件	最低ユーザ数：規定なし、最低利用期間：1カ月		
支払方法	※月次請求、後払、支払方法（振込）		
販売代理店	無		
<b>■契約</b>			
申込み方法	その他（弊社営業）	利用開始までの期間	最短5営業日
約款の有無	有・無（契約書による）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	非公開	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
<b>■信頼性</b>			
SLA	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。		
実績稼働率	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。	目標稼働率	有・無・その他（99.95%）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	弊社営業日 9:00~17:00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00~17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	別途個別見積り
計画停止の頻度	1回/月	サービス停止の通知	1ヶ月以上前に通知
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	ISMS、Pマーク、QMS、EMS、CLS
問合先	企業名：株式会社 日立製作所 公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 第3グループ 担当者：江盛、荒木	電話番号：03-5471-4507 FAX 番号：03-5471-4519 Mail： <a href="mailto:ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp">ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp</a>	

製品・サービス名称	日立 データセンターサービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 マネージド&プラットフォームサービス事業部
紹介サイト URL	<a href="https://www.hitachi.co.jp/products/it/Outsourcing/base.html">https://www.hitachi.co.jp/products/it/Outsourcing/base.html</a>

■製品サービスの特長

「横浜センタ」「岡山センタ」をはじめ、日本各地にデータセンターを展開。

堅牢な設備でお客様の IT 資産をお守りします。



**特長 1**

日立のデータセンターでは、地震、水害や火事などの災害、故障などのトラブルに対してさまざまな対策をしています。

**特長 2**

日立のデータセンターでは、お客様のIT資産を守るため充実したセキュリティ対策をしています。

**特長 3**

日立の各種クラウドサービスや、パブリッククラウドとの接続サービスもご利用いただけます。

サービスの改良などにより、予告なく記載されている仕様が変更になることがあります。

製品・サービス名称	日立 データセンターサービス		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック ・プライベート ・その他 (ハウジング )	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数 (非公開) 大学数 (非公開)		
費用	初期費用とランニング費用が発生します。 詳細は営業までお問い合わせ願います。		
利用条件	ご利用条件はサービスによって異なります。 詳細は営業までお問い合わせ願います。		
支払方法	月次・後払、支払方法 (振込)		
販売代理店	無、有 (代理店名: )		
<b>■契約</b>			
申込み方法	その他 (弊社営業)	利用開始までの期間	別途調整
約款の有無	有・無 ( )	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ( )
データ保存場所	国内・海外 ( )	データ削除規定の有無	有・無・その他 ( )
準拠法	日本国法・海外法規 ( )	管轄裁判所	国内・海外 ( )
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無 (SLA 内容: )		
実績稼働率	有・無・その他 (非公開)	目標稼働率	有・無・その他 ( )
ストレージ	多重化有・無・その他 ( )	バックアップ	有・無・その他 ( )
データ暗号化	有・無・その他 ( )	暗号化通信	有・無・その他 ( )
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (個別接続可能)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定 (個別接続可能)
学認対応	対応・未対応・対応予定	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ( )	API 公開	有・無・その他 ( )
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00-17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ( )	対応インシデント数	特に制限なし
計画停止の頻度	不定期	サービス停止の通知	1ヶ月以上前に通知
ログの開示	有・無 ( )	第三者認証取得状況	ISMS、ITSMS、P マーク、 QMS、EMS、BCMS
問合せ先	企業名: 株式会社 日立製作所 部署名: 公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 第3グループ 担当者: 江盛、荒木	電話番号: 03-5471-4507 FAX 番号: 03-5471-4519 Mail: <a href="mailto:ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp">ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp</a>	

製品・サービス名称	リモートアクセスシステム DoMobile
提供企業名	株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト
紹介サイト URL	<a href="https://www.hitachi-solutions-create.co.jp/solution/domobile_esp/index.html">https://www.hitachi-solutions-create.co.jp/solution/domobile_esp/index.html</a>

■製品サービスの特長



リモートアクセスシステム DoMobile とは

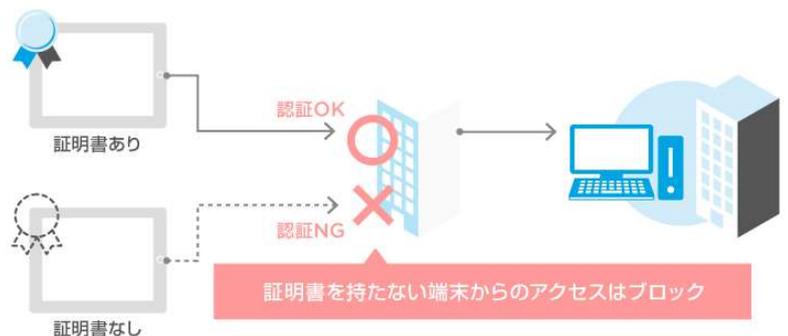
DoMobile は、オフィス内にある自席パソコンを社外から遠隔操作できる、リモートアクセスサービスです。パソコンからの接続はもちろん、タブレットやスマートフォンなどのスマートデバイスからも接続可能。場所を選ばずに利用できるため、外出時の空き時間の有効活用、在宅勤務実施によるワークライフバランスの実現やBCP 対策まで幅広く活用できます。

強固なセキュリティ

デジタル証明書認証による認証

デジタル証明書を持たない端末からのアクセスはブロックします。

さらに、3つの認証情報（コンピュータ名、ログインID、パスワード）を組み合わせた認証機能により第三者による利用を防ぎます。



DoMobile 専用の通信経路を利用

専用クライアントで画面のみを転送。万が一リモート端末がウイルスに感染していても、自席パソコンにウイルスが感染することはありません。



製品・サービス名称	リモートアクセス DoMobile		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック・プライベート ・その他 ( )	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	導入実績 3,800 社以上 (2021 年 4 月現在)		
費用	初期費用：企業登録料 10,000 円/企業、ユーザ登録料 1,000 円/アカウント 年額利用額：18,000 円/アカウント。詳細は弊社までお問い合わせ願います。		
利用条件	最低ユーザ数：1、最低利用期間：1 年 (更新の 1 か月前までに弊社にご連絡いただきます。)		
支払方法	月次・後払、支払方法 (振込)		
販売代理店	無、有 (代理店名：ダイワボウ情報システム、大塚商会等)		
■契約			
申込み方法	その他 (弊社営業)	利用開始までの期間	5 営業日～
約款の有無	有・無 ( )	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 (契約書による)
データ保存場所	国内・海外 ( )	データ削除規定の有無	有・無・その他 (非公開 )
準拠法	日本国法・海外法規 ( )	管轄裁判所	国内・海外 ( )
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容：基本的に 365 日、24 時間稼働とします。(但し、メンテナンス時は除きます。))		
実績稼働率	非公開	目標稼働率	非公開
ストレージ	多重化有・無・その他 (非公開 )	バックアップ	午前 2:00～2:30 の時間帯にバックアップ処理を行います。(1 日 1 回)
データ暗号化	有・無・その他 (非公開 )	暗号化通信	SSL (最大 256bit)
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定 (ただし、SSL-VPN による暗号化通信に対応)
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	有
管理ツール	有・無・その他 ( )	API 公開	有・無・その他 ( )
■保守・運用			
障害対応時間帯	弊社営業日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ( )	対応インシデント数	非公開
計画停止の頻度	非公開	サービス停止の通知	最短 2 週間前までに、管理者宛てにメール通知およびサービスポータル画面で告知
ログの開示	有・無 (※条件：アクセス履歴のみオプションで参照可能)	第三者認証取得状況	ISO27001、ISO14001、ISO9001、プライバシーマーク
問合せ先	企業名：株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト 部署名：営業統括本部 DX 営業推進本部 インサイドセールス部 担当者：武富、松尾、宍戸 ----- 企業名：株式会社日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部第四営業本部 学術情報営業第一部第 3 グループ	TEL: (03) 5780-6111 (代表) WEB 問合せ： <a href="https://www.hitachi-solutions-create.co.jp/contact/solution.html">https://www.hitachi-solutions-create.co.jp/contact/solution.html</a> Mail : <a href="mailto:hsc-contact@mlc.hitachi-solutions.com">hsc-contact@mlc.hitachi-solutions.com</a> ----- Mail : <a href="mailto:ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp">ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp</a>	

製品・サービス名称	RevoWorks クラウド
提供企業名	ジェイズ・コミュニケーション株式会社
紹介サイト URL	<a href="https://revoworks.jp/cloud/">https://revoworks.jp/cloud/</a>

### ■製品サービスの特長

RevoWorks クラウドは、ジェイズ・コミュニケーション株式会社が開発したセキュアブラウザです。昨今、ゼロトラストの概念が浸透しつつあります。高等教育機関においても、事務職員の端末を外部に持ち出して利用するシーンが多くなってきました。

外出先から学認 SP やクラウドストレージサービスにアクセスする際、ブラウザを利用してアクセスを行います。普段ご利用されているブラウザを利用してファイルをダウンロード、同じブラウザを利用してインターネット閲覧、いつの間にか端末にマルウェア感染・・・

「RevoWorks クラウド」はセキュリティ対策が施されたセキュアブラウザです。

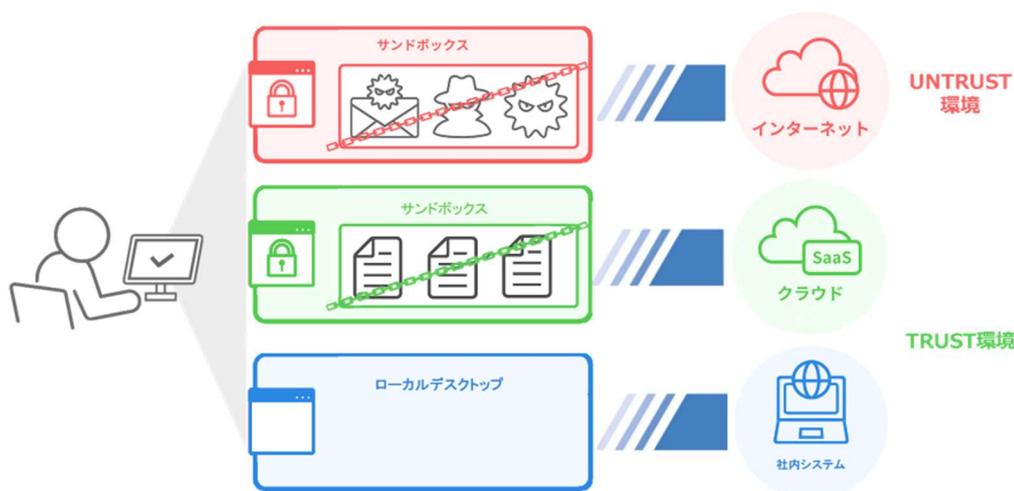
#### 【RevoWorks クラウドの特徴】

- ・セキュアブラウザでダウンロードしたファイルを隔離領域内に分離することでインターネットからマルウェア侵入や情報漏洩を防止
- ・用途の合わせて最大 2 つのセキュアブラウザを使い分け可能（マルチサンドボックス機能）
- ・ローカル環境とセキュアブラウザ間のファイル授受時のセキュリティ機能を内蔵（無害化、振る舞い検知、ウイルス検知）
- ・ローカルブラウザからセキュアブラウザへの振り分け機能

#### 【マルチサンドボックス機能】

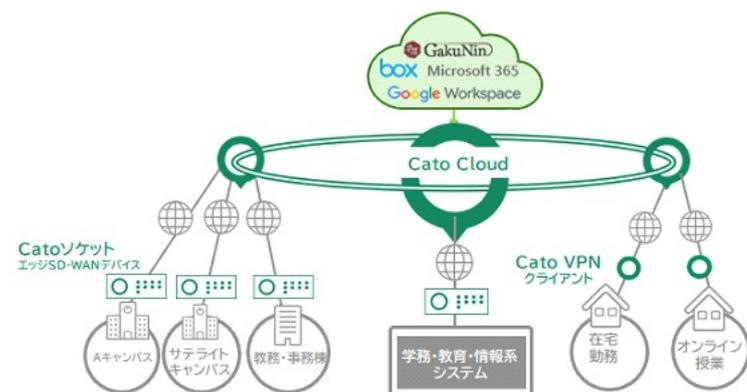
アクセス先に応じたポリシーを適用したサンドボックスで、安全にクラウドサービスが利用できます。

また、悪意あるインターネットサイトにアクセスしても、マルウェア等を端末内部に侵入させません。



### 【SASE プラットフォーム「Cato クラウド」との共存】

「Cato クラウド」は、SD-WAN、セキュア Web ゲートウェイ、ファイアウォール、ゼロトラストネットワークアクセスなど、複数のカテゴリと機能を単一のクラウドサービスに統合した SASE プラットフォームです。学外から学務システム、学認 SP、クラウドストレージサービスにアクセスする際のネットワークセキュリティを提供いたします。端末のセキュリティは「RevoWorks クラウド」、ネットワークのセキュリティは「Cato」の組合せが可能です。



#### 【Cato の主な機能】

- ・次世代ファイアウォール
- ・URL フィルタリング
- ・TLS インスペクション
- ・先進脅威防御(NGAM, IPS)
- ・通信経路保護(VPN)
- ・クラウドアプリアクセス制御(CASB)
- ・データセキュリティ(DLP)

製品・サービス名称	RevoWorks クラウド		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック ・プライベート ・その他 ( )	・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数：非公開 大学数：非公開		
費用	PoC 実施後、個別対応		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数(10 ユーザ)、最低利用期間(1 年、自動更新)、利用対象の制限等 【製品の場合】ライセンス形態 (買取、利用契約)、保守 (初年度から・2 年目から) 等		
支払方法	※年次請求、前払 支払方法 (振込) 支払通貨(日本円)		
販売代理店	有		
<b>■契約</b>			
申込み方法	注文書	利用開始までの期間	申込翌月 1 日開始
約款の有無	有・	約款修正の可能性の有無	その他 (必要に応じて覚書等の個別契約)
データ保存場所	国内・海外 ( )	データ削除規定の有無	有・無・その他 ( )
準拠法	日本国法・海外法規 ( )	管轄裁判所	国内・海外 ( )
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無 (SLA 内容： SLO で運用、SLO を公開 <a href="https://revoworks.jp/cloud/terms/slo.pdf">https://revoworks.jp/cloud/terms/slo.pdf</a> )		
実績稼働率	有・無・その他 ( 100% )	目標稼働率	有・無・その他 (99.9% )
ストレージ	有・無・その他 ( )	バックアップ	有・無・その他 ( )
データ暗号化	有・無・その他 ( )	暗号化通信	有・無・その他 ( )
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 (Web 管理コンソール)	API 公開	有・無・その他 ( )
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	当社営業日 9:00-17:30	QA 対応時間帯	当社営業日 9:00-17:30
コンタクト方法	電話・メール・その他 (Web)	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じて実施	サービス停止の通知	実施数日前に管理コンソールにて予定を通知
ログの開示	有・無 (※条件 )	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：ジェイズ・コミュニケーション株式会社 部署名：RevoWorks ビジネスユニット 担当者：山下/ 柳原	電話番号： FAX 番号： Mail：kyamashita@jscom.co.jp	

製品・サービス名称	Cato クラウド (SASE ソリューション)
提供企業名	ジェイズ・コミュニケーション株式会社
紹介サイト URL	<a href="https://jscom.jp/cato/">https://jscom.jp/cato/</a>

## ■製品サービスの特長

### 【SASE について】

SASE (Secure Access Service Edge) とは、2019 年に米国の調査会社 Gartner が提唱した、「働く場所の自由化」に対応した快適なインターネット接続実現のための次世代型セキュリティフレームワークです。これまで個々の製品サービスとして提供されてきた SD-WAN と、ネットワークセキュリティの複雑なポイントソリューション (FWaaS、ZTNA、CASB、SWG) を、クラウドベースで一元提供するものです。

### 【Cato について】

「Cato クラウド」は、SD-WAN、セキュア Web ゲートウェイ、ファイアウォール、ゼロトラストネットワークアクセスなど、複数のカテゴリと機能を単一のクラウドサービスに統合した SASE プラットフォームです。学外から学務システム、学認 SP、クラウドストレージサービスにアクセスする際のネットワークセキュリティをご提供いたします。

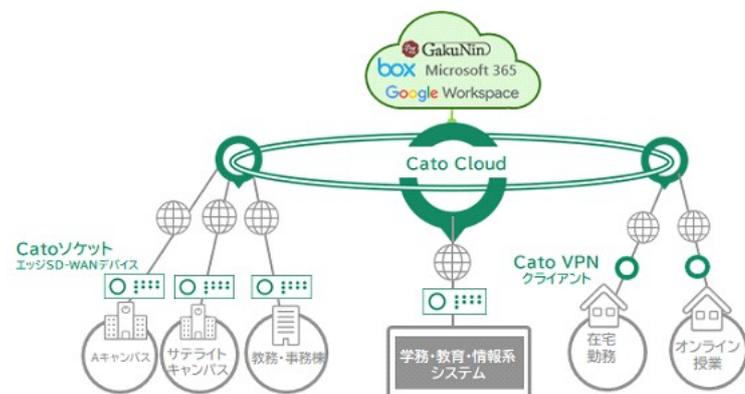
### 【Cato の特徴】

- ・ワールドワイドに 75 カ所以上の接続点 (PoP) を持ち、自動的に最短の PoP に接続が可能
- ・Web コンソールで全ての通信状況を可視化し、一元管理が可能
- ・学外からインターネットアクセスする際、学内と同じポリシーに基づく設定でのアクセスが可能
- ・脅威に対する多層防御の機能を実装しており、リスクのある Web サイトやフィッシング攻撃、マルウェアの送信からユーザを守る

### 【大学でのユースケース】

- ・事務職員の端末を外部持ち出した際に、Cato クラウドを利用する事で、セキュリティを確保
- ・課題などをクラウドに Update する際のマルウェア対策が可能
- ・EntraID との連携によるプロビジョニング、シングルサインオンが可能

### 【Cato で実現する大学ネットワーク】

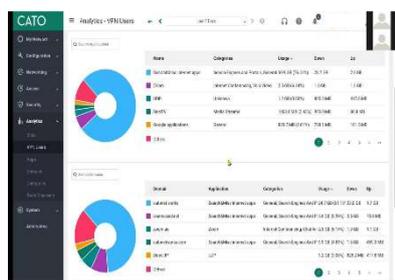
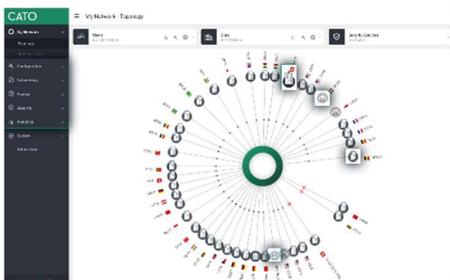


### 【Cato の主な機能】

- ・次世代ファイアウォール
- ・URL フィルタリング
- ・TLS インスペクション
- ・先進脅威防御(NGAM,IPS)
- ・通信経路保護(VPN)
- ・クラウドアプリアクセス制御(CASB)
- ・データセキュリティ(DLP)

### 【ダッシュボードによる一元管理】

管理者は、全てのユーザーのインターネット利用状況、通信状況、セキュリティポリシーを集中的に管理する事が出来ます。また、全ユーザーの通信ログも一元的に管理が可能です。



全てのキャンパス、データセンター、ユーザーのクラウドサービスやドメインの利用状況を一元的に管理

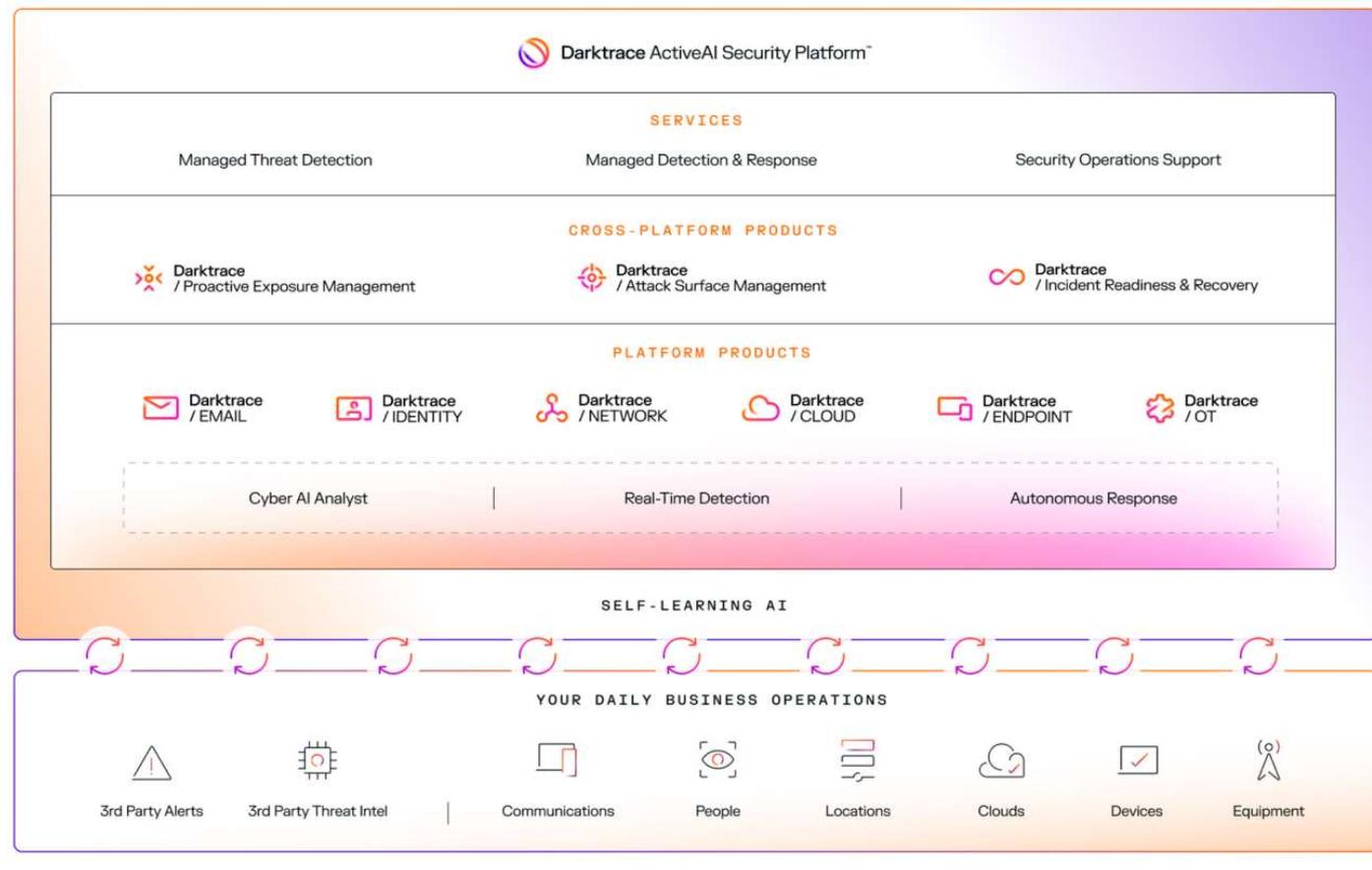
製品・サービス名称	Cato クラウド		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ( )	・パブリック ( )	・SaaS	・情報インフラ
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数：非公開 大学数：非公開		
費用	※PoC 有 年間サブスクリプション契約、オープンプライス サポートサービス年額		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数、最低利用期間、利用対象の制限等 【製品の場合】ライセンス形態（買取、利用契約）、保守（初年度から・2年目から）等		
支払方法	※年次請求、前払、支払方法（振込）、日本円		
販売代理店	有（代理店名：ジェイズ・コミュニケーション株式会社）		
<b>■契約</b>			
申込み方法	注文書	利用開始までの期間	
約款の有無	有・無 ( )	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ( )
データ保存場所	国内・海外 ( )	データ削除規定の有無	有・無・その他 ( )
準拠法	日本国法・海外法規 ( )	管轄裁判所	国内・海外 ( )
<b>■信頼性</b>			
SLA	有（SLA 内容：99.999%）		
実績稼働率	有・無・その他 ( )	目標稼働率	有・無・その他 ( )
ストレージ	多重化有・無・その他 ( )	バックアップ	有・無・その他 ( )
データ暗号化	有	暗号化通信	有
<b>■機能</b>			
SINET 接続	未対応	VPN 接続	対応
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応
管理ツール	有	API 公開	有
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	24H/365	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：00
コンタクト方法	サポートサイト	対応インシデント数	上限なし
計画停止の頻度		サービス停止の通知	
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	ISO 27001,SOC 1,SOC 2 SOC 3
問合せ先	企業名：ジェイズ・コミュニケーション株式会社 部署名：RevoWorks ビジネスユニット 担当者：山下/ 柳原	電話番号： FAX 番号： Mail：kyamashita@jscom.co.jp	

製品・サービス名称	Darktrace ActiveAI Security Platform
提供企業名	ダークトレース・ジャパン株式会社
紹介サイト URL	<a href="https://darktrace.com/ja/platform">https://darktrace.com/ja/platform</a>

■製品サービスの特長

ダークトレースは、日々変化する脅威ランドスケープに組織が自律対処できるように支援する AI サイバーセキュリティのグローバルリーダーです。2013 年に設立されたダークトレースは、各顧客固有の生活パターンをリアルタイムに学習する独自の AI を使用して、未知の脅威から組織を保護するために不可欠なサイバーセキュリティプラットフォームを提供しています。Darktrace ActiveAI Security Platform は、セキュリティ体制の完全可視化、リアルタイムの脅威検知、自律遮断機能により、サイバーレジリエンスに対して先手を打つアプローチを提供し、クラウド、E メール、アイデンティティ、OT、エンドポイント、オンプレミスネットワークを含むあらゆるデジタル環境でビジネスを保護します。英国ケンブリッジとオランダ・ハーグの研究開発チームによる画期的なイノベーションにより、これまでに 200 件以上の特許を出願しました。ダークトレースの従業員数は世界各国で 2,400 名を超え、10,000 社近くの顧客を既知、未知および新参のサイバー脅威から保護しています。

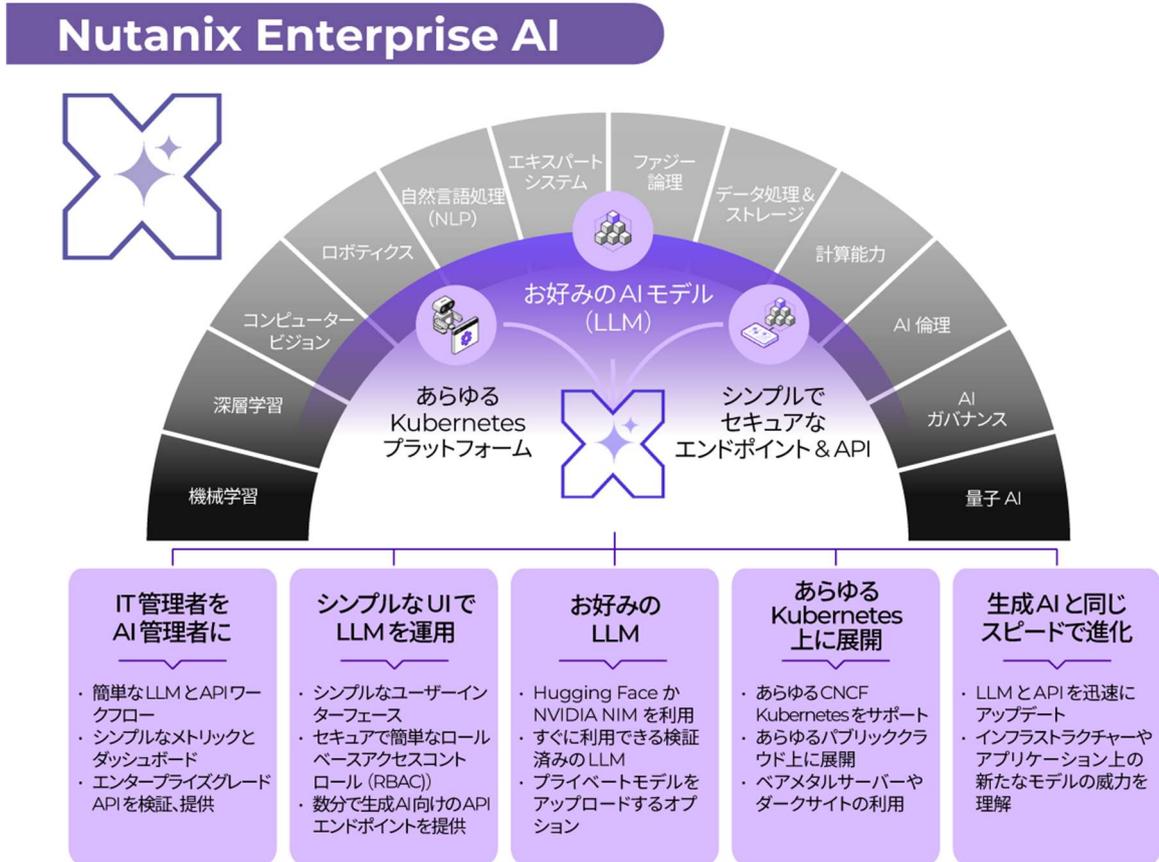
Darktrace ActiveAI Security Platformを構成する各製品は、ルールやシグネチャに依存することなく、事前設計やメンテナンスも不要ながら、各組織固有のユーザー・デバイスの挙動や通信の定常状態（生活パターン）を、独自開発の自己学習型AIにより常時機械学習・完全可視化し、定常から逸脱するサイバー脅威をリアルタイムに自律検知・遮断、さらに検知した脅威の調査分析・日本語によるレポートまで高速自動化する世界初の技術に基づいて提供されています。通信の宛先や時間帯、通信量・通信頻度などをパケットキャプチャによりAIが常時解析し、ユーザー毎、デバイス毎、サブネット毎にこれらの要素を継続的・自律的に機械学習することで、学習した定常状態から逸脱するいかなる未知の脅威や内部不正も即座に検知・可視化するものです。ダークトレース製品の運用に際して、オンプレミスの ITネットワークに対しては通常HW/SW一体型のアプライアンス型製品（ポートミラーリングによる通信パケットのヘッダー情報の収集・解析）を導入しますが、仮想アプライアンスや各種モジュール、センサーを導入することで、クラウド環境や各種SaaSアプリケーション上の通信やリモートワーク端末、IoT 機器を含む組織のあらゆるデジタルインフラも網羅的にカバーできます。



製品・サービス名称	Darktrace ActiveAI Security Platform		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・製品	・パブリック ・プライベート ・その他 ( )	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・情報インフラ
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数 (200+) 社 : 利用企業名 (非開示 ) 大学数 (10+) 校 : 利用大学名 (大阪経済大学、神戸学院大学、長崎県立大学 等 )		
費用	POV にて監視対象デバイス数を確認後、正式お見積となります。		
利用条件	ライセンス形態 (利用契約)、保守 (初年度から)		
支払方法	※年次請求、前払、支払方法 (振込)		
販売代理店	有 (代理店名 : ジェイズ・コミュニケーション株式会社)		
<b>■契約</b>			
申込み方法	注文書・その他 ( )	利用開始までの期間	契約終了後 即日
約款の有無	有・ <del>無</del> ( )	約款修正の可能性の有無	有・ <del>無</del> ・その他 ( )
データ保存場所	国内 (顧客)	データ削除規定の有無	有・無・その他 ( )
準拠法	日本国法・ <del>海外法規</del> (イングランドおよびウェールズ法)	管轄裁判所	国内
<b>■信頼性</b>			
SLA	ベストエフォート		
実績稼働率	その他 (24 時間稼働)	目標稼働率	その他 (24 時間稼働)
ストレージ	多重化有	バックアップ	有
データ暗号化	有	暗号化通信	有
<b>■機能</b>			
SINET 接続	未対応	VPN 接続	対応
学認対応	未対応	LDAP 連携	対応
管理ツール	有 (Threat Visualizer)	API 公開	有
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	平日 9 : 00-17 : 00	QA 対応時間帯	平日 9 : 00-17 : 00
コンタクト方法	その他 (チケットシステム)	対応インシデント数	
計画停止の頻度	年 1-2 回程度	サービス停止の通知	事前にスケジュール調整
ログの開示	有	第三者認証取得状況	ISO 27002 (5.24-5.29)
問合せ先	企業名 : ジェイズ・コミュニケーション株式会社 部署名 : RevoWorks ビジネスユニット 営業部 1 グループ 担当者 : 嵐田	電話番号 : FAX 番号 : Mail : yarashida@jscom.co.jp	

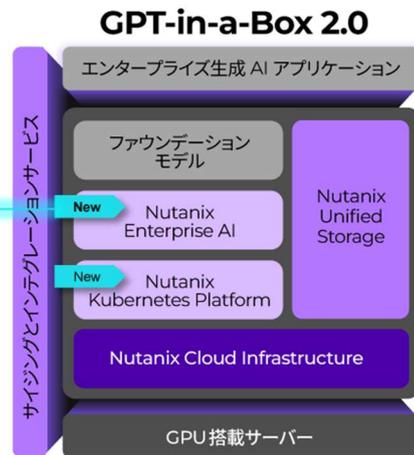
製品・サービス名称	Nutanix Enterprise AI
提供企業名	ニュータニックス・ジャパン合同会社
紹介サイト URL	<a href="https://www.nutanix.com/jp/solutions/ai">https://www.nutanix.com/jp/solutions/ai</a>

■製品サービスの特長



主な機能

- 洗練されたエンタープライズグレードのユーザーインターフェイス
- Hugging Face または NVIDIA NIM からの AI モデル (LLM) の選択肢
- 自社の AI モデル (LLM) のアップロード
- API トークンの作成と管理
- Hugging Face と NVIDIA NIM 向けのパートナー API トークンの管理
- API コードのサンプル
- ロールベースアクセスコントロール (RBAC)
- AI モデルの利用前の検証
- AI モデルと API の監視
- Kubernetes のリソース監視
- GPU の利用状況の監視
- イベントの監査
- Nutanix の Pulse レポートとの統合



AI アプリの監査、監視から AI モデルの選定、セットアップ、セキュリティ、検証までを網羅  
生成 AI アプリの開発環境とワークフローがオールインワン、すぐに生成 AI アプリが開発できる

製品・サービス名称	Nutanix Enterprise AI		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（徳島県庁、札幌市、魚津市教育委員会、帝京大附属病院他） 大学数（非公開）校：利用大学名（慶応義塾大学、関西大学、近畿大学、北見工業大、滋賀大、沖縄大等）		
費用	必要リソース（vCPU数）×期間によるサブスクリプションライセンスの提供となります。 ご購入時に契約期間を決めていただければ、従量による課金は発生せず、最新バージョンでのご利用が可能です。 ※パブリッククラウド利用時は、トライアルライセンス有。		
利用条件	【クラウド利用】Marketplaceより、オンデマンドで購入や各プラットフォーム間のライセンスモビリティ可。 【製品購入】サブスクリプションによる利用契約、保守、アップグレード権、サポートは含む。		
支払方法	【クラウド利用】Marketplaceより、クラウドの支払いと合わせて購入。 【製品購入】物品調達と同様、契約期間分の費用を一括、もしくは年次更新の形で導入ベンダーへお支払い。		
販売代理店	有（代理店名： Nutanix Japan まで、直接お問い合わせください ）		
<b>■契約</b>			
申込み方法	注文書・その他（ Marketplace ）	利用開始までの期間	即時利用 ～ 2か月前後
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無（可用性、耐障害性として、99.95%以上を提供）		
実績稼働率	有・無・その他（ 非公開 ）	実績稼働率	有・無・その他（ 非公開 ）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	(24H/365D)	QA 対応時間帯	24H/365D
コンタクト方法	電話・メール・その他（サポートフォームより申請）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	無	サービス停止の通知	無
ログの開示	有	第三者認証取得状況	HIPAA、PCI、NIST、GDPR等
問合せ先	企業名：ニュータニックス・ジャパン合同会社 部署名：マーケティング統括本部	電話番号：03-6683-5199 FAX 番号： Mail：contact-jp@nutanix.com	

製品・サービス名称	Nutanix Kubernetes Platform (NKP)
提供企業名	ニュータニクス・ジャパン合同会社
紹介サイト URL	<a href="https://www.nutanix.com/jp/products/kubernetes-management-platform">https://www.nutanix.com/jp/products/kubernetes-management-platform</a>

## ■製品サービスの特長

### Nutanix Kubernetes Platform (NKP)

IT 管理者やセキュリティチームでは、サードパーティのツールが無秩序に拡大する中、アプリケーションのモダナイゼーションの取り組みが複数のチームに分散し、互いに連携していないことに起因して、アプリケーション開発の責任者との終わりのない追跡と潜在的な争いに悩まされていました。

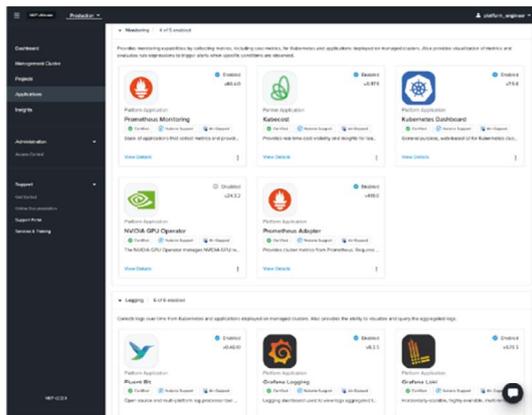
Nutanix Kubernetes Platform (NKP) は、運用の複雑さを軽減することでプラットフォームエンジニアリングを簡素化し、あらゆる環境での一貫性を確立します。エンジニアと IT 管理者は、NKP を使用して、すべてのクラウド・ネイティブ・リソースをアップグレード、パッチ適用、メンテナンス、セキュリティで最新の状態に保つことができます。

相互運用性とサポートを検証することで、最新のアプリケーションデリバリエンシアチブからより大きなビジネスバリューを達成し、ほとんどの開発者が使用するすべての必須ユーティリティを追跡することで、これらのチームの成功を必ず妨げる対立や狂騒を抑制することに役立ちます。

#### プラットフォームの完全版

サービスメッシュとネットワークングにより、複雑なマイクロサービスの管理を容易にし、システムの可視性とセキュリティを向上させます。高度なログ記録とリアルタイムの可視化機能により、インフラとアプリケーションを監視できるようになり、包括的な可観測性が高まります。

一貫したポリシーを環境全体に適用し、構成のドリフトを防止することができます。



#### 主なメリット

- 本番環境の Kubernetes に必要なすべてのコンポーネントを完全に統合したターンキー・ソリューション
- Nutanix Cloud Infrastructure の有無にかかわらず、パブリッククラウド、オンプレミス、またはエッジに導入可能
- 完全に統合され、検証済みのアップストリームの CNCF プロジェクトが基盤
- 他のツールや技術への容易な置き換えが可能で、特定技術にロックインされないオープン性

Bring-Your-Own Kubernetes Runtime	Hybrid Multicloud Fleet Management	Enhanced User Support
Cloud   vSphere   Bare Metal	Backup & DR	AI   Serverless   Service Mesh
Observability and Policies		
Cluster Lifecycle Management		
Cluster Services: SSO, Load Balancing, Ingress, Security		
Pure Upstream Kubernetes		
Rocky Linux <sup>™</sup> (Managed OS)	Bring-Your-Own OS	
Nutanix Cloud Infrastructure		

#### フリートマネージメント

クラスタ API と GitOps を使って、開発者のワークフローに直感的に統合し、集中管理されたハイブリッド・マルチクラウドの運用管理により、クラスタのスプロールを防止します。Amazon Elastic Kubernetes Service (Amazon EKS) や Azure Kubernetes Service (AKS) など現行の Kubernetes サービスのままで、パブリッククラウドの Kubernetes デプロイメントに包括的なマルチクラスタ管理機能を追加できます。AI による異常検知と根本原因の分析、インテリジェントなチャットボットによるベストプラクティスの提供、一貫性の推進により、Kubernetes を最大限に活用できます。

#### 包括的な統合データサービス

ファイル、オブジェクト、ブロックなど、プロトコルやデータ形式を問わず、デプロイメントに合わせてシームレスにスケールする、包括的で成熟したデータサービスで、価値あるアプリケーションデータを管理します。エンタープライズ級のデータサービスをクラウドネイティブアプリケーションに採用し、Kubernetes 管理者がディザスタリカバリや事業継続などのデータサービスを管理できるようにします。Nutanix データベースサービス (NDB) を活用して、セルフサービスによるデータベースのプロビジョニングと管理、自動化されたベストプラクティス、パフォーマンス向上を実現し、規模に応じたデータベース管理を簡素化します。

#### 純粋なアップストリームの Kubernetes

NKP は、純粋なアップストリーム CNCF 規格に準拠した Kubernetes を基盤に構築されています。そのため、フォークされた Kubernetes バージョンや依存関係による問題を回避できます。さらに、オープンソースコミュニティの革新を活用できます。

#### マルチクラスタプラットフォームのライフサイクル管理

中央管理プレーンを使って、クラスタのライフサイクル全体を管理し、運用のサイロ化を解消して重複作業を排除します。これにより、クラウド、物理サーバー、エッジデバイス、エアギャップ環境など、あらゆるインフラ上で高度な耐障害性とセキュリティを備えたシステムを標準化できます。

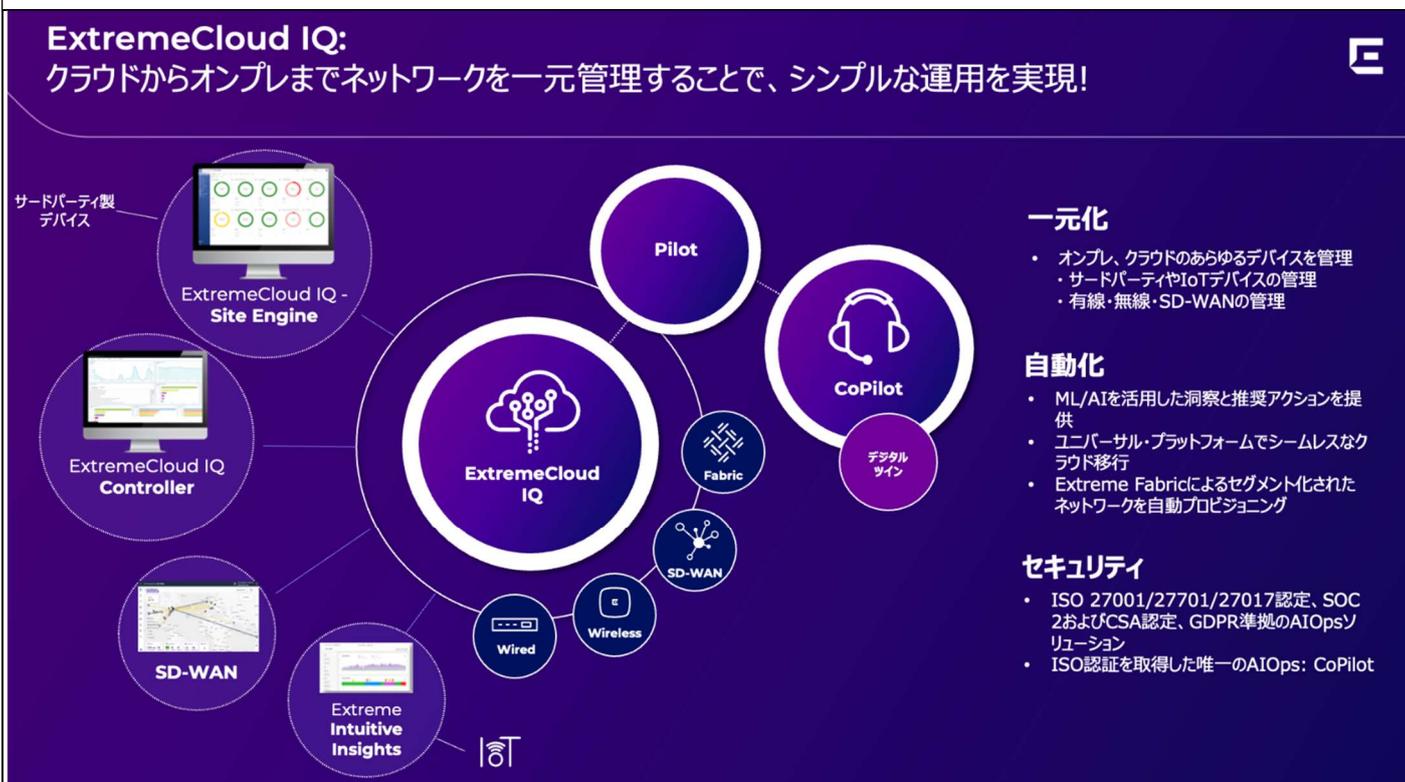
#### 最高度のセキュリティ

NKP は、国家安全保障局 (NSA) とサイバーセキュリティ・インフラセキュリティ庁 (CISA) の Kubernetes セキュリティ強化ガイドラインを満たしており、特定のセキュリティ要件に合わせて構成できます。各コンポーネントは、リリース前に脆弱性スキャンが実施されています。NKP はまた、自己完結型のイメージと目的に特化して構築された自動化により、完全なエアギャップデプロイメントを簡素化します。

製品・サービス名称	Nutanix Kubernetes Platform (NKP)		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック ・プライベート ・その他 ( )	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（徳島県庁、札幌市、魚津市教育委員会、帝京大附属病院他） 大学数（非公開）校：利用大学名（慶応義塾大学、関西大学、近畿大学、北見工業大、滋賀大、沖縄大等）		
費用	必要リソース（vCPU数）×期間 によるサブスクリプションライセンスの提供となります。 ご購入時に契約期間を決めていただければ、従量による課金は発生せず、最新バージョンでのご利用が可能です。 ※パブリッククラウド利用時は、トライアルライセンス有。		
利用条件	【クラウド利用】 Marketplace より、オンデマンドで購入や各プラットフォーム間のライセンスモビリティ可。 【製品購入】 サブスクリプションによる利用契約、保守、アップグレード権、サポートは含む。		
支払方法	【クラウド利用】 Marketplace より、クラウドの支払いと合わせて購入。 【製品購入】 物品調達と同様、契約期間分の費用を一括、もしくは年次更新の形で導入ベンダーへお支払い。		
販売代理店	有（代理店名： Nutanix Japan まで、直接お問い合わせください）		
<b>■契約</b>			
申込み方法	注文書・その他（ Marketplace ）	利用開始までの期間	即時利用 ~ 2 か月前後
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無（可用性、耐障害性として、99.95%以上を提供）		
実績稼働率	有・無・その他（ 非公開 ）	実績稼働率	有・無・その他（ 非公開 ）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	ストレージ	多重化有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	データ暗号化	有・無・その他（ ）
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	(24H/365D)	QA 対応時間帯	24H/365D
コンタクト方法	電話・メール・その他（サポートフォームより申請）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	無	サービス停止の通知	無
ログの開示	有	第三者認証取得状況	HIPAA、PCI、NIST、GDPR 等
問合せ先	企業名：ニュータニクス・ジャパン合同会社 部署名：マーケティング統括本部	電話番号：03-6683-5199 FAX 番号： Mail：contact-jp@nutanix.com	

製品・サービス名称	ExtremeCloud™ IQ
提供企業名	Extreme Networks 株式会社
紹介サイト URL	

## ■製品サービスの特長



ExtremeCloud™ IQ は、クラウド、オンプレミス、ハイブリッドネットワークを管理する統合プラットフォームです。ExtremeCloud IQ には、オンボーディング、設定、モニタリング、トラブルシューティング、レポート生成の機能が備わっており、ML/AIを活用して実用的な洞察を提供します。

### 一元化

- オンプレミス用の ExtremeCloud IQ - Site Engine、または ExtremeCloud IQ Controller(ワイヤレスコントローラ)を使用してハイブリッドネットワークをシームレスに構築、ExtremeCloud IQ にリンクして、クラウドから管理できます。
- あらゆるデバイスを管理できます (サードパーティや IoT デバイスの管理、有線・無線・SD-WAN の管理)。

### 自動化

- Explainable-ML を活用した洞察と推奨アクションの提供により、IT 運用の効率化を実現します。
- ユニバーサル・プラットフォームによるシームレスなクラウド移行を提供します。
- Extreme Fabric でネットワークを自動的にプロビジョニングおよびセグメント化します。

### セキュリティ

- 他のクラウドベンダーがクラウド設備のみを認証しているのに対し、Extreme AIOps はソリューション全体が ISO 認証を受けています。
- SOC 2 コンプライアンス、CSA 認証、GDPR コンプライアンスも取得しているため、企業はセキュアなクラウド上にネットワークを構築できます。
- CoPilot は ISO 認証を取得した唯一の AIOps です。

製品・サービス名称	ExtremeCloud™ IQ		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック ・プライベート ・その他 ( )	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数(非公開 )社:利用企業名( ) 大学数(非公開 )校:利用大学名( )		
費用	※トライアルの有無、課金体系、従量制課金の上限設定、割引プラン等 管理対象デバイス数に応じた年間サブスクリプション 実際の見積については当社販売代理店様にお問い合わせください。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数、最低利用期間 1年間、利用対象の制限等 【製品の場合】ライセンス形態(買取、利用契約)、保守(初年度から・2年目から)等		
支払方法	※月次/年次請求、前払/後払、支払方法(振込/クレジットカード/その他)、支払通貨等		
販売代理店	無、有(代理店名:当社ウェブサイトでご確認ください)		
<b>■契約</b>			
申込み方法	注文書・その他( )	利用開始までの期間	
約款の有無	有・無( )	約款修正の可能性の有無	有・無( )
データ保存場所	国内・海外( )	データ削除規定の有無	有・無( )
準拠法	日本国法・海外法規( 米国 )	管轄裁判所	日本国法・海外法規( 米国 )
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無(SLA内容: <a href="#">ExtremeCloud IQ SLA</a> )		
実績稼働率	有・無・その他( 99.99% )	目標稼働率	有・無・その他( )
ストレージ	多重化有・無・その他( )	バックアップ	有・無・その他( )
データ暗号化	有・無・その他( )	暗号化通信	有・無・その他( )
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)
管理ツール	有・無・その他( )	API 公開	有・無・その他( )
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	販売代理店による	QA 対応時間帯	
コンタクト方法	電話・メール・その他(販売代理店による)	対応インシデント数	
計画停止の頻度	※なし	サービス停止の通知	
ログの開示	有・無 ※条件管理者のみ	第三者認証取得状況	
問合せ先	企業名: Extreme Networks 株式会社 部署名: 営業部 担当者: 時田 雅文	問合せ先 電話番号: 070-3791-4447 Email: <a href="mailto:mtokita@extremenetworks.com">mtokita@extremenetworks.com</a>	

製品・サービス名称	Wasabi Hot Cloud Storage Wasabi Cloud NAS
提供企業名	Wasabi Technologies Japan 合同会社
紹介サイト URL	<a href="https://wasabi.com/ja">https://wasabi.com/ja</a>

## ■製品サービスの特長

### Wasabi Hot Cloud Storage

非常に費用対効果が高く、ハイパフォーマンスなクラウド オブジェクト ストレージです。書き込みと読み取りスピードが速く、素早く保存されたデータにアクセスできます。また、ユニバーサルストレージとしてデザインされているため、あらゆるストレージの利用シーンで活用いただけます。

無償の下り転送料 / API リクエスト

ご利用金額  
**容量 × 年数**  
のみ

下り転送料金 **かかりません**

API アクセス課金 **かかりません**

代表的なハイパースケーラーに比べ  
約 **1/5** の価格で利用可能

### Amazon S3 互換

AWS S3 および IAM API をサポートします。ストレージもアクセス管理も AWS API に完全に準拠していますので、AWS S3 で使用しているアプリケーションを変更せずにそのまま Wasabi の環境下で利用可能です。サードパーティーの AWS S3 互換アプリまたはプラットフォームは Wasabi で動作します。

AWS S3 & IAM APIs

互換性のあるカテゴリ

- Backup & Recovery
- Storage Gateway
- Content Delivery
- Archiving
- Analytics
- IoT
- App Dev Tools

### Wasabi が選ばれる理由

¥

**低価格**

- ✓ 他社のハイパースケーラーより 80% 安い
- ✓ 下り転送料も API リクエストも無料

📊

**高パフォーマンス**

- ✓ 競合他社より優れている
- ✓ クイック アップロード & ダウンロード
- ✓ プライベート ネットワーク

🛡️

**高い安全性**

- ✓ 99.9% の SLA
- ✓ 11x9 のデータ耐久性
- ✓ イミュータビリティ (不変オブジェクト)

### シンプルな2つの料金プラン

「手頃な料金」を超えた革新的な料金、他のハイパースケーラーのクラウドストレージを圧倒するシンプルで予測可能な料金プラン

	従量課金 (pay-as-you-go) モデル	容量予約制ストレージ (RCS) モデル
	使った分だけを月額で支払うモデルです。	容量予約制ストレージ (Reserved Capacity Storage, RCS) を 1 年、3 年、または 5 年単位で先行購入できるモデルです。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 下り転送料金不要</li> <li>✓ PUT、GET、DELETE、</li> <li>✓ その他の API リクエスト料金不要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 下り転送料金不要</li> <li>✓ PUT、GET、DELETE、</li> <li>✓ その他の API リクエスト料金不要</li> </ul>
データ容量	1TB ~	25TB から 10PB まで一定刻みで設定 ※25TB, 50TB, 100TB, 250TB, 500TB, 1PB, 1.5PB, 5PB, 10PB
契約条件	クレジットカード支払い	1 年、3 年、または 5 年単位の契約
支払い方法	30 日毎の支払い	前払い制
サポートプラン	ベーシック	プレミアム

製品・サービス名称	Wasabi Hot Cloud Storage / Wasabi Cloud NAS		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック ・プライベート ・その他 ( )	・IaaS ・PaaS ・SaaS ・STaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数 (世界で 8 万社) 社：利用企業名 (東芝グループ、春日井市民病院、カラー、インフィニットジャパン 他) 大学数 (業種別事例数非公開) 校：利用大学名 (アイビーリーグ、コーネル大学、ジェームズクック大学 他)		
費用	30 日間最大 1TB までご利用いただける無償トライアルがございます。 ご契約は 1TB 単位からご契約いただけるクレジットカード清算の従量課金制 Pay-as-you-Go と、パートナー様経由で 1 年/3 年/5 年単位でストレージご利用量を決めていただく容量予約制 (RCS) の 2 ブランがございます。詳しくは弊社ウェブサイトをご覧ください。 <a href="https://wasabi.com/ja/pricing">https://wasabi.com/ja/pricing</a>		
利用条件	【クラウド】 Pay-as-You-Go：1TB～，最低利用期間 1 カ月 / 容量予約制：25TB～，最低利用期間 1 年間		
支払方法	Pay-as-You-Go：クレジットカード払い / 容量予約制：請求書による前払い		
販売代理店	無、有 (代理店名：次のページをご参照ください。 <a href="https://wasabi.com/ja/partners/partner">https://wasabi.com/ja/partners/partner</a> )		
<b>■契約</b>			
申込み方法	注文書・その他 (Pay-as-You-Go：オンライン、容量予約制：販売店に発注書を提出)	利用開始までの期間	Pay-as-You-Go：即時 容量予約制：ご発注より 1-2 営業日
約款の有無	有・無 ( )	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ( )
データ保存場所	国内・海外 (国内外 14 リージョンから選択)	データ削除規定の有無	有・無・その他 (お客様依存)
準拠法	日本国法・海外法規 (米国マサチューセッツ州法)	管轄裁判所	国内・海外 (米国マサチューセッツ州)
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無 (SLA 内容：可用性 99.9%)		
実績稼働率	有・無・その他 ( )	目標稼働率	有・無・その他 ( )
ストレージ	多重化有・無・その他 (11x9s の耐久性)	バックアップ	有・無・その他 ( )
データ暗号化	有・無・その他 ( )	暗号化通信	有・無・その他 ( )
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (2024 年 12 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ( )	API 公開	有・無・その他 ( )
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	Pay-as-You-Go：平日 9：00-17：00 (英語のみ) 容量予約制：24H/365D (英語) ※販売店による日本語対応有り	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ( )	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	<a href="https://status.wasabi.com/">https://status.wasabi.com/</a>	サービス停止の通知	メールにて通知
ログの開示	有・無 ( )	第三者認証取得状況	HIPAA, CJIS, FERPA, GDPR
問合せ先	企業名：Wasabi Technologies Japan 合同会社 部署名：営業部 担当者：中村 大介	電話番号：03-6871-7749 FAX 番号：- Mail： <a href="mailto:japansales@wasabi.com">japansales@wasabi.com</a>	

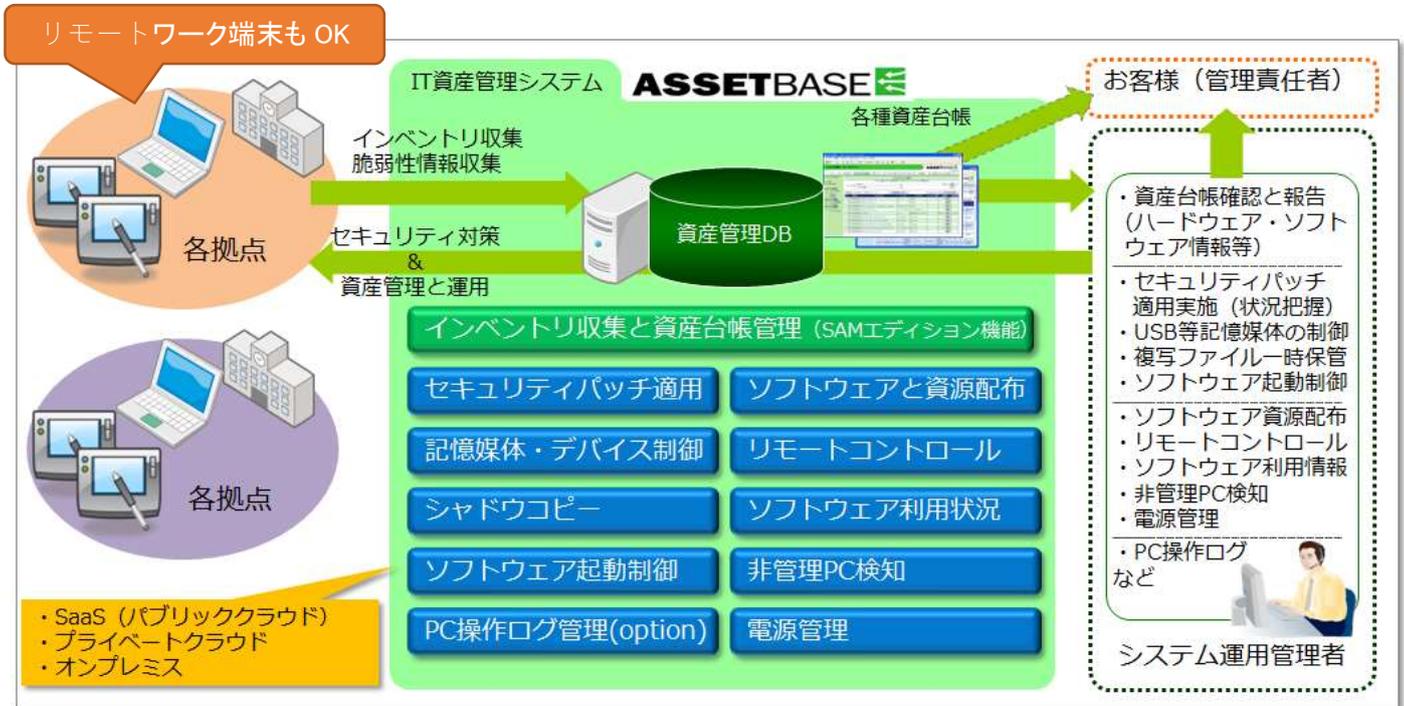


## 5. その他

製品・サービス名称	IT 資産管理／セキュリティ管理 ASSETBASE
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	https://www.uchida.co.jp/assetbase/

■製品サービスの特長

## セキュリティとコンプライアンスを強力に支援する IT 資産管理ソリューション



■ ASSETBASE の概要 ～リモートワークの基本セキュリティ対策として～

大学や教育機関において、情報漏えい事故やマルウェア感染をはじめとするセキュリティインシデントや、不適切なソフトウェア利用などが相次いでいます。セキュリティとコンプライアンスの両面で IT 資産の管理の重要性がますます高まっていますが、特に昨今ではリモートワークにおける端末のセキュリティ対策としてセキュリティアップデートが注目されています。

IT 資産管理ソリューション「ASSETBASE」は、学内の大量の PC やソフトウェアを「見える化」し、ソフトウェアとライセンスの管理、IT 資産管理、IT セキュリティ管理をご支援します。2004 年の SaaS 型クラウドサービスの提供開始以来、大学をはじめ多くのお客様にご活用いただいております。ASPIC（特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウドコンソーシアム）アワード「ベストイノベーション賞」も受賞した実績あるサービスです。

■ ASSETBASE の特長

1. 標的型攻撃やランサムウェア対策に有効な、OS・アプリのセキュリティパッチ適用管理
2. 運用管理を支援する「リモートコントロール」「ソフトウェア配布」「デバイス制御」等
3. ソフトウェアとライセンス管理を高精度で実現、ソフトウェア辞書装備
4. ウイルス対策状態や不適切アプリ検知などセキュリティレポートも充実
5. SaaS（クラウド）、プライベートクラウド、オンプレミスの選択が可能

製品・サービス名称	IT 資産管理/セキュリティ管理 ASSETBASE		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック・プライベート ・その他 ( )	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他 (IT 資産管理)
<b>■一般事項</b>			
契約実績	大学実績 ( 約 70 ) 校：利用大学名 (国立高専機構、信州大学、関西大学、中部大学 等) 民間実績 ( 約 50 ) 社：利用企業名 (非公開) 他、自治体、教育委員会 (小中高等学校)、私立学校等		
費用	・初期費用：管理アカウント発行料 ・ランニング費用：クライアントライセンス+サーバーシステムライセンス ・課金単位：原則としてご利用法人単位の年間利用料 ※トライアル (評価版) ご利用可能		
利用条件	・最低ユーザ数：1 ライセンスより利用可能 ・最低利用期間：1 年間 (年間利用料制)		
支払方法	請求サイクル：年次 支払方法：原則として前払、原則として振込支払 (応相談)		
販売代理店	無、有 (代理店名：内田洋行各販売代理店 )		
<b>■契約</b>			
申込み方法	注文書・その他 (当社営業経由にて利用申込み)	利用開始までの期間	5 営業日 (SaaS 型の場合)
約款の有無	有・無 ( )	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ( )
データ保存場所	国内・海外 ( )	データ削除規定の有無	有・無・その他 ( )
準拠法	日本国法・海外法規 ( )	管轄裁判所	国内・海外 ( )
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無 (ご利用約款に基づく)		
実績稼働率	有・無・その他 (2023 年実績：99.99%以上) ※サービス提供時間帯稼働率 (計画停止除く)	目標稼働率	有・無・その他 (99.9% ) ※サービス提供時間帯稼働率 (計画停止除く)
ストレージ	多重化有・無・その他 ( )	バックアップ	有・無・その他 ( )
データ暗号化	有・無・その他 ( )	暗号化通信	有・無・その他 ( )
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応については応相談	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応については応相談	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ( )	API 公開	有・無・その他 ( )
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	9:00~17:00	QA 対応時間帯	9:00~17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ( )	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有 (年に 2 回程度)	サービス停止の通知	2 週間前
ログの開示	有・無 (※条件 )	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：システムズエンジニアリング事業部 クラウド&ICT サービス推進センター 担当者：石塚 貴文 / 友坂 太一	電話番号：03-5634-6646 FAX 番号：03-3645-2337 Mail： <a href="mailto:abinfo@uchida.co.jp">abinfo@uchida.co.jp</a>	

製品・サービス名称	ソフトウェア配布提供システム Download Station
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	https://www.uchida.co.jp/assetbase/download-station/

■製品サービスの特長

## 大学内で利用する様々なソフトウェアの安全・効率的な学内配布を支援！

### ソフトウェア配布提供システム



## Download Station

利用者にソフトウェアを配布する際、インストーラにセキュリティ対策を設定することで、安全に効率的にダウンロード利用させることができるシステムです。



POINT

#### 1 ソフトウェア配布を安全・簡単に

利用者がいつでも簡単に必要なソフトウェアをダウンロード・インストールできます。ダウンロードしたインストーラは個別の開封パスワードが無いと開けませんので、不適切なコピー利用を防止できます。インストール予定数や利用期限も設定することが可能です。

POINT

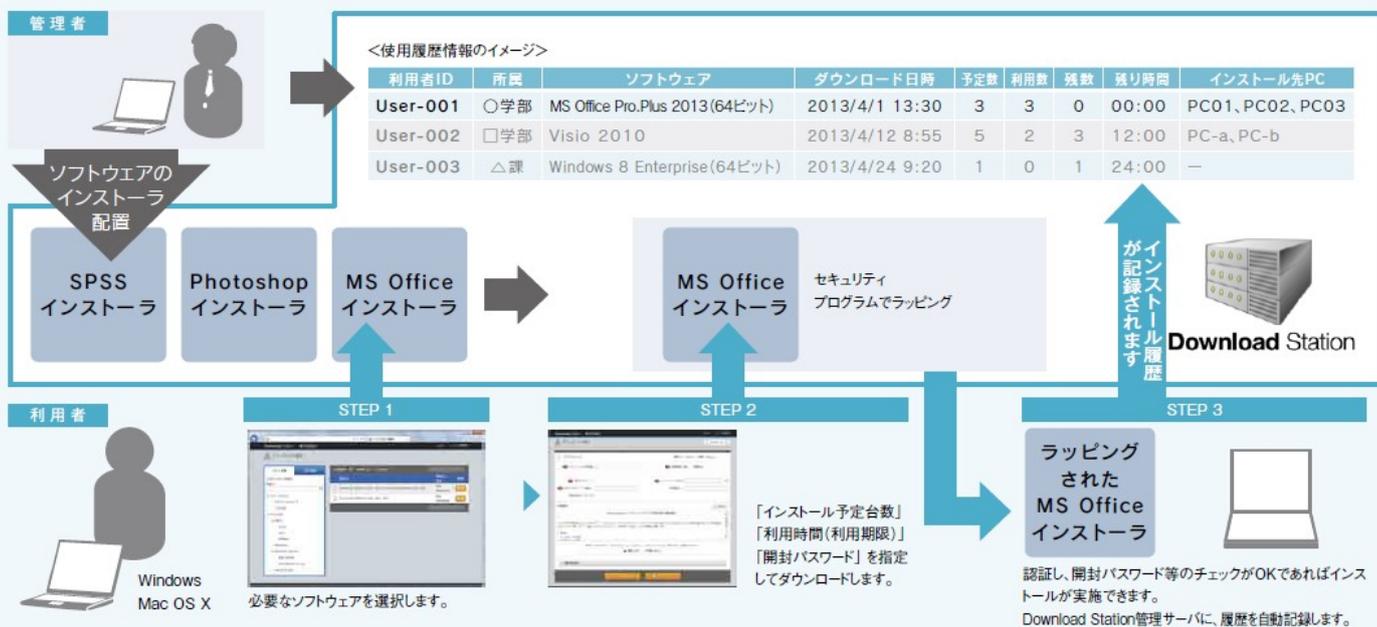
#### 2 トレーサビリティの確保

ダウンロード・インストールの履歴を記録「誰が、いつ、どのソフトウェアを、どこにどれだけ」ダウンロードして、どのPCにインストールしたのかの履歴の管理もします。

POINT

#### 3 利用者・管理者の負担軽減

利用者は、画面から利用したいソフトウェアを選択しダウンロードします。インストール用メディア管理者はメディアの貸出業務の軽減や、メディア紛失・流出リスクを防止することができます。



### ■ Download Station の概要

「Download Station」は、Microsoft や Adobe、統計解析やグラフィックなど大学内で利用する様々なソフトウェアを、教職員・学生等の利用者に、安全に効率的に配布提供するシステムです。例えば以下の課題の解決を支援いたします。

- 【こんな課題を解決 1】 インストールメディアの流出リスク（不用意なコンプライアンス違反）を避けたい
- 【こんな課題を解決 2】 インストールメディアの貸し出し管理や、個体管理の業務負担を軽減したい
- 【こんな課題を解決 3】 キャンパスや拠点が多い場合、全てをカバーする配布運用の手間を軽減したい
- 【こんな課題を解決 4】 大学の研究室内の PC 等、大量の PC へのソフトウェア配布を効率的に行いたい
- 【こんな課題を解決 5】 実際に利用された数を把握し、ボリュームライセンス投資への効果を把握したい

Download Station は、ソフトウェアのインストーラをセキュリティプログラムでラッピング保護し、利用者が安全にダウンロード利用できるようにします。ダウンロードしたインストーラは、個別の開封パスワード制御されており、不適切なコピー利用を防止できます。また、インストール予定数や利用期限も制御することが可能です。

「誰が、いつ、どのソフトウェアを、どこにどれだけ」ダウンロードして、どの PC にインストールしたのかの履歴の管理も可能であり、利用統計と投資対効果測定などにお役立ていただけます。

製品・サービス名称	ソフトウェア配布提供システム Download Station		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック ・プライベート ・その他 ( )	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他(ソフトウェアの配布管理)
<b>■一般事項</b>			
契約実績	民間実績 ( 非公開 ) 社：利用企業名 (非公開) 大学実績 ( 非公開 ) 校：利用大学名 (九州大、香川大、早稲田大、法政大、同志社大、近畿大 等多数)		
費用	・初期費用：導入費用およびシステムライセンス ・ランニング費用：年間保守費用		
利用条件	・ライセンス形態：システム単位 (買取) ・保守条件等：保守契約に基づく		
支払方法	請求サイクル：年次 支払方法：原則として振込支払 (応相談)		
販売代理店	内田洋行各販売代理店		
<b>■契約</b>			
申込み方法	当社営業経由にて利用申し込み	利用開始までの期間	5 営業日 (標準システム構築期間) ※別途環境構築が必要
約款の有無	有	約款修正の可能性の有無	有
データ保存場所	プライベートクラウドサーバー	データ削除規定の有無	削除運用は別途ご相談
準拠法	プライベートクラウドサーバーによる	管轄裁判所	国内を想定
<b>■信頼性</b>			
SLA	プライベートクラウド導入環境に基づく		
実績稼働率	プライベートクラウド導入環境に基づく (事例：99.9%以上 計画停止を除く)	目標稼働率	プライベートクラウド導入環境に基づく
ストレージ	プライベートクラウド導入環境に基づく	バックアップ	有
データ暗号化	無	暗号化通信	有
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応については応相談	VPN 接続	対応
学認対応	対応については応相談	LDAP 連携	対応
管理ツール	有	API 公開	無
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	9:00~17:00	QA 対応時間帯	9:00~17:00
コンタクト方法	電話・メール	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	導入環境に基づく	サービス停止の通知	利用顧客運用規定に基づく
ログの開示	有	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：システムズエンジニアリング事業部 クラウド&ICT サービス推進センター 担当者：田中 寿一 / 渡邊 皓作	電話番号：03-5634-6646 FAX 番号：03-3645-2337 Mail： <a href="mailto:ml-DS_Support@uchida.co.jp">ml-DS_Support@uchida.co.jp</a>	

製品・サービス名称	ウチダの Office 学割 U365
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	<a href="https://ec1.u365.jp/portal/office/">https://ec1.u365.jp/portal/office/</a>

■製品サービスの特長

## 新しい学生サービス 学生向け Microsoft Office 学割

うれしい特典がいっぱい！

パソコンだけでなく、タブレットやスマホでも使える Office! それぞれ5台ずつインストール可能。 ※1

OneDriveを始め、TeamsやOneNoteなど様々なクラウドサービスが利用可能! ※2

アプリは自動・無料でアップデート。いつでも最新版が使えます。

在学中なら、買い替えた新しいPCへ再インストールが可能!

AXIES 正会員大学の学生向けには  
通常の学割価格よりさらにオトクになります！

AXIES サイトの「会員特典」をご確認ください (<https://axies.jp/admission/benefits/>)

■ウチダの Office 学割 U365 の概要

学生の必須のソフトウェア Microsoft Office を、特別プライスでご購入いただける新たな学生サービスです。様々な特典も満載。大学様の費用負担等は一切ございません。AXIES 正会員大学であればさらにオトクになります！

1. フルスペックのOffice (Microsoft 365 Apps) OneDriveやTeamsも付いています
2. PC (Windows・macOS) ・タブレット・スマホ各々5台 (最大15台) インストールOK
3. 大学の費用負担無し！ 大学専用のECサイトを開設しクラウドで無償提供します

製品・サービス名称	ウチダの Office 学割 U365		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ソフトウェア販売）	・パブリック・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他（学生サービス）
<b>■一般事項</b>			
契約実績	大学実績（約 200 超）校：利用大学名（日本全国多数） 民間実績（無：教育機関のみ）社：利用企業名 他、専門学校（約 100 校超）等		
費用	・初期費用：無し ・ランニング費用：無し		
利用条件	・最低ユーザ数：ゼロ ・最低利用期間：1 年間		
支払方法	請求サイクル：無し（希望する学生が Office を購入）		
販売代理店	無、有（ ）		
<b>■契約</b>			
申込み方法	注文書・その他（当社営業経由にて利用申込み）	利用開始までの期間	10 営業日程度
約款の有無	有・無（学生向けの利用約款あり）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無（24h365D）		
実績稼働率	有・無・その他（2023 年実績：99.99%以上） ※サービス提供時間帯稼働率（計画停止除く）	目標稼働率	有・無・その他（99.9%） ※サービス提供時間帯稼働率（計画停止除く）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
<b>■機能</b>			
SINET 接続	無	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	無	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	10:00～16:00	QA 対応時間帯	10:00～16:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有（年に 2 回程度）	サービス停止の通知	2 週間前
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：システムズエンジニアリング事業部 クラウド&ICT サービス推進センター 担当者：小川 武 / 山本 小晴	電話番号：03-5634-6646 FAX 番号：03-3645-2337 Mail： <a href="mailto:ml-u365axies@uchida.co.jp">ml-u365axies@uchida.co.jp</a>	

製品・サービス名称	ウチダのパソコン学割 U365
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	https://ec1.u365.jp/portal/ecservice/

■製品サービスの特長

## BYOD 学生向け 必携／推奨台 PC 環境の実現を支援いたします

あなたの学校と一緒に  
選びました。

### ウチダの パソコン学割



Windows PCは、Windows 11 Pro という法人向けOSを搭載。

**1** 内蔵ストレージ (SSD) はもちろん、USBメモリやSDカードの暗号化が可能です。

※Windows 11 Home搭載PCは、ストレージ暗号化機能 (BitLocker) がありません。

ご購入前もご購入後も、同じお問合せ窓口でご対応いたします。

**2** FAQやお問い合わせフォームもご用意しております。

一貫したヘルプデスクサービスで安心です。

**3** PC販売・ソフトウェアともに豊富な運用実績を持っております。

累計1,000サイト超の豊富なご提供実績がございます。

**4** クレジットカード、コンビニ支払いに加え、PayPay、Pay-easy (ペイジー)、ショッピング・ローンにも対応しております。

※ショッピング・ローンはオプション対応となります。

**あなたの大学・学校専用に設定済み すぐに使えます！**

「ウチダのパソコン学割」は、あなたの大学・学校に合わせて選んだパソコンやタブレットPCを通販で購入できるサービスです。

法人・教育機関向け価格のため、量販店よりお得に、かつ充実したサービス内容でご購入いただけます。

**在学中ずっとあんしんな保証・保守サービス**

破損

火災

水濡れ

落下

盗難

ウチダのパソコン学割では、在学中ずっと安心な保証・保守のサービスをご用意しています。通常のメーカー保証 (購入から1年以内の自然故障) ではカバーできない、物損や盗難にも対応したプランをご用意しております。

また、販売端末がsurfaceの場合、修理期間が短い代替機提供プランもございます。

製品・サービス名称	ウチダのパソコン学割 U365		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（学生向け PC 販売）	・パブリック・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他（学生サービス）
<b>■一般事項</b>			
契約実績	大学実績（約 200 超）校：利用大学名（日本全国多数） 民間実績（無：教育機関のみ）社：利用企業名 他、専門学校（約 100 校超）等		
費用	・初期費用：無し ・ランニング費用：無し		
利用条件	・最低ユーザ数：ゼロ ・最低利用期間：1 年間		
支払方法	請求サイクル：無し（希望する学生が PC、オプション品を購入）		
販売代理店	無、有（ ）		
<b>■契約</b>			
申込み方法	注文書・その他（当社営業経由にて利用申込み）	利用開始までの期間	10 営業日程度
約款の有無	有・無（学生向けの利用約款あり）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無（24h365D）		
実績稼働率	有・無・その他（2022 年実績：99.99%以上） ※サービス提供時間帯稼働率（計画停止除く）	目標稼働率	有・無・その他（99.9%） ※サービス提供時間帯稼働率（計画停止除く）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
<b>■機能</b>			
SINET 接続	無	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	無	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	10:00～16:00	QA 対応時間帯	10:00～16:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有（年に 1 回程度）	サービス停止の通知	2 週間前
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：システムズエンジニアリング事業部 クラウド&ICT サービス推進センター 担当者：小川 武 / 山本 小晴	電話番号：03-5634-6646 FAX 番号：03-3645-2337 Mail： <a href="mailto:ml-u365axies@uchida.co.jp">ml-u365axies@uchida.co.jp</a>	

製品・サービス名称	パピルスメイト 証明書学外発行サービス
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	<a href="https://www.uchida.co.jp/education/papyrusmate/">https://www.uchida.co.jp/education/papyrusmate/</a>

■製品サービスの特長

## 学内でも学外でもシームレスな証明書発行環境を



証明書発行に必要なデータをパピルスメイトのクラウド上に登録・管理することで 365 日全国のコンビニエンスストアでの証明書、あるいはデジタル化した証明書(PDF データ証明書)の発行が可能となるサービスです。キャンパスにある証明書発行機で証明書の発行を行うだけでなく、場所や時間を問わず、証明書の発行が可能です。クラウドサービスで手間なく運用でき、発行枚数が急増する年度末等の繁忙期においても有効であり、業務効率化をご支援します。

### 1 スマートフォンから簡単申し込み



証明書発行申し込みおよび決済はスマートフォンやPCからおこなうことができます。

申し込みから支払いまでWeb上で完結するので、キャンパスまで行かなくてもご利用いただけます。

### 2 お近くのコンビニで証明書を受け取り



「セブン-イレブン」「ファミリーマート」「ローソン」で各種証明書を受け取ることができます。

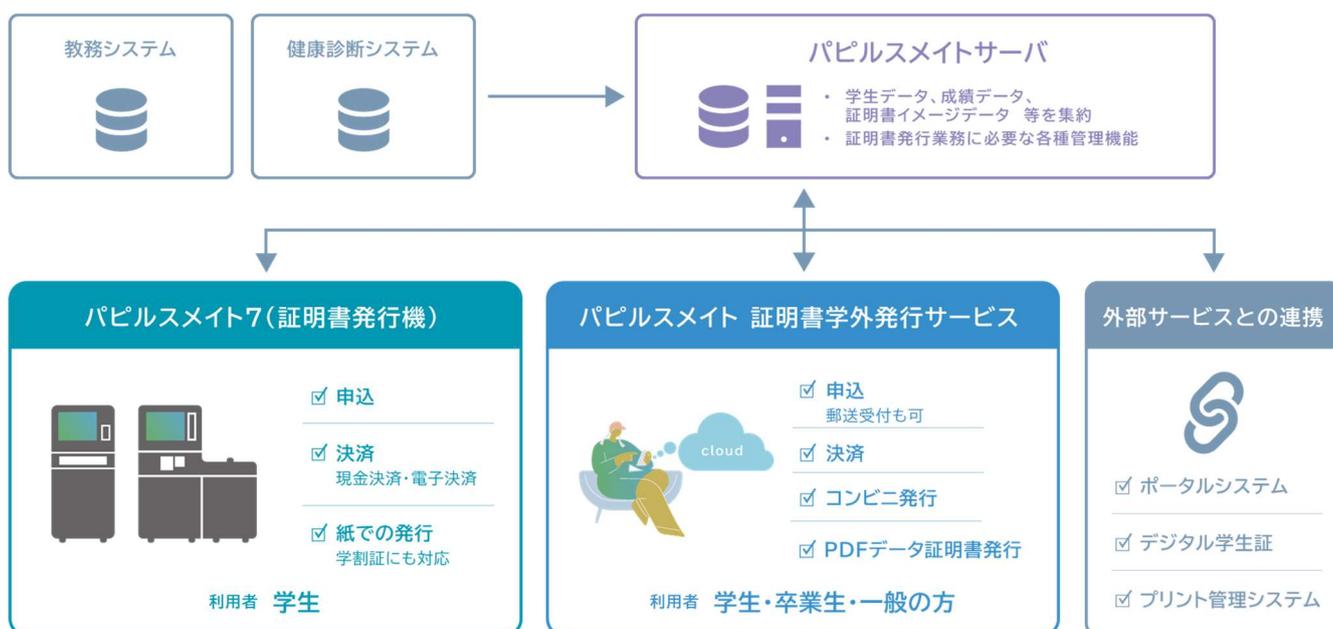
コンビニで受け取れるので時間を気にせず発行できます。

### 3 PDFデータで証明書を受け取り



PDFデータ証明書の発行にも対応しています。

発行されたPDFデータ証明書には、電子署名やタイムスタンプを付加し、内容の真正性や非改ざん性を担保します。



製品・サービス名称	ウチダ証明書学外発行サービス		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ソフトウェア販売）	・パブリック・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他（学生サービス）
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数（ ）社：利用企業名（ ） 大学数（ 20 ）校：利用大学名（非開示 ）		
費用	・初期費用：個別見積 ・ランニング費用：個別見積		
利用条件	・最低ユーザ数：設定なし ・最低利用期間：1年間		
支払方法	請求サイクル：応談		
販売代理店	無、有（お問い合わせください ）		
<b>■契約</b>			
申込み方法	注文書・その他（利用申込書）	利用開始までの期間	ご契約後4～6ヶ月程度
約款の有無	有・無（学生向けの利用約款はあり ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無（24h365D。ただし、クラウド事業者および当社のサービスメンテナンス時を除く）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	9:00～17:30	QA 対応時間帯	9:00～23:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有（年に1～2回程度）	サービス停止の通知	2週間前まで
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：ICTリサーチ&開発部門 ディビジョン ICTプロダクト企画部 担当者：河野・松永	電話番号：03-5634-6209 FAX 番号：03-5634-6831 Mail： <a href="mailto:ml-papyrus-ird@uchida.co.jp">ml-papyrus-ird@uchida.co.jp</a>	

製品・サービス名称	SiteScan2.0(プラットフォーム診断)
提供企業名	アイティーエム株式会社
紹介サイト URL	https://www.itmanage.co.jp/security/sitescan/ss20/

## ■製品サービスの特長

### ネットワーク・OS層の定期的な脆弱性診断で情報漏えい事故などのリスクを未然に回避

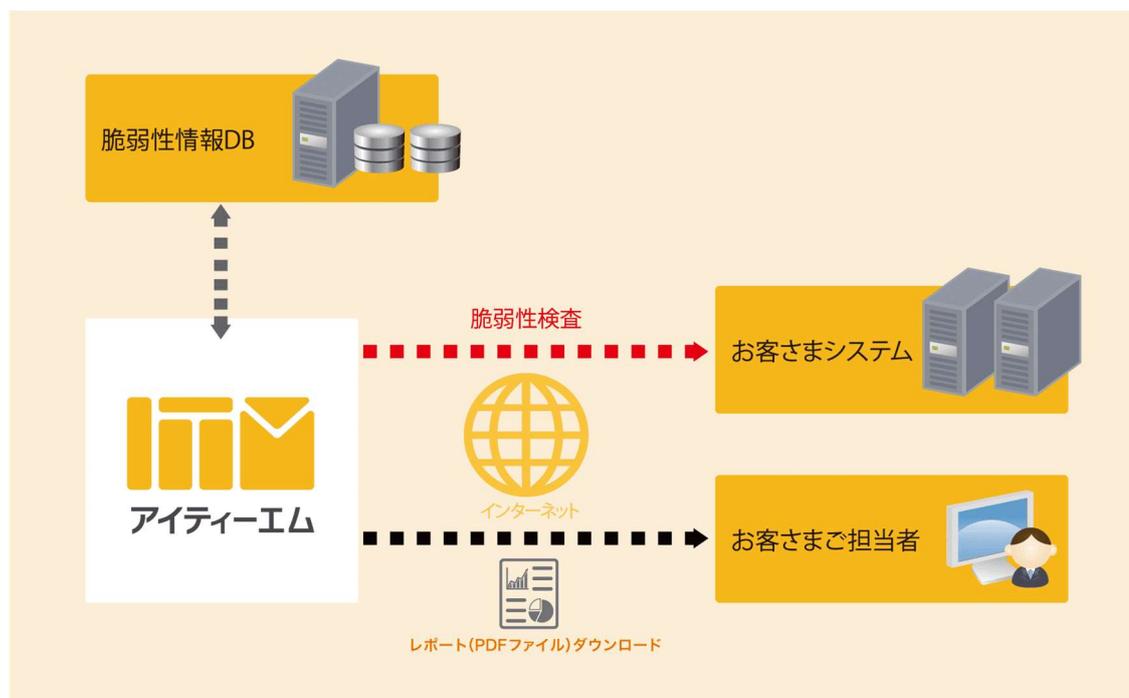
#### ネットワーク・OS・ミドルウェア脆弱性診断

業界標準 CVSS/CVE に準拠した検査エンジンによるネットワーク・OS・ミドルウェアの脆弱性診断を行います。またお客様が診断したいタイミングで Web 管理画面からボタン一つでスケジュール設定が可能です。「ネットワークの脆弱性が心配」または「OS のバージョン管理が大変」などの課題を抱えるお客様におすすめです。



#### 脆弱性評価基準 CVSS/CVE 準拠の脆弱性診断

プラットフォーム脆弱性診断の SiteScan 2.0 は、セキュリティ業界の標準評価基準である CVSS/CVE に準拠した検査エンジンにより、お客様のシステムへ施されたセキュリティ対策のレベルを診断します。



#### 詳細な脆弱性レポート

アタック方法は日々変化していきます。本サービスでは約 140,000 件の診断項目を保有し、検査対象ごとにセキュリティリスクを検証していきます。また個々に発見された脆弱性に対する評価を「緊急・重大・高・中・低」で分類した上で、その影響を記載したレポートを提供するため、優先順位を付けて対策を実施していただけます。

#### 診断項目

診断項目数：約 140,000 件

大分類：ホストのスキャン、ネットワークサービスの脆弱性、Web サーバーの脆弱性、各種 OS の脆弱性  
悪意あるソフトウェア、ネットワーク機器の脆弱性 など。

製品・サービス名称	SiteScan2.0(プラットフォーム診断)		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック ・プライベート ・その他 ( )	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他 (セキュリティ)
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数 (1,000 以上) 社：利用企業名 (非公開 ) 大学数 (非公開) 校：利用大学名 (非公開 )		
費用	¥70,000 円(1IP)から、ご利用可能。 年間回数無制限プランもあり。		
利用条件	ライセンス形態 (買取、利用契約)		
支払方法	未締め、翌月末支払い、お支払い方法：銀行振り込みのみ。		
販売代理店	無、有 (代理店名：多数あり )		
<b>■契約</b>			
申込み方法	注文書・その他 ( )	利用開始までの期間	申込から 3 営業日
約款の有無	有・無 ( )	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ( )
データ保存場所	国内・海外 ( )	データ削除規定の有無	有・無・その他 ( )
準拠法	日本国法・海外法規 ( )	管轄裁判所	国内・海外 ( )
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無 (SLA 内容： )		
実績稼働率	有・無・その他 ( )	目標稼働率	有・無・その他 ( )
ストレージ	多重化有・無・その他 ( )	バックアップ	有・無・その他 ( )
データ暗号化	有・無・その他 ( )	暗号化通信	有・無・その他 ( )
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ( )	API 公開	有・無・その他 ( )
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	平日 10 時から 18 時	QA 対応時間帯	平日 10 時から 18 時
コンタクト方法	電話・メール・その他 ( )	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じて実施	サービス停止の通知	1 ヶ月前に通知
ログの開示	有・無 (※条件 )	第三者認証取得状況	ISMS
問合せ先	企業名：アイティーエム株式会社 部署名：アプリケーションセキュリティ事業本部 担当者：佐藤/久光	電話番号：050-5358-9632 FAX 番号：なし Mail：appsec@itmanage.co.jp	

製品・サービス名称	WebSiteScan(Web アプリケーション脆弱性診断)
提供企業名	アイティーエム株式会社
紹介サイト URL	<a href="https://www.itmanage.co.jp/security/sitescan/wss/">https://www.itmanage.co.jp/security/sitescan/wss/</a>

## ■製品サービスの特長

### Web アプリケーション層の定期的な脆弱性診断で情報漏えい事故などのリスクを未然に回避

#### Web アプリケーション脆弱性診断

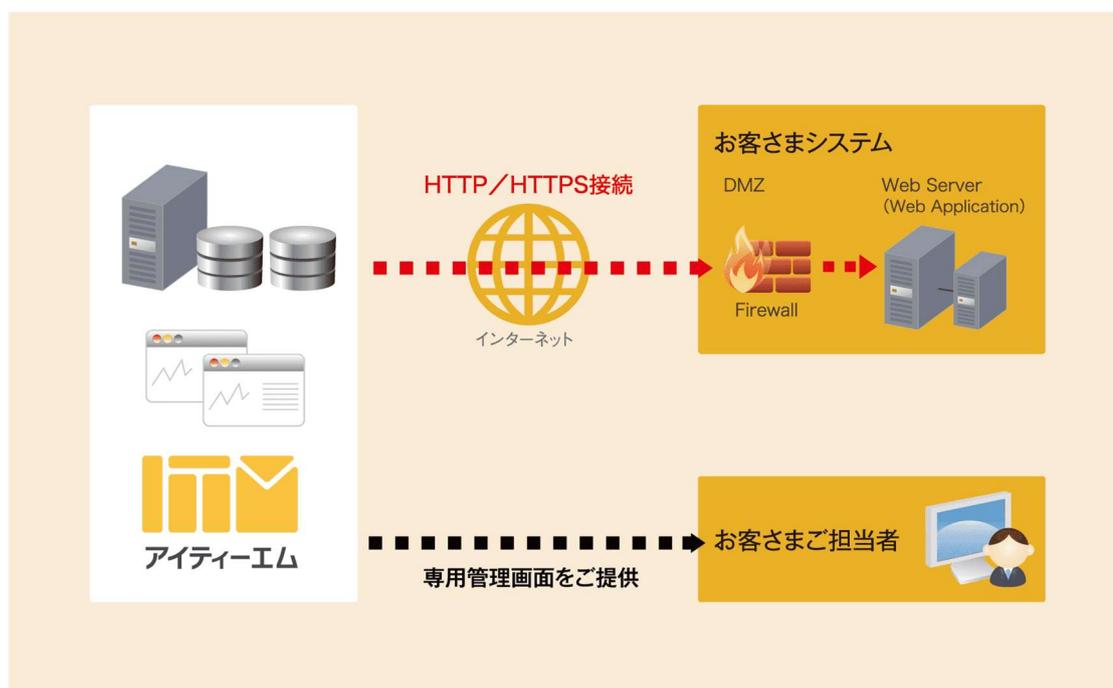
Web アプリケーション脆弱性診断の WebSiteScan は、お客さまの Web サイトをリモートで診断を行うサービスです。SaaS 型サービスなので、お客さまはソフトウェアやハードをご購入いただく必要はございません。オンデマンドによるご提供となっているため、お客さまのご利用されたいタイミングに合わせてスケジュール設定も可能、診断終了後に即時診断レポートを発行いたします。「費用を抑えてコーポレートサイトを診断したい」「開発時に手早く検査したい」などのお客さまにおすすめです。



#### SaaS 型のサービス提供による『オンデマンド診断サービス』

SaaS 型での提供により、Web からログイン後、診断・レポート結果まで、最短 5 分で完了します。

また、お客さまが診断したいタイミングで、Web 管理画面からボタンひとつでスケジュール設定が可能です。



#### 高性能な Web アプリケーション診断

システムへの影響を最小限に抑えるため、サーバ・ネットワーク負荷低減機能を搭載し、ログイン後などのセキュリティが重視されるページの診断もおまかせください。

さらに、診断項目やパラメータは、常に最新の状態にバージョンアップされるので、お客さまの作業負担を軽減します。

#### 充実のアフターフォロー体制で低価格のサービスを実現

WebSiteScan は、診断ページ数による課金ではなく、URL 単位での課金モデルです。さらに自動化により価格を抑えたセキュリティ診断サービスとなっているため、ページ数の多いサイトをお持ちのお客さまも安心してご利用いただけます。

また、ソースコード上のリスク脆弱性を検査し、対策を講じるオプションサービスもご用意しております。

製品・サービス名称	WebSiteScan(Web アプリケーション脆弱性診断)		
<b>■分類</b>			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ( )	・パブリック ・プライベート ・その他 ( )	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他 (セキュリティ)
<b>■一般事項</b>			
契約実績	法人数 (1,000 以上) 社：利用企業名 (非公開 ) 大学数 (非公開) 校：利用大学名 (非公開 )		
費用	¥198,000 円(1URL/1 認証/2 回診断) 年間診断回数無制限プランや、ボリュームライセンスあり		
利用条件	ライセンス形態 (買取、利用契約)		
支払方法	未締め、翌月末支払い、お支払い方法：銀行振り込みのみ。		
販売代理店	無、有 (代理店名：多数あり )		
<b>■契約</b>			
申込み方法	注文書・その他 ( )	利用開始までの期間	申込から 3 営業日
約款の有無	有・無 ( )	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ( )
データ保存場所	国内・海外 ( )	データ削除規定の有無	有・無・その他 ( )
準拠法	日本国法・海外法規 ( )	管轄裁判所	国内・海外 ( )
<b>■信頼性</b>			
SLA	有・無 (SLA 内容： )		
実績稼働率	有・無・その他 ( )	目標稼働率	有・無・その他 ( )
ストレージ	多重化有・無・その他 ( )	バックアップ	有・無・その他 ( )
データ暗号化	有・無・その他 ( )	暗号化通信	有・無・その他 ( )
<b>■機能</b>			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ( )	API 公開	有・無・その他 ( )
<b>■保守・運用</b>			
障害対応時間帯	平日 10 時から 18 時	QA 対応時間帯	平日 10 時から 18 時
コンタクト方法	電話・メール・その他 ( )	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じて実施	サービス停止の通知	1 ヶ月前に通知
ログの開示	有・無 (※条件 )	第三者認証取得状況	ISMS
問合せ先	企業名：アイティーエム株式会社 部署名：アプリケーションセキュリティ事業本部 担当者：佐藤/久光	電話番号：050-5358-9632 FAX 番号：なし Mail：appsec@itmanage.co.jp	





## 6. 大学向けクラウドソリューション 比較表

### ○比較表に関するご注意事項

本比較表は、P.16 から P.94 までのカタログ記載データを取りまとめたものです。  
そのため、カタログ記載のデータと比較表のデータが異なる場合、カタログ記載のデータが優先されます。また比較表は、比較しやすいようにデータの1部をグルーピングし抽象化していますので、その点をご了解ください。

比較表 1

カタログ 掲載情報	掲載区分	1. 教育支援系		2. 研究支援系		
	項番	1. (1)	1. (2)	2. (1)	2. (2)	2. (3)
	掲載ページ	17	19	23	25	27
製品・サービス名		英語学習システム 「ATR CALL BRIX」 Cloud Secure	画面モニタリングシ ステム RealCAST (リアルキャスト)	Cloud Volumes ONTAP	Autonomous Ransomware Protection + Cloud Insights Storage Workload Securityによる多層防御	BlueXP Ransomware Protection
提供企業名		内田洋行	内田洋行	ネットアップ	ネットアップ	ネットアップ
製品・サー ビス区分	サービス	○	○	○	—	○
	製品	—	—	—	○	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド 区分	パブリック	○	○	○	—	○
	プライベート	○	—	—	○	○
	その他	—	—	—	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	—	—	○	—	—
	PaaS	—	—	—	—	—
	SaaS	○	○	—	—	○
利用用途 分類	教育支援	○	○	○	○	○
	研究支援	—	—	○	○	○
	事務支援	—	—	—	—	○
	情報インフラ	—	—	○	○	○
	その他	—	—	—	—	—
契約実績	民間	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
	大学	非公開	非公開	非公開	芝浦工業大学	非公開
契約	申込方法	申込書	注文書	Webサインアップ	注文書	—
	利用開始までの時間	最短1週間	1~2か月程度	数時間	3か月	数時間
	約款の有無	×	○	×	×	×
	契約修正の可能性	—	○	○	○	×
	データ保管場所	国内	国内	選択リージョンに依存	—	非公開
	データ削除規程	無	無	ホワイトペーパー開示	—	—
	準拠法	日本国法	日本国法	選択リージョンに依存	設置場所に依存	設置場所に依存
	管轄裁判所	国内	国内	選択リージョンに依存	設置場所に依存	設置場所に依存
信頼性	SLA	×	×	○	○	×
	実績稼働率	有	×	非公開	非公開	非公開
	目標稼働率	×	×	非公開	99.99%	その他
	ストレージ多重化	○	×	○	○	非公開
	バックアップ	○	×	○	○	非公開
	データ暗号化	○	×	○	○	非公開
	暗号化通信	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	—	×	○	○	—
	VPN接続	—	×	○	○	—
	学認対応	○	×	×	×	—
	LDAP連携	○	×	○	○	—
	管理ツール	○	無	○	○	○
	API公開	無	無	○	○	—
保守運用	障害対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	24H×365D	代理店との契約に依存	保守契約に依存
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	24H/5D	代理店との契約に依存	保守契約に依存
	コンタクト方法	電話・メール	メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール・Web
	対応インシデント数	無制限	規定なし	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	年1回	必要に応じて実施	クラウド事業者に依存	無	導入環境に依存
	サービス停止の通知	1か月前	適宜通知	クラウド事業者に依存	販売終了から半年前	販売終了から半年前
	ログの開示	無	無	○	○	×
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	—

比較表2

カタログ 掲載情報	掲載区分	2. 研究支援系			3. 事務支援系	
	項番	2. (4)	2. (5)	2. (6)	3. (1)	3. (2)
	掲載ページ	29	31	33	37	39
製品・サービス名		FlexPod Datecenter AI	NetApp Keystone for Storage as a Service (STaaS)	codemariクラウドサービス	TWX-21 MRO 集中購買サービス	RoomSense クラウドサービス
提供企業名		ネットアップ	ネットアップ	内田洋行	日立製作所	内田洋行
製品・サービス区分	サービス	—	○	○	○	○
	製品	○	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド区分	パブリック	—	○	○	○	○
	プライベート	○	○	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリッククラウド区分	IaaS	○	○	—	—	—
	PaaS	—	—	○	—	○
	SaaS	—	—	—	○	—
利用途分類	教育支援	○	○	○	—	—
	研究支援	○	○	○	—	○
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	○	○	○	—	○
	その他	—	○	—	—	—
契約実績	民間	非公開	非公開	非公開	760社	非公開
	大学	非公開	非公開	非公開	北海道大学	非公開
契約	申込方法	注文書	注文書	注文書	営業間合せ	注文書
	利用開始までの時間	数日	2か月程度	2か月程度	2ヶ月～	2か月程度
	約款の有無	—	○	○	○	○
	契約修正の可能性	—	○	○	×	○
	データ保管場所	非公開	国内・海外	国内	国内	国内
	データ削除規程	ホワイトペーパー開示	—	○	×	○
	準拠法	選択リージョンに依存	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	選択リージョンに依存	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	—	×	×	×	×
	実績稼働率	—	×	その他	○ (99.5%以上)	非公開
	目標稼働率	—	○	その他	非公開	非公開
	ストレージ多重化	非公開	○	○	○	○
	バックアップ	機能により可能	○	○	○	○
	データ暗号化	機能により可能	○	○	×	○
	暗号化通信	機能により可能	○	○	○	○
機能	SINET接続	○	○	×	×	×
	VPN接続	○	○	×	×	×
	学認対応	○	×	×	×	×
	LDAP連携	○	○	×	×	×
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	○	○	無	×	×
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	24H×365D	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	Q&A対応時間帯	9:00~17:00/5D	24H×365D	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	コンタクト方法	Web	電話・メール・Web	電話・メール	電話・メール	電話・メール
	対応インシデント数	無制限	無制限	制限なし	別途個別見積	無制限
	計画停止の頻度	未定	無/クラウド事業者に依存	必要に応じて実施	月1回	必要に応じて実施
	サービス停止の通知	有	無/クラウド事業者に依存	1週間以上前	事前通知有	1週間前
	ログの開示	—	○	○	○ (コンテンツ)	○
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表3

カタログ 掲載情報		掲載区分	4. 情報インフラ系				
		項番	4. (1)	4. (2)	4. (3)	4. (4)	4. (5)
		掲載ページ	43	45	47	49	51
製品・サービス名		さくらのVPS	さくらのクラウド	さくらの専用サーバ PHY (ファイ)	SINET接続サービス	脆弱性管理サービス	
提供企業名		さくらインターネット	さくらインターネット	さくらインターネット	さくらインターネット	ITM	
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○	
	製品	—	—	—	—	—	
	その他	—	—	—	—	—	
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	○	
	プライベート	—	—	—	—	—	
	その他	—	—	—	—	—	
パブリッククラウド区分	IaaS	○	○	○	—	—	
	PaaS	—	—	—	—	—	
	SaaS	—	—	—	—	○	
利用途分類	教育支援	○	○	○	○	—	
	研究支援	○	○	○	○	—	
	事務支援	○	○	○	○	—	
	情報インフラ	○	○	○	○	○	
	その他	—	—	—	○	—	
契約実績	民間	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開	
	大学	非公開	国立情報学研究所等	非公開	非公開	非公開	
契約	申込方法	WEB	WEB	WEB	申込書	注文書	
	利用開始までの時間	即時	即時	即時～数営業日	1か月程度	最短3営業日	
	約款の有無	○	○	○	○	○	
	契約修正の可能性	○	○	○	○	○	
	データ保管場所	国内	国内	国内	国内	国内	
	データ削除規程	○	○	○	○	○	
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内	
信頼性	SLA	×	○ (99.95%)	○ (99.95%)	×	×	
	実績稼働率	非公開	非公開	非公開	その他	○	
	目標稼働率	非公開	非公開	非公開	その他	○	
	ストレージ多重化	○	○	○	—	○	
	バックアップ	○	○	×	○	○	
	データ暗号化	×	×	×	×	○	
	暗号化通信	○	○	○	○	○	
機能	SINET接続	○	○	○	○	—	
	VPN接続	×	○	○	○	—	
	学認対応	×	×	×	×	—	
	LDAP連携	×	×	×	×	—	
	管理ツール	○	○	○	×	○	
	API公開	○	○	○	×	○	
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	24H×365D	24H×365D	24H×365D	24H×365D	
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール	
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	年間複数件対応	
	計画停止の頻度	不定期	不定期	不定期	不定期	年間複数回、土日実施	
	サービス停止の通知	1週間前	1週間前	1週間前	1週間前	原則1か月前	
	ログの開示	×	×	×	×	○	
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○	

比較表 4

カタログ 掲載情報		4. 情報インフラ系					
		掲載区分					
		項番	4. (6)	4. (7)	4. (8)	4. (9)	4. (10)
		掲載ページ	53	55	57	59	61
製品・サービス名		EverFlex from Hitachi 仮想化基盤	エンタープライズク ラウドサービス G2	クライアントサービ ス 日立のデータセ ンター	フェデレーテッド クラウド	日立 データセン ターサービス	
提供企業名		日立製作所	日立製作所	日立製作所	日立製作所	日立製作所	
製品・サー ビス区分	サービス	○	○	○	○	○	
	製品	—	—	—	—	—	
	その他	—	—	—	—	—	
クラウド 区分	パブリック	—	○	—	—	—	
	プライベート	○	—	○	—	—	
	その他	—	—	—	○	○	
パブリック クラウド 区分	IaaS	○	○	—	—	—	
	PaaS	—	—	○	○	—	
	SaaS	—	—	—	—	—	
利用用途 分類	教育支援	○	○	○	○	○	
	研究支援	○	○	○	○	○	
	事務支援	○	○	○	○	○	
	情報インフラ	○	○	○	○	○	
	その他	○	○	○	○	○	
契約実績	民間	非公開	非公開	10社	非公開	非公開	
	大学	非公開	非公開	—	非公開	非公開	
契約	申込方法	営業問合せ	営業問合せ	フロント業者に依頼	営業問合せ	営業問合せ	
	利用開始までの時間	3か月～	最長5営業日	HW調達期間に依存	最短5営業日	ご相談	
	約款の有無	無	×	○	×	○	
	契約修正の可能性	その他	その他	○	その他	○	
	データ保管場所	国内	国内	国内	非公開	国内	
	データ削除規程	—	×	○	×	○	
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内	
信頼性	SLA	—	99.5%	○	ご相談	×	
	実績稼働率	ご相談	—	99.99%	ご相談	その他	
	目標稼働率	ご相談	99.99%	99.8%	○(99.95%)	○	
	ストレージ多重化	○	○	○	○	×	
	バックアップ	ご相談	○	オプション	ご相談	×	
	データ暗号化	○	×	○	○	×	
	暗号化通信	ご相談	×	○	○	×	
機能	SINET接続	×	×	×	×	個別接続可能	
	VPN接続	○	○	○	○	個別接続可能	
	学認対応	×	×	×	×	×	
	LDAP連携	ご相談	×	○	×	×	
	管理ツール	○	○	○	○	×	
	API公開	×	○	×	×	×	
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	平日営業時間帯	24H×365D	平日営業時間帯	24H/365D	
	Q&A対応時間帯	24H×365D	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	
	コンタクト方法	メール	その他	電話・メール・その他	メール	電話・メール	
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	ご相談	無制限	
	計画停止の頻度	原則無	月1回	3回/年	月1回	不定期	
	サービス停止の通知	個別調整	1ヶ月前	6か月前	1ヶ月前	1ヶ月前	
	ログの開示	×	×	×	×	×	
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○	

比較表 5

カタログ		4. 情報インフラ系				
掲載区分						
掲載情報	項番	4. (1 1)	4. (1 2)	4. (1 3)	4. (1 4)	4. (1 5)
+AX3:BD52	掲載ページ	63	65	67	69	71
製品・サービス名		リモートアクセスシステムDoMobile	RevoWorksクラウド	Catoクラウド (SASEソリューション)	Darktrace ActiveAI Security Platform	Nutanix Enterprise AI
提供企業名		日立製作所	J'Sコミュニケーション	J'Sコミュニケーション	ダークトレース(取り扱い品)	ニュータニックス
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	—
	製品	—	—	—	—	○
	その他	—	—	—	—	—
クラウド区分	パブリック	○	○	○	—	○
	プライベート	—	—	—	—	○
	その他	—	—	—	—	—
パブリッククラウド区分	IaaS	—	—	—	—	○
	PaaS	—	—	—	—	○
	SaaS	○	○	○	—	—
利用用途分類	教育支援	○	—	—	—	○
	研究支援	○	—	—	—	○
	事務支援	○	—	—	—	○
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	○	—	—	—	○
契約実績	民間	3,800社以上	非公開	非公開	200	徳島県庁等
	大学	—	非公開	非公開	10	慶応義塾大学等
契約	申込方法	営業問合せ	注文書	注文書	—	Marketplace
	利用開始までの時間	5営業日～	申込翌月1日	—	即時	即時～2か月前後
	約款の有無	×	○	—	×	○
	契約修正の可能性	その他	その他	—	—	無
	データ保管場所	国内	—	—	国内(顧客)	国内
	データ削除規程	その他	—	—	—	無
	準拠法	日本国法	—	—	海外法規	日本国法
	管轄裁判所	国内	—	—	国内	国内
信頼性	SLA	○	SLOはあり	99.999%	ベストエフォート	無
	実績稼働率	非公開	100%	—	24時間稼働	非公開
	目標稼働率	非公開	99.9%	—	○	非公開
	ストレージ多重化	非公開	—	—	○	○
	バックアップ	○	—	—	○	—
	データ暗号化	非公開	—	○	○	○
	暗号化通信	○	—	○	○	—
機能	SINET接続	×	—	—	—	○
	VPN接続	×	—	○	○	○
	学認対応	×	—	—	—	○
	LDAP連携	○	—	○	○	○
	管理ツール	○	—	○	○	○
	API公開	×	—	○	○	○
保守運用	障害対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	24H/365D	平日営業時間帯	24H/365D
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	24H/365D
	コンタクト方法	メール	Web	Web	チケット	電話・その他
	対応インシデント数	非公開	無制限	無制限	—	無制限
	計画停止の頻度	非公開	不定期	—	年1.2回程度	無
	サービス停止の通知	2週間前	数日前	—	事前通知	無
	ログの開示	○	無	—	○	無
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表6

カタログ 掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系			5. その他	
	項番	4. (16)	4. (17)	4. (18)	5. (1)	5. (2)
	掲載ページ	73	75	77	81	83
製品・サービス名		Nutanix Kubernetes Platform (NKP)	ExtremeCloud™ IQ	Wasabi Hot Cloud Storage Wasabi Cloud NAS	IT資産管理/ セキュリティ管理 ASSETBASE	ソフトウェア 配布提供システム Download Station
提供企業名		ニュータニクス	Extreme Networks	Wasabi	内田洋行	内田洋行
製品・サービス区分	サービス	—	—	○	○	—
	製品	○	○	—	—	○
	その他	—	—	—	—	—
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	—
	プライベート	○	○	—	○	○
	その他	—	—	—	—	—
パブリッククラウド区分	IaaS	○	—	—	—	—
	PaaS	○	—	—	—	—
	SaaS	—	—	—	○	—
利用用途分類	教育支援	○	○	—	—	—
	研究支援	○	○	—	—	—
	事務支援	○	○	—	—	—
	情報インフラ	○	○	○	—	—
	その他	○	○	—	○	○
契約実績	民間	徳島県庁等	非公開	8万社	約70社	非公開
	大学	慶応義塾大学等	非公開	アイビーリーグ等	約50校	非公開
契約	申込方法	Marketplace	注文書	注文書	営業問合せ	営業問合せ
	利用開始までの時間	即時~2か月前後	—	即時/1.2営業日	5営業日(SaaS)	5営業日
	約款の有無	○	○	○	○	○
	契約修正の可能性	無	—	○	○	○
	データ保管場所	国内	国内	リージョン選択	国内	導入環境に依存
	データ削除規程	無	—	その他	○	ご相談
	準拠法	日本国法	海外	海外	日本国法	導入環境に依存
	管轄裁判所	国内	海外	海外	国内	国内
信頼性	SLA	無	○	99.9%	○(約款による)	導入環境に依存
	実績稼働率	非公開	—	○	○(99.99%)	導入環境に依存
	目標稼働率	非公開	99.99%	○	○(99.9%)	導入環境に依存
	ストレージ多重化	○	○	○	○	導入環境に依存
	バックアップ	○	—	無	○	○
	データ暗号化	○	○	○	×	×
	暗号化通信	○	—	○	○	○
機能	SINET接続	○	×	対応予定	ご相談	ご相談
	VPN接続	○	—	×	○	○
	学認対応	○	×	○	ご相談	ご相談
	LDAP連携	○	—	×	○	○
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	○	—	○	×	×
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	代理店に依存	平日日勤帯/24365	営業時間帯	営業時間帯
	Q&A対応時間帯	24H×365D	—	平日営業時間帯	営業時間帯	営業時間帯
	コンタクト方法	電話・フォーム	代理店に依存	メール	電話・メール	電話・メール
	対応インシデント数	無制限	—	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	無	無	Web	年2回程度	導入環境に依存
	サービス停止の通知	無	—	メール	2週間前	運用規定に依存
	ログの開示	○	○	○	○	○
	第三者認証取得状況	○	—	○	○	○

比較表7

カタログ 掲載情報	掲載区分	5. その他				
	項番	5. (3)	5. (4)	5. (5)	5. (6)	5. (7)
	掲載ページ	85	87	89	91	93
製品・サービス名		ウチダのOffice学割 U365	ウチダのパソコン学割 U365	ウチダ証明書学外発行サービス	SiteScan2.0	WebSiteScan
提供企業名		内田洋行	内田洋行	内田洋行	ITM	ITM
製品・サービス区分	サービス	—	—	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	○	○	—	—	—
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリッククラウド区分	IaaS	—	—	—	—	—
	PaaS	—	—	○	—	—
	SaaS	○	○	—	○	○
利用用途分類	教育支援	—	—	—	—	—
	研究支援	—	—	—	—	—
	事務支援	—	—	○	—	○
	情報インフラ	—	—	—	—	—
	その他	○	○	○	○	○
契約実績	民間	—	—	—	1000社超	1000社超
	大学	約200校超	約200校超	20校	—	—
契約	申込方法	営業問合せ	営業問合せ	利用申込書	注文書	注文書
	利用開始までの時間	10営業日	10営業日	4~6か月	3営業日	3営業日
	約款の有無	×	×	○	○	○
	契約修正の可能性	×	×	○	○	○
	データ保管場所	国内	国内	国内	国内	国内
	データ削除規程	○	○	○	○	○
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	○	24H/365D	24H/365D	無	無
	実績稼働率	○(99.99%以上)	○(99.99%以上)	非公開	無	無
	目標稼働率	○(99.9%)	○(99.9%)	非公開	無	無
	ストレージ多重化	○	○	○	○	○
	バックアップ	○	○	○	○	○
	データ暗号化	○	○	○	無	無
	暗号化通信	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	×	×	○	×	×
	VPN接続	×	×	○	×	×
	学認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	×	×	○	×	×
	管理ツール	×	×	○	○	○
	API公開	×	×	×	×	×
保守運用	障害対応時間帯	10:00~16:00	10:00~16:00	9:00~17:30	平日日勤帯	平日日勤帯
	Q&A対応時間帯	10:00~16:00	10:00~16:00	9:00~23:00	平日日勤帯	平日日勤帯
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール	電話・メール	メール	メール
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	年1回程度	年1回程度	年1~2回程度	必要に応じて実施	必要に応じて実施
	サービス停止の通知	2週間前	2週間前	2週間前	1か月前	1か月前
	ログの開示	×	×	×	×	×
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○



## 7. 大学におけるクラウド導入事例

クラウドソリューションの具体的な適応事例として、大学等におけるクラウド導入事例は様々な示唆に富んでいます。各ソリューションベンダから大学等におけるクラウド導入事例を提出いただき掲載します。

顧客事例：Luminate 様

**luminate**  
EDUCATION GROUP

## ルミネイト・エデュケーション・グループ、 Extreme Fabric で明るい未来を確保

### 課題

- ・ 接続するキャンパスやデバイスの増加に対応するネットワーク容量の拡大
- ・ セキュリティとコンプライアンスの向上
- ・ 事業と物理的なキャンパスの継続的な拡大のための、追加カレッジのニーズ
- ・ 7人という小規模ITチームの負担の軽減

### 導入製品

- ・ ExtremeCloud™ - Site Engine
- ・ Extreme Fabric Connect
- ・ ExtremeWireless
- ・ ExtremeSwitching

「5年前に調査・導入した Extreme プラットフォームのおかげで、職員と学生の体験を大幅に近代化し、向上させることができました」。

### デイブ・ニューシャム氏

ルミネイト・エデュケーション・グループ、  
ITSS サービス・デリバリー責任者

ルミネイト・エデュケーション・グループは、リーズ・シティ・カレッジ、ハロゲイト・カレッジ、キーリー・カレッジ、リーズ・シックスフォーム・カレッジ、ユニバーシティ・センター・リーズ、リーズ・コンセルヴァトワールを擁する教育プロバイダーの集合体であり、イングランド・ヨークシャー全域に合計 17 のキャンパスを持っています。同グループは約 30,000 人の学生と 2,000 人以上のスタッフを支援しています。

同グループは、堅牢で弾力性があり、信頼性の高いネットワーク・インフラストラクチャを構築して接続性を確保するとともに、将来的な拡張と全キャンパスへの展開のための基盤を構築したいと考えていました。学生や職員の個人用デバイスを除く 7,500 台以上のワイヤレスデバイスと 4,000 台のデスクトップを管理しており、ネットワークの管理を容易にすると同時にさらなる容量、セキュリティ、拡張性を提供するソリューションを必要としていました。

調査と検討の結果、Extreme Networks と、そのパートナーである Syscomm により、ExtremeCloud IQ - Site Engine が管理する有線、無線、およびファブリックネットワークをすべてのキャンパスに導入しました。Extreme Fabric で独自の全国規模のネットワークとデータセンターを運用する Syscomm は、ネットワーク設計とソリューション・アーキテクチャについて詳細な知見を提供し、拡大する拠点への展開を容易に拡張できるようにしました。最初の導入以来、複数の新しい拠点に Extreme ソリューションを導入し、何百ものインフラのアップグレードを完了し、ネットワークの拡張性と能力を活用して Extreme Academy を



立ち上げました。

「インフラや無線ネットワークを完全に把握し、認証ポイントからクライアントのアクティビティをすべてリアルタイムで追跡できます。私のチームは、キャンパス全体のトラフィックを確認し、監視することができ、Fabric Connect を使えば、まるで現場にいるかのように行動できます。Site Engine のおかげで、すべてのコア・ディストリビューション・スイッチとエッジ・スイッチを一元的に監視、保守、管理できるようになりました。」 **デイブ・ニューシャム氏**

「非常に大規模で非常に複雑なネットワークに、Extreme Fabric、ExtremeSwitching、ExtremeCloud IQといったユーティリティを導入したことで、少人数のチームでも5年前ほど負担を感じることなく、業務を遂行できるようになりました」。

デイブ・ニューシャム氏

## 結果



### 将来性、拡張性に優れたファブリックネットワーク

- ファブリックの拡張可能な帯域幅とセキュリティ機能により、物理的なキャンパスの拡大に伴うネットワークの拡大が可能に
- 5年前に導入されたネットワークを、中断ダウンタイムなしに継続的に構築



### 卓越したユーザー・エクスペリエンス

- 14の拠点における数千人のエンドユーザーに対し、途切れることなく接続を提供し、Wi-Fiの恩恵を享受することはあってもWi-Fiによって妨げられることがない業務や学習環境を確立
- Extreme Academyの導入により、学生、教員、ITチームの技術カリキュラムが充実
- Esports、デジタルアートなどの最先端技術やプログラムをワイヤレスでサポート



### ゲームを変えるネットワーク管理

- ネットワークのパフォーマンス、アクティビティ、健全性を一元的に把握
- ITチームは、あたかも現場にいるかのように、遠隔で問題に対処し、リクエストへの対応が可能に
- 大規模かつ複数地域にまたがるネットワークの管理からITチームを解放



<https://jp.extremenetworks.com/contact-sales/>

©2024 Extreme Networks, Inc. の商標です。Extreme Networks および Extreme Networks のロゴは、米国およびその他の国における Extreme Networks, Inc. その他の名称は、それぞれの所有者に帰属します。Extreme Networks 商標の詳細については、<http://www.extremenetworks.com/company/legal/trademarks> を参照してください。仕様および製品の提供状況は、予告なく変更される場合があります。

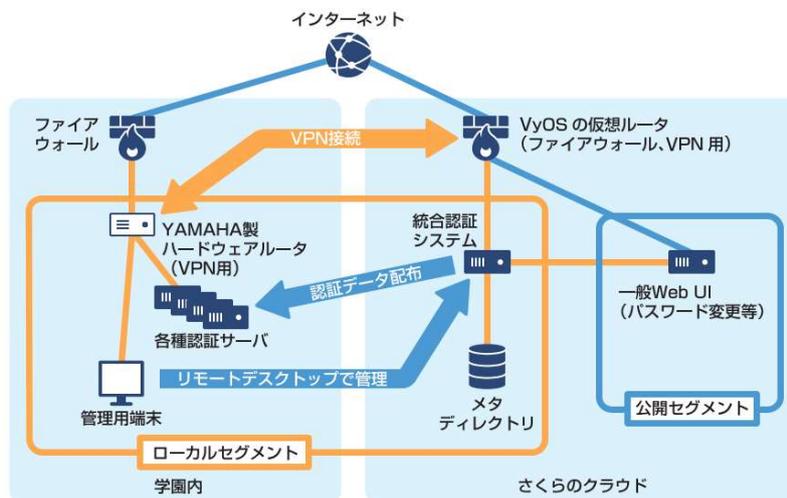
[jp.extremenetworks.com](http://jp.extremenetworks.com)

2

## 学校法人桜美林学園

# クラウド上の仮想ルータを活用して、 見通し良く確実に統合認証システムを運用開始

多数のユーザーを抱える学校現場では、認証システムをどのように運用していくかは難しい課題です。限られたリソースの中で確実にサービスレベルを向上していくため、学校法人桜美林学園では、クラウド上の仮想ルータでVPNを整備することで、統合認証システムからシームレスな運用を実現できています。



根幹の統合認証システムからクラウドへ移行

うほど簡単ではありません。考え方としては割り切っていて、同じような属性のアプリケーションに関する認証サーバはある程度まとめるにしても、そうでないものは個別が良いとしています。」(桜美林学園 品川氏)。

統合認証システムは、以前は学園内に設置した仮想環境上で運用してきましたが、将来を見据えて「さくらのクラウド」へ移行し、運用を開始しました。「もちろん認証サーバも外に出たいのですが、アプリと密接していて迂闊なことではできません。まずは大元の統合認証システムがクラウド上で安定して動作し、信頼して利用できる状態だと確認できることから始めたいと考えました。」(品川氏)。

## メールをキーとして 統合認証システムを運用

学校法人桜美林学園では、学園内の各種サービスの認証のために統合認証システムを利用しています。メール、履修登録や課題提出、図書館システム、Eラー

ニング、無線LANサービス、就職情報サービス、PCへのログイン等、さまざまなサービスが複数の認証サーバによって運用され、統合認証システムが認証サーバ間の整合性を管理する構成です。「すべての認証サーバを集約すると可用性を格段にあげなければなりません、口で言

## 一度ではなかった計画停電による サービス中断と管理コストの増加

桜美林学園内のITインフラは東京の町田キャンパスに集中しており、平常時も法定停電やメンテナンスなどで年に2日ほどシステムが止まってしまう状態でした。

### 導入前の課題

- 根幹となるシステムの連続運用
- 災害に強いインフラ
- ベンダーロックを避けたい

### 導入後の効果

- 停電時などの管理コスト軽減
- 最新バージョンの統合認証システムが利用できるようになった
- 以前と変わらない運用

システム移行のきっかけは東日本大震災です。「当日は停電しましたし、その後も計画停電が4回もありました。その度に、5時間システム停止が発生し、ユーザーに迷惑をかけましたし、管理側も混乱しました。」(桜美林学園 荒井氏)。「震災で不安になっているときに教員や学生の連絡手段の確保は大きな課題でした。しかし、学園内にメールの認証連携があったためにメールが使えないということも発生しました。」(桜美林学園 劉氏)。

桜美林学園ではメールシステムとして数年前からGmailを導入し、Gmail自体は停電の影響を受けませんでした。町田キャンパス内に認証連携システムがあったために、町田キャンパスがダウンしているとメールが利用できない状況が生まれました。震災直後はメールによる連絡手段を確保するために、一時的に認証連携システムをバイパスするなどの対処にも追われました。

### 専門のデータセンターのほうがセキュリティを強化できる

認証用データを物理的に学外に置くことを懸念する声はありますが、現実的にセキュリティを考えていくと、管理性の高いデータセンターに置くほうが現実解と判断できるケースは多いです。「認証系を外に出すことに違和感がなくなったように思います。」(桜美林学園 井坂氏)。「学内は安全ではありません。データセンターのほうがより安全であるといえます。セキュリティには3つ面がありまして、まず物理的な安全性です。自分たちで火災対策などが十分なデータセンターを用意するのは非常にコストがかかります。次に人的な不正アクセス対策です。学校というのはオープンであり知らない人がうろうろしています。そこを制御するのは非常に難しいです。3つ目がシステムの技術面です。これはどこにあってもやることは同じです。」(品川氏)。

データセンターは石狩データセンターを選択しました。コスト面と関東で大規模災害が起きても影響を受けにくいこと

### ご担当者の声

#### 桜美林学園

学校法人 桜美林学園  
http://www.obirin.jp/

住所  
東京都町田市常盤町3758  
学生・生徒・園児数  
10666人 (2015年5月)  
事業内容  
大学、大学院、高等学校、中学校、幼稚園

写真左から  
情報システム部 課長 劉宇  
情報システム部 テクノロジグループ 担当係長 井坂しのぶ  
情報システム部 荒井 啓太  
情報システム部 部長 品川 昭



本件はクラウド環境の構築や運用サポートなど、単なるインフラ提供に加えた作業が必要なものです。さくらインターネットはWebサイトでのセルフサービスで申し込むイメージが強く、法人対応がどの程度できるのか疑問を持っていました。しかし、いただいた提案はRFPを満たすコンパクトな内容で優れていると評価でき、人員体制を明示して運用サポートの提供が可能というのも想定外でした。また、不安や疑問を解消するための提案説明会で直接の担当技術者が来校したのも意外な対応でした。費用面でも競争力があつたため、本件はさくらインターネットにお願いした次第です。契約から構築完了まで非常に迅速だと感じました。

からです。

### 仮想ルータと汎用ハードによる見通しのよいVPN

統合認証システムをクラウド上で運用するにあたり、VPNを構築して学内のオンプレミスのシステムとデータセンターのネットワークを同一セグメントとしました。VPNは専用のハードウェアで構築するのではなく、クラウド上で仮想ルータ向けOS「VyOS」を導入したサーバを立ち上げ、このサーバと学園内に設置した汎用のハードウェアルータとを接続したシンプルな構成です。「本件ではVPN接続部での通信量が少ないことと、災害等に対して強いインフラを求めていたことから、本学用に新規回線を引き込まない提案を評価しました。」(荒井氏)

町田キャンパスと石狩データセンター間のVPN構成となり、ローカルネットワークと比較すると通信遅延は避けられませんが、統合認証システムの管理・運用はWindowsのリモートデスクトップで行えています。「遠隔地のため通信遅延が心配でしたが、許容範囲内でした。想定どおりの動きをしてくれています。悪化したところがないということが良かった点でしょうか。」(荒井氏)

今後は外部から参照される認証サーバの更新や、新たに認証サーバを構築するタイミングで、認証サーバを学園外に出すことを検討しています。

#### ご紹介したサービス

▶ さくらのクラウド

お問い合わせ、資料請求 本件に関する詳細など、お問い合わせ、資料請求は下記までご連絡ください。

#### さくらインターネット株式会社

【大阪本社】〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 35F  
【東京支社】〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル33F  
【福岡オフィス】〒810-0042 福岡県福岡市中央区赤坂1-12-15 読売福岡ビル 7F

▶ E-MAIL eigy@sakura.ad.jp ▶ 0120-380397 【受付時間】 平日10:00~18:00 (土日・祝祭日を除く)

※本取材内容は2016年2月時点の情報です

SAKURA CASE STUDY

## 流通経済大学

# 業務パッケージをSINET経由で、クラウド化。接続に「さくらのクラウド」を採用

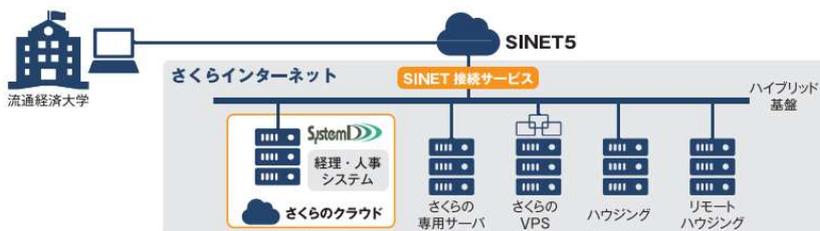
流通経済大学は、経理・人事システムが稼働しているサーバの更新に伴い、「さくらのクラウド」の月額定額サーバに移行しました。同大学ではICTを活用した効率的かつ継続的な業務遂行の観点から、早い段階で少しずつクラウド化を進めており、経理・人事システム移設を経て、キャンパス内に設置されたシステム用サーバがなくなり、クラウド化のロードマップが完了しました。同大学が「さくらのクラウド」を採用した大きな理由は、大学や研究機関のネットワークでありセキュアに接続できるSINETと接続できるからです。

## 「学生ファースト」な流通経済大学

流通経済大学は、戦後の日本経済発展と国際化に対応できる高度な物流の研究と人材育成を目的として1965年に設立されました。当初は経済学部経済学科のみの単科大学でしたが、現在では5学部9学科を擁する中規模の総合大学に発展しました。

「2006年にはスポーツ健康科学部を開設し、開学以来スポーツにも力を入れています。私も硬式野球部に所属していました」と同大学出身の若山昌弘氏（経理課）は部活の日々を思い返します。特にサッカー部とラグビー部が強く、江坂任さんや中島イシレリさんなどプロ選手を多数輩出していることで知られています。

同大学の特徴として、1年生は入学式の次の日からゼミに所属することが挙げられます。これは学生に有意義なキャンパスライフを過ごしてもらうための配慮で、教員からの手厚いサポートと学友との親密な関係を早期に構築することがねらいです。またキャンパスは茨城県龍ヶ崎市と千葉県松戸市にあり、学部によっては、2つのキャンパスから好きな方を選んで通学できる「キャンパス選択制」を導入し



ています。この制度により、教員はキャンパスを行き来して、同じ内容の授業を行うこととなりますが、学生の成長と個々の事情を優先する「学生ファースト」な大学と言ってよいでしょう。

## SINET経由でさくらのクラウドに接続し、経理・人事システムを利用

流通経済大学は、株式会社システムディが提供する学園向けの業務パッケージをさくらのクラウドに導入して利用しています。また、さくらインターネットへは、日本全国の大学や研究機関を結ぶSINET経由で接続しています。

「SaaSがあれば採用したのですが、残念ながら学園向けの経理・人事システムでは見当たりません。そこでさくらのクラウドをPaaSとして利用し、システムディ

のパッケージをそちらに導入しました」と同大学のシステム導入リーダーである青砥光一氏は説明します。

## クラウド化で停電、災害などの不安から解放

学生の個人情報や研究内容の漏えいを不安視して、クラウド化に難色を示す大学も多い中、流通経済大学では5年あまりの年月をかけて、徐々にオンプレミスのサーバを撤去してきました。

「少ない人数でシステム運用を行っていますので、5年に1回のサーバ更新は大きな負担です。またキャンパスが2カ所あるので、龍ヶ崎キャンパス側で停電があったときには新松戸キャンパス側も影響を受けることになります。そこでサーバを更新するたびにクラウドまたはハウジングサービスにシ

### 導入前の課題

- サーバの更新の労力とコストが大きな負担
- システムの安定稼働について不安
- SINET接続に対応している業者が少ない

### 導入後の効果

- サーバの更新の必要がなくなった
- システムの継続的な運用に関する安心感
- SINET接続により安心して利用

システムを移行してきました」と情報部門事務部長の鈴木武氏は説明します。2011年の東日本大震災でサーバ室に影響があったり、別な年には雷による停電でシステムが停止したこともあって、BCP（事業継続計画）に真摯に取り組むことになりました。

クラウド化は世の中の流れであり、セキュリティに関しても必要とするレベルには既に達しているという判断でした。それよりも短いスパンでのシステム更新にかかる労力とコストが不要なこと、業務の継続という観点から安心感が強いこと、定額料金のサービスを選択すればコストの見通しが容易なことなど、クラウド化のメリットの方がはるかに大きいと同大学では評価しています。

なお、クラウド化はシステムディの経理・人事パッケージの導入を経て、その他システムも徐々に進めた結果、すべて外部に設置することにより完了し、現在はバックアップ用のサーバを残すだけになりました。

### さくらのクラウドを選んだ理由

経理・人事パッケージの導入先としてさくらのクラウドを選んだ理由は、大きく3つありました。

1つめは、L2閉域網に対応していたことです。これはインターネットから直接アクセスを受けない安全な接続をするための方式で、SINET経由で外部サービスを利用する場合には必須条件ですが、対応しているサービスはそれほど多くありません。

2つめは、他社と比較して低価格なことです。

3つめは、システムディの経理・人事パッケージが要求するスペックのサーバを用意できることでした。

「さくらのクラウドが3つの条件をクリアしていた上に、以前からさくらのレンタルサーバを利用していたこともあり、信頼感もありました」と青砥氏は採用理由を説明します。

### 日本の会社だからこそのきめ細かい対応で労力なく導入が完了

クラウドサーバおよびパッケージの導

### ご担当者の声



学校法人日通学園  
流通経済大学  
<https://www.rku.ac.jp/>

住所 龍ヶ崎キャンパス  
茨城県龍ヶ崎市120  
新松戸キャンパス  
千葉県松戸市新松戸3-2-1  
設立 1965年  
学部 経済学部/社会学部/流通情報学部/法学部/スポーツ健康科学部



流通経済大学  
図書情報グループ事務部長  
兼情報システム課長  
鈴木武氏



流通経済大学  
図書情報グループ  
情報システム課係長  
青砥光一氏



流通経済大学 経理部 経理課  
若山昌弘氏

入はスムーズに完了し、何一つ問題は起こりませんでした。

「さくらのクラウドはボタン1つで完了するぐらい簡単に導入できますが、クラウド導入も含めてシステムディに全ての作業をお願いしました。その際にさくらインターネットがシステムディに対する直接の窓口を設けてくれ、両方でコミュニケーションをとりながら導入を進めてくれました。おかげで本学の負担はありませんでした」（青砥氏）。

AWSやAzureなど海外のクラウドベンダーの場合は、ユーザ責任で導入し、彼らは一切関与しません。「日本の会社だからこそのきめ細かい対応です」と流通経済大学では評価しています。

### クラウド対応しないベンダーに対して積極的に働きかけて欲しい

経理・人事システムに加え2020年には、学生や教員が利用するプリント管理システムも「さくらのクラウド」に移設し、他

のシステムを含めてクラウド化がほぼ完了したため、今後も新システムの導入を企画する際は、プラットフォームとして、さくらのクラウドを候補の一つに入れて検討したいとのことでした。

「それよりも、パッケージシステムベンダーの中には、クラウドへの導入を渋る会社はまだあります。どこまで動作保証するかという問題があるからです。そこでさくらインターネットにはパッケージシステムベンダーと協業して、パッケージのクラウド化を進めていただきたい。『Aというシステムなら、さくらのクラウド』ということになれば、さくらのクラウドを採用する人も増えるはずですよ」と、さくらインターネットへの期待を青砥氏は語ってくれました。

#### ご紹介したサービス

- ▶ さくらのクラウド
- ▶ SINET 接続サービス

お問い合わせ、資料請求 本件に関する詳細など、お問い合わせ、資料請求は下記までご連絡ください。

### さくらインターネット株式会社

【大阪本社】 〒530-0011 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 35F  
【東京支社】 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル 33F  
【福岡オフィス】 〒810-0042 福岡県福岡市中央区赤坂1-12-15 読売福岡ビル 7F

▶ E-MAIL [eigy@sakura.ad.jp](mailto:eigy@sakura.ad.jp) ▶ TEL 0120-380397 [受付時間] 平日10:00~18:00 (土日・祝祭日を除く)

※本取材内容は2020年9月時点の情報です

## 国立大学法人九州大学

# パブリッククラウドをベースにホスティングサービスを構築。さくらとビットスターが細かなニーズに応える

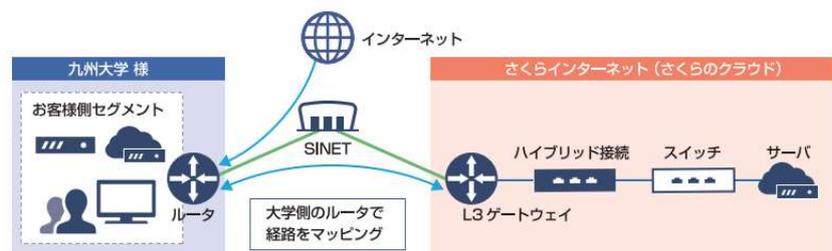
九州大学では、部局等にメール、Web および DNS についてサーバリソースを貸し出す学内ホスティングサービスを運営しています。従来のオンプレミス基盤の課題であった運用負荷や属人化を解消すべく、パブリッククラウド化を図りました。教育機関特有のニーズを満たすべく、インフラとサポートを一元的に提供するさくらインターネットとビットスターのサービスを採用。拡張性にも運用性にもすぐれ、運用負荷も小さな新しいホスティングサービスを開始しました。

### 九州大学のすべてのステークホルダーへ最良の情報環境を提供

九州大学は、1911年に創設された九州帝国大学を母体とし、1949年に旧制九州大学・福岡高等学校・久留米工業専門学校を包括して新制されました。学生約1万8,000人（2019年5月現在）に対し、2,000人超の教員を揃え、手厚い教育・研究環境を整えています。多くの海外留学生を迎えており、国立大学の中でもトップクラスです。大学院にも力を入れており、法学・理学・医学等の18学府が設置されています。

最近までキャンパスは福岡市の各地に点在していましたが、2018年に10年をかけて行われた伊都キャンパスへの統合・移転が完了し、産官学の連携で整備される学術研究都市として稼働を開始しています。単一キャンパスとして日本最大、校地面積も国内第3位を誇ります（2018年時）。

多数の学部・研究院を設置して幅広い教育と研究を提供する中、2018年には新しい学部として「共創学部」を設立して



九州大学の所有する IP アドレスゾーンでクラウドサービスを利用し、プライベートクラウドのように活用。

います。グローバル化が急激に進展する現代において、環境・食料・人種・経済といった地球的・人類的な課題へ能動的に取り組むことのできる人材を育成していく多分野の学問とされています。徹底した語学教育や課題解決型のカリキュラム、実践的な協働学習および積極的な留学支援が特徴です。

「積極的なグローバル化の推進において、情報統括本部では世界的な ICT 拠点となるべく情報基盤・情報システムの整備・運用に取り組んでいます。特に注力しているのが情報セキュリティ対策です。サイバー攻撃等の脅威から機密性・完全性・可用性の観点で情報資産を守るため ISMS を導入し、2012年3月に認証を取

得しました。また、2014年からはサイバーセキュリティセンターと連携を図りながら、情報資産の適切な保護とセキュリティの向上に努めています」と、九州大学情報統括本部 情報システム部 情報基盤課の亀岡謙一氏は説明します。

### 学内ホスティングサービスのパブリッククラウド化

現代における大学・大学院の教育・研究には、IT 基盤が欠かせません。高度なシステムを研究に活用する例もあれば、情報発信やコミュニケーションのために Web やファイルサーバを運営するケースもあります。古くは研究室ごとにサーバを構築して運営していた時代もありまし

#### 導入前の課題

- ホスティングサービス基盤の更改
- オンプレミスからクラウドへの移行
- 運用の負荷増大と属人化の解消

#### 導入後の効果

- パブリッククラウド上にサービスを構築
- クラウドでも従来と同様のサービスを提供
- 一元的なサポートで大幅な負荷軽減

たが、リソースのムダやセキュリティ対策の不備などから、九州大学では2009年から学内ホスティングサービスを運営してきました。

「各研究室は、独立した組織のように運営されていますので、ITニーズも千差万別です。そこで私たちは、学内のITベンダーのように活動し、サービスとしてITを提供する役割を担う必要があります。ホスティングサービスもその一環として、利便性と効率性を両立すべく運営しています」と、情報統括本部 情報システム部 情報基盤課の平野広幸氏は述べています。

サービス開始からまもなく10年、数世代を経たオンプレミスシステムは要となるサーバ管理ソフトウェアのサービス終了を控えて、他のシステムへの更改が求められました。従来のシステムは、基盤がブラックボックス化しており、運用の属人化も進んでいました。そうした運用負荷を解消し、情報基盤課の人的リソースをより高度な戦略・企画等へ集中させたいという思いや、そして昨今のクラウド活用への取り組みもあって、パブリッククラウドをホスティングサービス基盤として利用する方法が検討されました。

「大学機関のインフラということもあって、ネットワーク構成や認証基盤の制限や契約形態など厳しい条件があったのは事実です。SINETを介したL2 VPN接続を受けつけられる環境であることも技術的な要件の1つでした。もちろん、既存のパブリッククラウドサービスをそのまま活用することは困難です。複数のサービスを検討しましたが、すべてのニーズを受け入れてくれるのは、さくらインターネットとビットスターの連合だけでした」（平野氏）

平野氏によれば、グループ会社であるビットスターと協力し、新しい管理ツールのカスタマイズやシボレス認証連携などの細かなニーズに応え、運用保守を含めて一元的なサービスとして提供されることで、最大の目標である属人化の解消やリソースの最適化を図れることが重要な選定ポイントになったとのことです。

## ご担当者の声



国立大学法人九州大学  
http://www.kyushu-u.ac.jp/

住所 福岡県福岡市西区元岡744  
事業内容 1949年(昭和24年)に旧制九州大学を包括して設置された国立大学



情報統括本部  
情報システム部 情報基盤課  
平野広幸氏



情報統括本部  
情報システム部 情報基盤課  
亀岡謙一氏

さくらインターネットとビットスターは強固に連携し、私たちのニーズへ細やかに応えてくれました。さまざまな課題もすばやく的確に解決してくれたおかげで、新しいサービス基盤の運営を開始できました。今後も安定的なサービスを提供すると共に、より高度なIT戦略をサポートするパートナーとして活躍してほしいと願っています

## インフラからサポートまで統合運用負荷が大幅軽減

九州大学の新しいホスティングサービス基盤は、さくらのクラウド上に構成され、九州から離れた災害にも強い堅牢なデータセンターで運営されています。管理ツールはWebベースの「cPanel」を選び、ビットスターによって、使いやすくカスタマイズされています。

両社の提案がありサービス基盤をオンプレミスからクラウドへ移行したことにより、リソースの増減が容易になり、ソフトウェアアップデートなどのメンテナンスに時間を取られることもなくなりました。バックアップ環境も整備しやすく、数年ごとのシステム更改の負荷もありません。亀岡氏は「管理負荷の大幅な低減は大きな効果」と高く評価しています。

利用者である研究室では、従来と同じようにサーバリソースをレンタルできるように構成されています。cPanelは軽快に動作するため、旧システムと比べても使い勝手が向上しているとのことです。

九州大学では、2019年から2020年に

かけて急ピッチで移行を進めて、500ドメイン弱をさくらのクラウド上で運用する計画です。学内・学外組織と連携しながら、情報セキュリティ対策を進めていきたいとしています。

「学内ホスティングサービス、業務用のクラウドサービス、セキュリティインシデントなど、さまざまな要素の可視化を強化したいと考えています。運用負荷の軽減によってIT戦略に取り組む時間が確保でき、より強固なセキュリティ施策を検討するためには情報が欠かせません」と亀岡氏は述べ、さくらインターネット／さくらのクラウドの活用で培ったノウハウ／ベストプラクティスが広がり、九州地域の教育機関や企業が大きく成長していくことを期待しています。

### ご紹介したサービス

- ▶ さくらのクラウド
- ▶ SINET 接続サービス

お問い合わせ、資料請求 本件に関する詳細など、お問い合わせ、資料請求は下記までご連絡ください。

## さくらインターネット株式会社

【大阪本社】 〒530-0011 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 35F  
【東京支社】 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル 33F  
【福岡オフィス】 〒810-0042 福岡県福岡市中央区赤坂1-12-15 読売福岡ビル 7F

▶ E-MAIL [eiigo@sakura.ad.jp](mailto:eiigo@sakura.ad.jp) ▶ TEL 0120-380-397 [受付時間] 平日10:00~18:00 (土日・祝祭日を除く)

※本取材内容は2019年11月時点の情報です



# 京都産業大学、 NutanixでIT基盤を 刷新しDRの課題を解決

Nutanix Cloud Platform で、IT 管理負担軽減、バックアップ  
パフォーマンス向上、DR 環境の強化を一挙に実現

## 導入によるビジネスのメリット

- バックアップの安定化によるDR環境の向上
- 管理の効率化によるIT部門の負担軽減
- 無停止運用可能な信頼性の高い稼働環境の実現

「Nutanix Cloud Platform は、従来の環境で直面していたスナップショットの  
パフォーマンスの課題を解決でき、IT 部門の作業効率も向上し、学内にサービス  
を提供する IT 環境の信頼性を向上できました」

– 京都産業大学 情報センター 課長補佐 杉村 智樹 氏

「Nutanix は、ノードを追加するだけで簡単に基盤の更新や拡張ができ、魅力的で  
す。ファームウェアの更新や部品交換等も無停止で実施でき、高可用性が実現で  
きています」

– 京都産業大学 情報センター 大隅 光一 氏

## 取り組み

京都産業大学は1965年に開学し、学祖である荒木俊馬氏が掲げた「建学の精神」を根本  
理念として、国際社会で活躍できる人材の育成に注力し、現在まで極めて順調な発展を  
遂げてきました。創立時は、経済学部と理学部の2学部収容定員1,120名からスタートし、  
2022年には神山キャンパスに10学部10研究科を擁し、約15,000名の学生が集う一拠点  
総合大学となっています。

総合大学では、人文化科学、社会科学、自然科学、それぞれの分野で異なるICTのニーズが  
あり、多様なニーズを満たすため、同大学では兼ねてよりWindowsとLinuxを活用して  
きました。そして、学内外問わず利用できるeラーニング環境の構築やWeb履修登録シス  
テムの導入、キャンパスネットワークKINGの整備など、教育の情報化に取り組んできました。

同大学は、創立50周年を迎えた2015年に、15年後となる2030年においても日本を代表  
する私立大学の一角を担う存在であり続けるため、中長期事業計画「神山STYLE2030」と  
してまとめました。2030年までの15年間で5年ごとに「改革期」「発展期」「充実期」の3期  
に分けて、2021年度からは第2期となる「発展期」が開始しています。発展期のアクション  
プランの一環として、デジタルを活用する先進的な教育を実現すべく、大学DX推進や統合  
データベースの整備に着手することになりました。



## 業界

学校・教育業界

## 課題

- DR環境の安定化による持続性の確保
- バックアップパフォーマンスの向上
- IT部門の管理性の向上

## ソリューション

Nutanix クラウドインフラストラクチャ  
(NCI)

- AOS Storage
- AHV Hypervisor

## アプリケーション

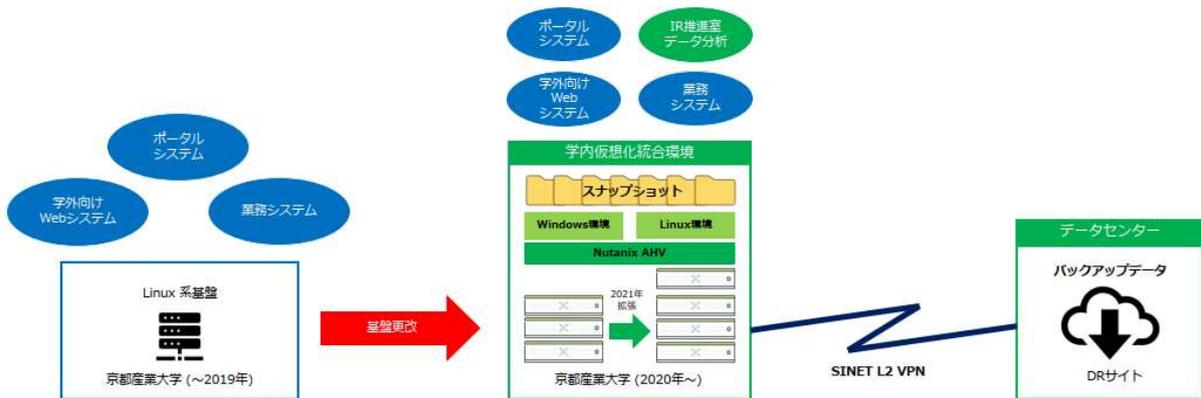
- ポータルシステム POST
- 学内業務システム
- 学外向け Web システム
- IR推進室データ分析システム
- Arcserve UDP バックアップ

## ソリューション

京都産業大学では、オンプレミスの Windows と Linux の事務系サーバーを仮想化することでシステム業務の効率化を進めてきました。2017年度に Windows 系基盤の更新を行い、ファイルサーバーのディスク I/O 負荷とバックアップ時間の課題解決に取り組みました。しかし、スナップショット削除時に発生するデータ統合処理によるディスク I/O 処理に耐えきれず、ファイルサーバー利用者に快適に利用してもらう上で大きな影響を及ぼしていました。また、Linux 系基盤のバックアップを従来のテープ方式からディスク方式へ変更する必要がありました。

これらの課題を解決すべく、2019 年度の Linux 系基盤の更改のタイミングで、ハイパーコンバージドインフラストラクチャー (HCI) の採用を検討しました。その結果、2020年、Nutanix Elevate パートナーの三谷商事の提案する 3ノードからなる Nutanix Cloud Platform を導入し、統合環境を構築しました。同環境では、学内に 7日間のバックアップを保持するとともに、遠距離バックアップも実現していますが、Windows と Linux のバックアップ環境も統合でき運用の効率化も図ることができました。

さらに、2021年、IR 推進室が取り組むデータ駆動型教育の実現と意思決定のための統合データベース基盤を構築する必要が生じました。予測困難なデータ分析量や頻度に備えて、既存環境に影響を与えないよう、ディスク容量拡張と計算能力強化のため、新たに 1ノード追加して Nutanix 環境を拡張しました。



## 導入効果

Nutanix は、大学の教職員や学生向けの業務には必須かつ高い稼働性が必要となるポータルシステム POST、学外向けの Web システム、業務システム、IR 推進室のデータ分析用 DWH や BI 環境などで使用されています。「Nutanix Cloud Platform は、従来の環境で直面していたスナップショットのパフォーマンスの課題を解決でき、IT 部門の作業効率もアップし、学内にサービスを提供する IT 環境の信頼性を向上できました」と情報センター 課長補佐の杉村智樹氏は語ります。

運用面では、無停止で容易に Nutanix 環境を拡張でき、導入してから一度もサービス停止しておらず可用性も高いです。サポート体制が充実しており、クリティカルな対応が必要になった場合も、技術レベルの高いスタッフが迅速に対応してくれます。情報センターの大隅光一朗氏は次のように述べています。「Nutanix は、ノードを追加するだけで簡単に基盤の更新や拡張できる点が魅力的です。ファームウェアの更新や部品交換等も無停止で実施でき、高可用性が実現できています。Nutanix の教育をしっかり受けている三谷商事は、Nutanix と一体となり迅速にサポートしてくれるので安心です。」

DR を目的としたシステム基盤上のファイルのバックアップには、他に AWS 等のパブリッククラウドもバックアップ先として検討しましたが、速度面で課題がありました。学術情報ネットワーク (SINET: Science Information NETwork) に直収できる、三谷商事運営のデータセンターを活用することで、広帯域でセキュアな SINET L2 VPN によりパフォーマンスが向上し、回線速度の問題点を解決して、高速なバックアップが可能になりました。

## 今後の展開

「次期計画として、2023 年度に Windows 系基盤を更新する予定で、Nutanix 基盤に統合することも検討しています。特にファイルサーバーとして利用している Windows 系のサーバーが多いため、Nutanix ユニファイドストレージ (NUS) の Files Storage にも期待しており、採用に向けて調査しています」と杉村氏は今後の展望を述べています。

**NUTANIX**  
YOUR ENTERPRISE CLOUD

info-jp@nutanix.com | www.nutanix.com/jp

©2022 Nutanix, Inc. All rights reserved. NutanixはNutanix, Inc.の米国その他の国における商標です。その他の社名、製品名、ロゴ等は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。本書に記載した情報は、予告なしに変更される場合があります。

4/2022

# 九州産業大学、Nutanixでプライベートクラウドを構築し学内サービス品質を向上

Nutanix Cloud Platformで、IT管理負担軽減、ラック削減、クラウドの柔軟な拡張性、パフォーマンス向上、学内サービスの強化を一挙に実現

## 業界

学校・教育業界

## 課題

- 遠隔授業など新たなニーズに対応したインフラ強化
- 学習管理システム(LMS)を利用する学生の利便性向上
- 工学系の教職員への多目的仮想マシン払い出し等のITサービス向上

## ソリューション

Nutanix クラウドインフラストラクチャー (NCI)

- Nutanix AOS Storage
- Nutanix Prism

## アプリケーション

- 学習管理システム (LMS)
- 工学系教職員用仮想化環境

## 導入によるビジネスのメリット

- 学内サービスの質の向上
- IT運用担当者の管理負担を軽減
- 安定的かつ継続的なインフラ運用と柔軟な拡張性



「今回導入したプライベートクラウド基盤の性能が高く、SEの作業負担が大幅に軽減されました。大学のシステムは時期により負荷が高くなりますが、Nutanixのおかげで状況に応じてパフォーマンスを最適化することができます。DX推進でシステムの負荷が高まる中、柔軟に対応できるNutanixのアーキテクチャーに大きな期待を寄せています」

- 九州産業大学 総合情報基盤センター 事務部長 石岡正次 氏



「複雑さを増す18ノードのブレードサーバー、ネットワーク、SANストレージを少数のチームで管理することは、ここ数年、情報基盤センターにとってますます困難な課題となっていました。煩雑なオンプレミス運用や計画停電に対応する必要があり、さらには専門的なITスキルセットも必要でした」

- 九州産業大学 総合情報基盤センター 事務室長 福田仁志 氏

## 取り組み

産業と大学は車の両輪のように一体となって時々のニーズを満たすべきであるという「産学一如」を建学の理想に掲げる九州産業大学。同校は2020年度に創立60周年を迎え、今後10年間で取り組むべき事項をまとめた「中期計画」を策定しています。その最終目標を「文理芸融合のグローバル総合大学へ」と定め、「教育」「研究」「国際化」「産学連携」「社会・地域貢献」「ダイバーシティ」「ブランディング」「経営基盤」という8つの分野で、2030年までに、多様な資質を有する学生の獲得、文理芸が融合した多様な教育プログラムの構築、「学び」の質保証の構築、学生支援の充実、リカレント教育の拡充を目指します。

中期計画の8つの分野に必要なICT基盤は、2年後に事務システム、更にその1年後にはネットワークを入れ替え、デジタルトランスフォーメーション(DX)に向けた検討を行なっています。遠隔授業におけるネットワークやインフラの課題解決、大学の根幹をなす事務システムの性能強化や使い勝手の改善、学生や教職員が利用する学習管理システム(LMS)の改善などが急務でした。

九州産業大学 総合情報基盤センター 事務部長の石岡正次氏は「中期計画の重要な要素の一つがDXです。経営層のITへの期待は高く、理解があり、DXの推進力になっています。総合情報基盤センターは、Nutanixを活用し、ICTによる教育の質の向上と業務の効率化を図ることで、DXをリードし推進します」と語ってくださいました。

## ソリューション

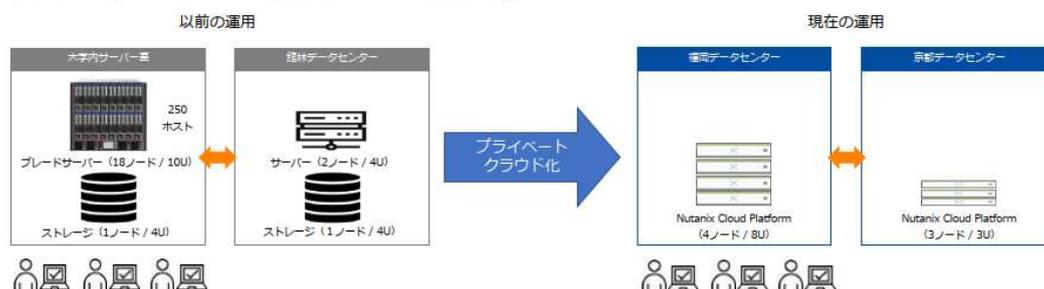
「複雑さを増す18ノードのブレードサーバー、ネットワーク、SANストレージを少人数のチームで管理することは、ここ数年、当センターにとってますます困難な課題となっていました。煩雑なオンプレミス運用や計画停電に対応する必要があり、さらには専門的なITスキルセットも必要でした」と九州産業大学 総合情報基盤センター 事務室長 福田仁志氏は話します。

Nutanix Elevate/パートナーのSCSK株式会社は、効率的な運用および職員負担の軽減のため、データセンターへの移行とNutanix Cloud Platformを利用した基盤構築を提案しました。総合情報基盤センターでは、導入事例の研究やVMware vSANとの比較、Nutanix Prismによる運用評価など、詳細な検証を実施しました。その結果、運用効率と拡張性が飛躍的に向上することが見込めることから、Nutanix Cloud Platformの導入を決定しました。

パブリッククラウドも検討しましたが、コストパフォーマンスに課題があり、従量制の消費形態は大学の予算運用に合いませんでした。パブリッククラウドは、コストの予測や予算化が困難です。それに比べて、Nutanix Cloud Platformは、柔軟で運用しやすく、拡張性の高いクラウドで、予算化しやすい消費形態という大学のニーズを満たしていました。したがって、学園経営陣の支援を得ながら、サーバーを大学の建屋から堅牢性の高いデータセンターに移すプライベートクラウドへの移行を円滑に進めることができました。

## 導入効果

データセンター移行時に、NutanixのSizerツールで仮想マシン情報をサイジングしてリソースの最適化を行い、データセンターのラック数や電力消費を削減し、全体的なTCOの向上に繋がりました。また、教職員が利用する仮想サーバー群もデータセンターに集約し、Nutanix Prismで効率的に運用することができ、教職員サービスが大幅に向上されました。



福田氏は「旧来システムと比較して、Nutanix Cloud Platformによるホスティングサービスは、Prismにより設定自体が簡素化され、仮想マシンの設定が非常に容易になったため、常駐SEの工数が削減されました。追加検討していた理工学部のサーバーリプレースも、性能・容量上問題ないことが確認できたため、同システムに集約できる予定です。Nutanixの柔軟性もプラスに働いています」と評価します。

一方、学生向けのLMSは、授業に数千人が同時にアクセスするため、大きなパフォーマンスが必要です。導入前は不安の声もありましたが、Nutanix搭載のHPE Proliant DXを採用したプライベートクラウドにより、高い要求にも難なく対応できる安定したパフォーマンスを発揮し、学内からも高い評価を得ています。

## 今後の展開

「年2回、非常に集中的な作業負荷に直面する履修システムの課題を改善するために、事務系システムの更新を計画しています。1万人規模の同時アクセスに耐えられるデータベースの性能を重視して、慎重に検討しながらシステムの拡張を検討していきます。さらに、ホスティングサービスを拡充して他学部へも展開し、既存の学部内サーバの統合も計画しています」と、石岡氏は今後の展望を述べています。

**NUTANIX**  
YOUR ENTERPRISE CLOUD

info-jp@nutanix.com | www.nutanix.com/jp

©2022 Nutanix, Inc. All rights reserved. NutanixはNutanix, Inc.の米国その他の国における商標です。その他の社名、製品名、ロゴ等は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。本書に記載した情報は、予告なしに変更される場合があります。

3/2022

# 滋賀大学のサーバー基盤システムを支える Nutanix Cloud Platform、 操作性向上でDX化推進を加速

## 大学内基盤システムの安定稼働やセキュリティ強化を目指し、 徹底したクラウド化を進める

### 背景と課題

国立大学法人 滋賀大学は、従来からある経済学部、教育学部に加え、2017年度に国内初となるデータサイエンス学部を新設し、「未来創生」型の文理融合型教育を推進しています。2021年度には、文部科学省が公募する「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」において「リテラシーレベル+(プラス)」に、2022年度にはデータサイエンス学部のプログラムが「応用基礎レベル+(プラス)」に認定されています。

こうした他に例を見ない先端教育を支えるために、2023年度には全学規模で情報基盤システムのリプレースを実施し、学内の情報サービスの機能向上とセキュリティ強化に取り組みました。全学基盤の構築にはクラウドをベースとし、「サーバ基盤システム」「基盤ネットワークシステム」「PCクライアントシステム」を3つの柱としてプロジェクトを進行。今回、この「サーバ基盤システム」に、Slerとなる三谷商事を介して、セキュリティやシステム安定性の強化を主な目的として、Nutanix Cloud Platformを新たに導入しました。

### 主なメリット

- ・スナップショットを用いた簡便なバックアップ・復元操作
- ・管理・運用の容易化と操作全体のシンプル化
- ・システムカスタマイズ性と対応力の向上
- ・運用面における問い合わせ等コミュニケーションの迅速化

「2017年度に滋賀大学にはデータサイエンス学部が新設され、最近では『デジタル』『ICT』といったキーワードをきっかけに、Society5.0時代を生きる多くの学生が入学してきます。従来からある経済学部、教育学部とデータサイエンス学部がコラボするかたちで文理融合型教育を進める上で、先端教育を支えるサーバー基盤システムとしてNutanix Cloud Platformには期待しています」

滋賀大学 図書情報課 課長 瀧口和司 氏

「前回のリプレース時に三谷商事よりNutanix社の製品のご紹介をいただき、その際の説明資料がとてもわかりやすく、従来システムから操作性などを大幅に改善できる点を期待しました。

導入後、要望通りに操作性の向上が実現され、大変満足しています」

滋賀大学 情報基盤センター 大内理香 氏

「現在のところ、障害と言えは発生していませんが、ソフトウェアのアップデートなど運用面等で問い合わせをすると、いつもとても速いレスポンスでご回答いただいているので、ストレスなく運用・管理に集中できている印象があります」

滋賀大学 情報基盤センター 竹内友哉 氏

業界  
教育

お客様名  
国立大学法人 滋賀大学

地域  
アジア太平洋・日本

WEB サイト  
<https://www.shiga-u.ac.jp/>

課題

- ・セキュリティ脆弱性への対応強化
- ・ハードウェア拡張の容易化
- ・システム管理・運用の容易性を向上
- ・運用コストの削減

ソリューション

- ・Nutanix Cloud Infrastructure
- ・Nutanix Move

アプリケーション

- ・教育関係システム
- ・業務関係システム



NUTANIX

©2024 Nutanix, Inc. All Rights Reserved

---

## ソリューション

滋賀大学では、前回のリプレース時より、それまでオンプレミスで運用していた学内システムを、商用データセンターを利用したプライベートクラウドに加え、一部パブリッククラウドも利用した仮想化環境に移行させました。今回のNutanix Cloud Platformへの基盤移行を伴ったリプレースでは、一部残っていたオンプレミス運用の環境も合わせてクラウドに移行させ、ほぼすべての環境を仮想化しています。

基盤システムでは教育関係および業務関係システムがNutanix Cloud Platform上で稼働しています。徹底したクラウド移行推進の理由について大内氏は、「電源やセキュリティが強化されたデータセンターにサーバーを集約することで、計画的な点検を含む停電などによるシステム停止などのリスクを排除する」ことを挙げます。また同時に、以前より気がかりだったセキュリティに関する脆弱性にも今回のリプレース時に対応しました。

さらに滋賀大学はNutanix Cloud Platform導入のポイントとして、システム拡張時の簡便性を挙げています。現在はリプレースから時間が経っていないので、特に目立つリソース不足は発生していませんが、将来的にメモリーやハードディスクなどのリソース不足が発覚した際に、シンプルなサーバー構成とNutanix Cloud Platformのスケールアウト容易性のメリットを享受できると期待しています。

---

## 導入効果

Nutanix Cloud Platformの導入後、「一番強く感じたのは操作性の良さと管理のしやすさ」と実際の運用を振り返って大内氏は言います。「以前の環境では、一旦リモートで管理サーバーにアクセスしてアプリ経由でサーバーを管理していたが、Nutanix Cloud PlatformではWebブラウザから直接管理画面にアクセスして管理できるメリットは大きい」（大内氏）。また、サーバーの稼働状況も確認しやすくなったと感じています。

さらに、処理速度が向上し、バックアップや復元の操作が容易になった点もメリットとして挙げています。システムを停止させずにアップデート操作が可能な点も、可用性や操作性の高さを印象付けていると言います。特にスナップショット機能が充実しているので、ちょっとしたメンテナンスからサーバー増設やカスタマイズまで幅広くオペレーションの負荷を軽減できる点を評価しています。

---

## 今後の展開

成長分野を牽引する高度人材の育成・輩出を担う滋賀大学。そのシステム機能強化を支える環境基盤には、今、管理業務の効率化や自動化を含む強力なDX施策の推進が求められています。今回、滋賀大学が新たに導入したNutanix Cloud Platformでは、環境構成のシンプル化とともに、将来の拡張に向けた柔軟性が見込まれるため、データをフル活用した新しい教育・研究に役立つことが期待されます。

「まだ機能を十分に活用できていないと感じることがあるので、Nutanix Cloud Platformを大いに活用しつつ、管理業務の軽減やDX・自動化などにチャレンジしていきたい」（竹内氏）と期待を込めて将来の基盤環境について語りました。「今後、さまざまなシステム導入や拡張が予想されるので、その際には三谷商事とNutanix社に相談に乗っていただき、操作の容易なソフトウェアや簡便なシステム拡張などのご提案をいただくと嬉しく思います」（大内氏）。

# NUTANIX

[info-jp@nutanix.com](mailto:info-jp@nutanix.com) | [www.nutanix.com/jp](http://www.nutanix.com/jp)

©2024 Nutanix, Inc. All rights reserved. Nutanix は Nutanix, Inc. の米国その他の国における商標です。その他の社名、製品名、ロゴ等は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。本書に記載した情報は、予告なしに変更される場合があります。

6/2024

# 北見工業大学、 Nutanixを採用して 三大学の経営を統合

距離を超えた大学組織、教育、研究の連携とサービス最適化による  
業務効率の向上を実現する大学DXをNutanix Cloud Platformで推進

## 導入によるビジネスのメリット

- 三大学の経営統合に必要なネットワークおよびICTシステム基盤統合の実現
- 教職員や研究者など利用者のニーズに合わせたサービス提供が可能
- 柔軟に拡張できる基盤整備による経営統合後の将来構想の強力



「三大学のITを連携した経営は着実に成果を上げています。重要なのはネットワークやICTシステム基盤が有機的に統合されたクラウド基盤であることです。利用者側からのさまざまな要求に対して複数のクラウドサービスを組み合わせることで、最適化された環境整備につながると考えています」

- 国立大学法人北海道国立大学機構 北見工業大学  
 情報処理センター長 教授 升井 洋志氏

## 課題

工学系の単科大学として1966年に開学、「自然と調和するテクノロジーの発展」をコンセプトに、北海道での知の拠点として高度な技術者を数多く輩出している国立大学法人北見工業大学。2022年の小樽商科大学および帯広畜産大学との三大学の経営統合に向け、「経営改革」「連携教育」「オープンイノベーション」「遠隔教育」の4つの取り組みを進めています。

ネットワークやICTシステム基盤、業務システム、VDI環境などを全て同一のプラットフォームで構築するという基盤の標準化を目指しました。大学機構統合前の準備期間に認証ゲートウェイや運用管理システムと、北見・小樽・帯広の三大学向けの仮想化システムの環境整備を実施し、統合後は三大学連携遠隔教育やオープンイノベーションセンターを開設する計画です。2027年には全学生が新システムを利用開始できるよう新たな基盤づくりが急務でした。

「堅牢性や拡張性など全ての環境が満たされているのが理想ですが、これまでは調達方法の関係でシステムの導入時期が異なり、部分最適化されているもののバラバラな環境で運用してきました。利用者のニーズに柔軟に応えることができる新たな環境整備が課題でした」と北見工業大学 情報処理センター長 教授の升井洋志氏は説明します。

**NUTANIX**™

## 業界

学校・教育業界

## 課題

- 三大学のIT管理に最適な環境に統合
- イノベーション創出や遠隔教育環境整備
- 将来的な構想に向けて柔軟に拡張できる基盤づくり

## ソリューション

Nutanix クラウドインフラストラクチャー

- AOS Storage
- Nutanix クラウドマネージャー
- Intelligent Operations
- Self Service
- Nutanix ユニファイドストレージ
- Files Storage

## アプリケーション

- RADIUSサーバー
- ログサーバー
- 運用管理サーバー

## ソリューション

新たなシステム基盤の選定では、拡張性に課題のあった3層構成ではなく、堅牢性や拡張性、柔軟性の高いハイパーコンバインドインフラストラクチャー(HCI)をベースにしたプライベートクラウド基盤を前提に検討を進めました。升井氏は、「大学実行面では、パブリッククラウドを基盤システムに導入した経験がなく、手順なども整備されていません。また、学内にある研究データが保管されたストレージとの連携が可能で、学内で設定されたセキュリティポリシーとの整合性を満たすプライベートクラウド基盤が最適だと考えました」と述べています。

三大学統合に向けた環境整備の方針とこれらのシステム要件を満たし、拡張性の課題解消につながる基盤として Nutanix Cloud Platform の採用を決定しました。現時点ではまだハイパーバイザーに VMware を選択していますが、将来的に Nutanix AHV へ切り替えてクラウド基盤との親和性を高めながらコスト削減を図る予定です。また、経営統合を進める三大学の統合ネットワークやICTシステム基盤には数多くの仮想サーバーが稼働します。Nutanix Cloud Managerのインテリジェントな運用により、利用状況に応じた柔軟なリソース割り当てや仮想サーバー間でのリソースの最適化、無停止でのリソースの拡張が可能な点も高く評価されました。

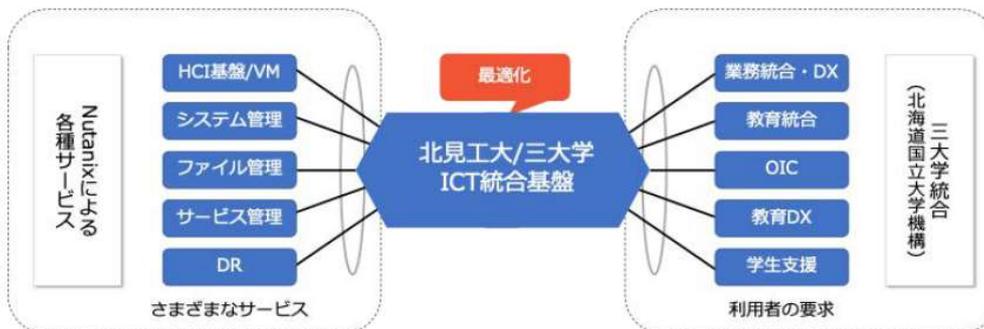
統合前の準備期間に6台の仮想サーバーにNutanixを導入し、認証ゲートウェイを含むネットワーク環境の整備を行いました。北見用に180台、小樽用に30台、帯広用に30台、合計240台の仮想サーバーを稼働する共通ICTシステム基盤として Nutanix で環境を整備し、サーバー仮想化と集約、運用効率化と自動化、将来に向けたサーバー環境の統合が実現できました。

## 導入効果

NutanixをICTシステム基盤とすることで、3つの分野に秀でた三大学の学術連携とオープンイノベーション活動の重要な基盤ができあがりました。IoT、ロボティクス、データサイエンス技術を有する北見工業大学、データ解析やマーケティングを得意とする小樽商科大学、農業ニーズ、気象データ、地形データを持つ帯広畜産大学です。

「アプリケーション環境を安全に移行ができたのは、システム基盤がシームレスに統合されているからだといっても過言ではありません。Nutanixクラウドマネージャーをもっと活用できれば、三大学が円滑に利用できるICT基盤になるはずです」と升井氏は語ってくださいました。

さらに升井氏は次のように付け加えます。「重要なのはネットワークやICTシステム基盤が有機的に統合されたクラウド基盤であることです。利用者側からのさまざまな要求に対して複数のクラウドサービスを組み合わせることで、最適化された環境整備につながると考えています。Nutanixを共通基盤として、Nutanixが提供するファイルストレージやセルフサービスなどを利用することで、これらの要件に対応することができるのです」。



## 今後の展開

今後、2025年ごろから構想をスタートさせる計画となっている第2期大学機構統合に向けて、ファイル管理や分散配置といった基盤として求められる環境を整備し、サーバー基盤の統合やデータ統合、そしてDR対策などに Nutanix が活用される見込みです。

「北見工業大学をデータセンター化していくことを目指しています。2022年4月に行う学術情報ネットワーク(SINET6: Science Information NETwork 6)への移行に伴って、200Gbpsというネットワークの大幅な増速を進めており、北海道にあるSINETのデータセンターと距離が近いという北見の地の利を生かし、全国の大学が検討する分散拠点やDR拠点として活用してもらえるようにしたいと考えています」と、升井氏は今後の展望について述べています。

**NUTANIX**  
YOUR ENTERPRISE CLOUD

info-jp@nutanix.com | www.nutanix.com/jp

©2022 Nutanix, Inc. All rights reserved. NutanixはNutanix, Inc.の米国その他の国における商標です。その他の社名、製品名、ロゴ等は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。本書に記載した情報は、予告なしに変更される場合があります。

11/2021



## 8. クラウドプロバイダ紹介

## 余白を生み出す、 日本モデルのデジタルインフラへ

インターネットは、今や必要不可欠なインフラとして社会に定着しました。多くの人たちが文化的に豊かに暮らしていくための社会基盤そのものであるとも言えます。そして、その豊かさはさまざまな人・企業の主体的な活用によって多岐に広がり続けています。リモートワークの普及によって場所にとらわれず子育てや介護などと両立しながら働けるようになったり、ITを使った新しい産業も次々と生まれました。DXは効率化といった文脈で語られがちですが、その人の働き方や、ビジネスのあり方、ひいては社会のあり方を変えることに、本質があるのではないのでしょうか。

日本は少子高齢化という大きな問題を抱えています。そんな日本が少子高齢化のまま幸せになれる、新たな社会のあり方を切り開きたいと考えています。デジタル化によって、少子高齢化と豊かさを両立させ、人口が減っていることすらチャンスに変えていく。そうして日本が試金石となれば、日本だけが幸せになるのではなく、人口が減り続ける他国に、安心の材料を差し出すこともできるはずです。

わたしたちが目指すのは、社会に余白をもたらすデジタルインフラです。言い換えれば、資源や時間などの量的な「豊かさ」、価値観のぶつかり合いを解決するような「ゆとり」を意図的につくっていくことです。目先の利益ではなく、自分の、自社の、社会の伸びしろを全員が考えられるようにする。そうすると、社会は全く変わります。

今後も社会のインフラとして役割をまっとうしながら、日本に最適なあり方を模索し、やりたいことが叶えられるような社会に向けて、さらなる向上に努めてまいります。みなさまのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



代表取締役社長 / 舞鶴高専株式会社  
**田中 邦裕** Kunihito Terada  
 大阪府出身、舞鶴高等学校中の1年時にインターネットを起業。自社の経営の傍ら若手起業家向けエンジニアの育成にも積極的に取り組んでおり、産学連携の産学共同研究や大学卒業後のキャリアアドバイザーも務める。インターネットを社会に広げ、日本アーケインフラ市場のDXの推進者、日本インターネットプロバイダー連合（JNPP）副会長、舞鶴高専同窓会理事などとして、業界発展のためにも尽力。

## 会社概要

### 沿革

- 1996 ○ さくらインターネット創業  
1996年12月に現社長の田中邦裕が、舞鶴高専在学中に学内ベンチャーとして創業
- 1999 ○ 株式会社を設立 / 最初のデータセンター開設  
1999年8月に株式会社を設立。10月には、第1号となるデータセンターを大阪市中央区に開設
- 2005 ○ 東証マザーズ上場  
2005年10月に東京証券取引所マザーズ市場に上場
- 2011 ○ 石狩データセンター開設  
2011年11月、北海道石狩市に国内最大級の郊外型大規模データセンターを開設
- 2015 ○ 東証一部に市場変更  
2015年11月に東京証券取引所市場第一部に市場変更
- 2021 ○ 創業25周年  
2021年12月、創業25周年
- 2022 ○ 東証プライム市場へ移行  
東京証券取引所 新市場区分のプライム市場へ移行

### 会社概要

商 号	さくらインターネット株式会社
本社所在地	大阪府大阪市北区大深町6番38号
創業年月日	1996年12月23日 (会社設立は1999年8月17日)
上場年月日	2005年10月12日 (マザーズ) 2015年11月27日 (東証一部 (現プライム市場) へ市場変更)
資 本 金	112億8,316万円
従 業 員 数	927名 (連結)

(※2024年9月末日現在)

## さくらのサービス一覧(一部)

パブリックサービスとしてITインフラを様々な形態でご提供  
サービスを内部ネットワークで接続させ、最適なインフラ環境をご用意



- ✓シンプルな料金体系と拡張性を兼ね備えたIaaS型のパブリッククラウドサービス
- ✓コストパフォーマンスに優れた「サーバ」と定額で利用可能な可用性の高い「ネットワーク」が強み



- ✓物理サーバを占有し、コントロールパネルから操作可能なホスティングサービス
- ✓高速なCPU、大規模メモリ、ストレージ占有など、物理サーバの利点を生かし、システム構成が可能



- ✓クラウド、専用サーバPHYに跨るGPUサービスブランド。ベアメタル、VM、コンテナでサービス展開
- ✓「NVIDIA H100」を主要ラインナップとし、機械学習環境、生成系AIモデル開発環境に最適



- ✓石狩と東京でサービス展開。機器をお持ち込みいただき、大容量バックボーンを利用可能
- ✓DR、BCP対策のため耐障害性に優れたシステムをコストを抑えて構築可能

## ガバメントクラウドへの取り組み

ガバメントクラウド正式認定に向け順調に前進  
国産クラウドとして中央省庁案件の受注等、新たな実績を積み上げる

### 2025年度末の正式認定に向け順調に前進

- 各官公庁や自治体出身の人材をチームに迎え、営業体制を強化  
多くの公共機関が同時期に移行するため、ITリソースや自治体職員の逼迫が懸念されるが、勉強会やイベントでの情報発信を積極的に行い、国やデジタル庁の方針、周辺のガイドラインを踏まえた提案が行える体制を整備
- 「さくらのクラウド」の技術水準向上や、既存事業・業務プロセスの変革に資する高スキル人材を確保  
外資系大手IT企業などから経験豊富なエンジニアが複数名入社。2025年度末までの「さくらのクラウド」のガバメントクラウド正式認定に向け、技術要件充足のための開発を推進

### 防衛装備庁と約7.5億円の役務請負契約締結

- 防衛装備庁と「サプライチェーン調査に必要な役務の提供等」についての役務請負契約を締結（7月）
  - ・ 防衛産業による装備品等の安定的な製造等を確保するため、防衛産業のサプライチェーンについて、安定的な製造等に係るリスクを把握し、必要な対応を図ることが目的
  - ・ 防衛省が実施するサプライチェーン調査に使用するクラウドインフラとして、IaaS型パブリッククラウド「さくらのクラウド」が採用

公告件名	サプライチェーン調査に必要な役務の提供等
発注者	防衛装備庁
落札金額(税込)	754,523,440円
入札方式	一般競争入札
サービス提供期間	2024年10月1日～2029年3月31日

## アイティーエム株式会社のご紹介

# 『デジタル社会の安心・安全を提供する』



Cloudサービス



Cyber Securityサービス

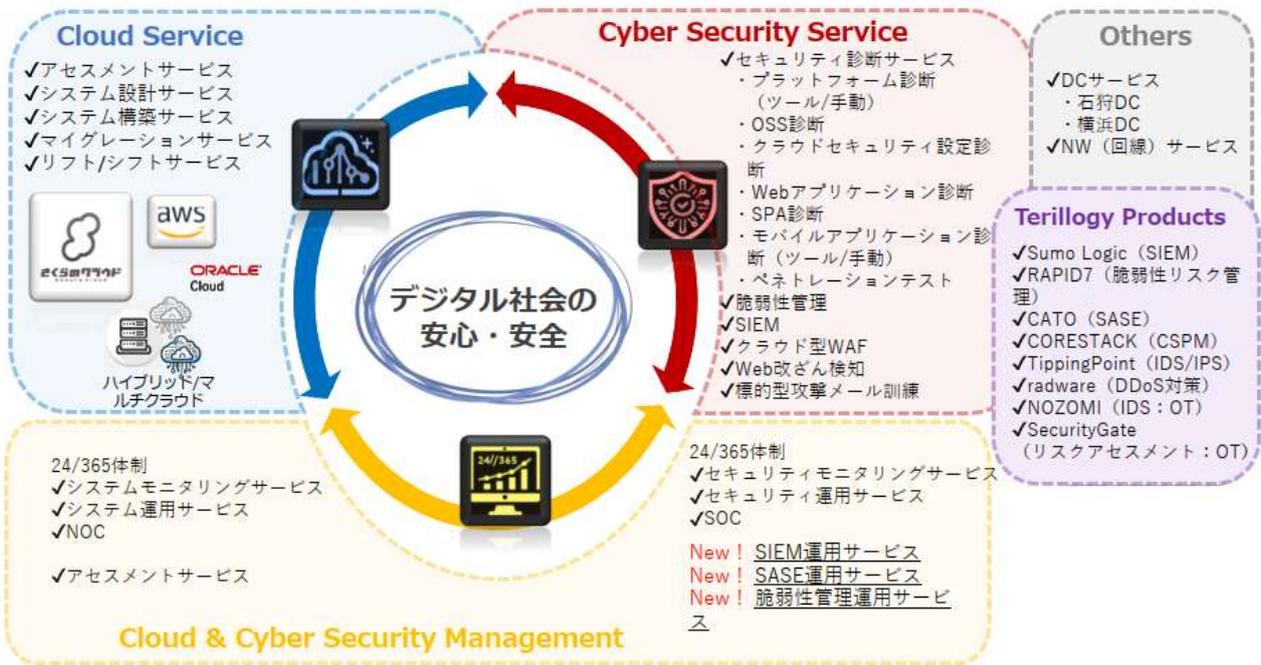


Cloud & Cyber Securityマネジメント

<b>社名</b>	アイティーエム株式会社
<b>事業内容</b>	クラウドサービス事業/サイバーセキュリティ事業 クラウドおよびサイバーセキュリティマネジメント事業
<b>設立</b>	2017年1月4日（会社分割により新設会社の設立年月日となります）
<b>株主</b>	さくらインターネット株式会社 80% 株式会社テロロジーホールディングス 20%
<b>取得資格</b>	届出電気通信事業者 届出番号: A-24-12916 ISO/IEC 27001:2013 / JIS Q 27001:2014
<b>所在地</b>	東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル
<b>代表者</b>	代表取締役社長 河本 剛志
<b>URL</b>	<a href="https://www.itmanage.co.jp">https://www.itmanage.co.jp</a>

※2024年11月現在

# アイティーエム株式会社のサービスマップ



# アイティーエム株式会社のサービス領域

ICTシステムにおける、安定稼働、最適パフォーマンス、コスト、セキュリティが網羅されたサービスを設計から構築、運用および運用後の改善提案までワンストップで提供



- クラウドサービス事業
- サイバーセキュリティサービス事業
- クラウドおよびサイバーセキュリティマネジメント事業
  
- データセンター事業
- ネットワークサービス事業

# 1 Network, 1 Cloud, 1 Extreme

私たちエクストリームが、クラウド上のネットワークをひとつにします

Extreme Networksは業界で初めてのユニバーサルプラットフォームの提供を開始し、また他社に先がけてWi-Fi 6/Wi-Fi 6E製品の出荷を開始するなど、お客様の課題解決のために、市場にイノベーションを起こしています。全世界で5万を超えるお客様が、当社のエンドツーエンドのクラウド駆動型ネットワークソリューションを導入し、最高ランクのサービスとサポートを利用して、デジタルトランスフォーメーションへの取り組みを加速させています。



## Fabric



- Extreme Networks は、1つの統合されたネットワークの管理・セキュリティ・分析を一つのクラウド上での一貫した運用フレームワークで提供するという差別化されたアーキテクチャを提供します。
- Universal ZTNAは、クラウドNACとZTNAに単一のポリシーを適用し、セキュリティの複雑性とリスクを軽減します。
- Business Insightは、ネットワーク分析を活用してビジネス成果を向上させるのに役立ちます。
- Intuitive Insightsは、IoTの管理を簡素化します。
- ExtremeCloud IQは、有線、無線、SD-WANの統合管理を提供し、運用を簡素化します。
- ExtremeCloud IQ - Site Engineは、アプリケーション・アナリティクスとネットワーク・アクセス・コントロール、および当社とサードパーティのスイッチ管理を備えた堅牢なオンプレミス・デバイス管理を提供します。
- IQ Controllerは、特に大規模なドメインに適したオンプレミスWi-Fiソリューションを提供します。
- ExtremeのNetwork Fabricは、5,000件の導入実績を誇る業界で最も導入されているファブリックであり、自動化、セキュリティ、フェイルオーバーサービスを備え、キャンパス、データセンター、支店をカバーする唯一のファブリックでもあります。
- 当社のユニバーサルスイッチとアクセスポイントは、簡素化されたライセンス体系により、ライセンス管理の負担を軽減します。



Your Network,  
Your Way



Leading  
Innovation



Dedicated  
Support



Layered  
Security



Radical  
Simplicity

## お客様の声

Extreme Networks のネットワークソリューションは、皆様の身近で導入されています。以下に記すのは、そのほんの一部のお客様です。ここから連想される誰もが知るあの大学、あの空港、あのホテル… 多くの場所でExtreme Networksが皆様を支えています。



「MLBはExtreme Networksを使った大幅なアップグレードを、従来のベンダーと比較して半分の時間で完了しました。デジタルサインージによるパーク内のナビゲーションや、モバイルでの売店注文など、新たなゲスト機能の展開が可能となり、また、アナリティクスによって今後のアップグレードやパートナーシップの計画をより賢明に進めることができ、ファンがシアトルでお気に入りのチームの試合を見に来るたびに、より良い体験を提供し続けることができるようになりました。—シアトル・マリナーズ インフォメーションテクノロジー シニアバイスプレジデント Kari Escobedo 氏



オールド・トラッフォードにエクストリームWi-Fi 6アクセスポイントを導入することで、高速で信頼性の高いWi-Fi接続によるファン体験の変革と、高性能で遅延の少ない、そしてセキュリティの高いデジタルサービスを提供するクラブ機能の向上が期待できます。さらにエクストリームは、マンチェスター・ユナイテッドがリアルタイムのネットワーク分析にアクセスすることで、ファン体験と会場全体の運営に関する、よりパーソナライズされた情報に基づく意思決定を支援します。—マンチェスターユナイテッドホームページより



Extreme Networksは、我々ITチームの毎日をとても楽なものに変えてくれました。各航空会社の搭乗客向け航空券ダウンロード用アプリ、現場のスタッフが使用するOffice 365アプリなど、様々なデバイスやアプリケーションのパフォーマンスを向上させる一方で、各航空会社の発券およびゲートシステムをシームレスに管理することができるようになりました。—ラスベガス ハリーリード空港ネットワーク管理者 Troy Allen 氏

## 第三者機関からの位置づけ

Extreme Networksは過去6年連続でGartner®エンタープライズワイヤード/ワイヤレスLANインフラストラクチャ部門のマジック・クアドラントにてリーダーの一社に位置づけられています。また、サービスとサポートについても、お客様の声をランキングで表したガートナー・ピアインサイトで#1にランクされています



Gartner  
Peer Insights™

#1 Ranked  
Service and  
Support

### Extreme Networks株式会社

〒100-0013

東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル11F

お問い合わせ

<https://jp.extremenetworks.com/contact-sales/>

または [info.jp@extremenetworks.com](mailto:info.jp@extremenetworks.com) 宛に

メールにてお問い合わせください。





## 企業別索引（五十音順）

### <ア>

#### アイティーエム株式会社

脆弱性管理サービス 51  
SiteScan2.0(プラットフォーム診断) 91  
WebSiteScan(Web アプリケーション脆弱性診断) 93  
[プロバイダ紹介] 127

### <ウ>

#### 株式会社内田洋行

ATR CALL BRIX クラウドサービス 17  
画面モニタリングシステム RealCAST (リアルキャスト) 19  
codemari クラウドサービス 33  
RoomSense クラウドサービス 39  
ASSETBASE 81  
ソフトウェア配布提供システム Download Station 83  
ウチダの Office 学割 U365 85  
ウチダのパソコン学割 U365 87  
証明書学外発行サービス 89

### <エ>

#### Extreme Networks 株式会社

ExtremeCloudTM IQ 75  
[プロバイダ紹介] 129

### <サ>

#### さくらインターネット株式会社

SINET 接続サービス 49  
さくらの VPS 43  
さくらのクラウド 45  
さくらの専用サーバ 47  
[プロバイダ紹介] 125

### <シ>

#### ジェイズ・コミュニケーション株式会社

RevoWorks クラウド 65  
Cato クラウド (SASE ソリューション) 67  
Darktrace ActiveAI Security Platform 69

### <ニ>

#### ニュータニクスジャパン合同会社

Nutanix Enterprise AI 71  
Nutanix Kubernetes Platform 73

### <ネ>

#### ネットアップ合同会社

Cloud Volumes ONTAP 23  
Autonomous Ransomware Protection + Cloud Insights Storage  
Workload Security による多層防御 25  
BlueXP Classification で実現するデータガバナンス 27  
NetApp FlexPod AI 29  
NetApp Keystone for Storage as a Service 31

### <ヒ>

#### 株式会社日立製作所

TWX-21 MRO 集中購買サービス 37  
EverFlex from Hitachi 仮想化基盤 53  
エンタープライズクラウドサービス G2 55  
クライアントサービス 日立のデータセンター 57  
フェデレーテッドクラウド 59  
日立 データセンターサービス 61

#### 株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト

リモートアクセスシステム DoMobile 63

### <ワ>

#### Wasabi Technologies Japan 合同会社

Wasabi Hot Cloud Storage Wasabi Cloud NAS 77



## 大学 ICT 推進協議会・クラウド部会 の歩み

- 主 査 渡邊英伸 (広島大学)  
 副 査 梶田将司 (京都大学)  
 副 査 吉田浩 (国立情報学研究所)  
 副 査 脇昌弘 (ネットアップ合同会社)  
 副 査 須藤憲一 (プラナスソリューションズ株式会社)

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会は 2012 年 9 月 28 日に活動を開始いたしました。そして大学 ICT 推進協議会の中でも活発な活動を行っている部会の一つだと自負しております。

本部会では、大学 ICT 推進協議会年次大会における企画セッションの開催、定期的な部会会合を通じてアカデミッククラウドに関する情報発信及び情報共有を推進して参りました。また、関係機関と協力してアカデミッククラウドに関する研究とその普及にも取り組んで参りました。

クラウド部会の活動履歴を以下に記します。

### ■ 大学 ICT 推進協議会年次大会における企画セッションの開催

年度	企画セッションの内容
2012年度年次大会	「大学向けクラウド利用のニーズとシーズ」 「安否確認システムの共同開発・共同利用における現状と課題」
2013年度年次大会	「学術インタークラウド基盤の実現に向けて」 「安否確認システムの共同開発・共同利用」
2014年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ（1）」 「大学向けクラウドソリューションカタログ（2）」 「安否確認システムの共同開発・共同利用」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2014発行・配布
2015年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ（1）」 「大学向けクラウドソリューションカタログ（2）」 「安否確認システムの共同開発・共同利用」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2015発行・配布
2016年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ1」 「大学向けクラウドソリューションカタログ2」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2016発行・配布
2017年度年次大会	「クラウドソリューション&ライセンスワークショップ（1）」 「クラウドソリューション&ライセンスワークショップ（2）」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2017発行・配布
2018年度年次大会	「クラウド導入支援のあり方を考える」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2018発行・配布
2019年度年次大会	「組織のセキュリティポリシーに合致するクラウド環境の作り方」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2019発行・配布
2020年度年次大会	「大学における働き方・教え方改革とクラウド活用」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2020発行・配布
2021年度年次大会	「クラウド活用で加速する大学DXのベストプラクティスの検討と展望」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2021発行・配布
2022年度年次大会	「クラウドファースト戦略からクラウドネイティブ戦略を見据えた人材育成の展望」 「クラウドネイティブ戦略を見据えたクラウド最適化ソリューション」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2022発行・配布

2023年度年次大会	「大学アーキテクチャの参照モデルとDX」 「今後のAI開発・活用におけるハイブリッドクラウドのあり方について」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2023発行・配布
2024年度年次大会	「クラウドを活用したDXの最前線」 「大学DX勉強会」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2024発行・配布

## ■分科会会合の開催

回	開催日	会場	他機関との連携等
第1回会合	2012年9月28日	京都大学	
第2回会合	2012年10月31日	学士会館	
第3回会合	2012年12月19日	神戸国際会議場	AXIES2012年度年次大会
第4回会合	2013年2月21日	国立情報学研究所	
第5回会合	2013年5月30日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第6回会合	2013年9月5日	北海道大学	CloudWeek2013
第7回会合	2013年12月20日	幕張メッセ	AXIES2013年度年次大会
第8回会合	2014年5月22日	東京ビックサイト	AXIES2014年度年総会
第9回会合	2014年9月1日	北海道大学	CloudWeek2014
第10回会合	2014年12月1日	AER (アエル)	AXIES2014年度年次大会
第11回会合	2015年5月21日	東京ビックサイト	AXIES2014年度年総会
第12回会合	2015年9月7日	北海道大学	CloudWeek2015
第13回会合	2015年12月4日	ウインクあいち	AXIES2015年度年次大会
第14回会合	2016年5月26日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第15回会合	2016年8月29日	北海道大学	CloudWeek2016
第16回会合	2016年12月14日	京都国際会館	AXIES2016年度年次大会
第17回会合	2017年9月5日	北海道大学	CloudWeek2017
第18回会合	2017年12月14日	広島国際会議場	AXIES2017年度年次大会
第19回会合	2018年3月9日	広島大学	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2018
第20回会合	2018年6月20日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第21回会合	2018年9月3日	北海道大学	CloudWeek2018
第22回会合	2018年11月19日	札幌コンベンションセンター	AXIES2018年度年次大会
第23回会合	2019年2月22日	広島大学	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2019
第24回会合	2019年5月29日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第25回会合	2019年9月2日	北海道大学	CloudWeek2019
第26回会合	2019年12月12日	福岡国際会議場	AXIES2019年度年次大会
第27回会合	2020年6月9日	国立情報学研究所(オンライン開催)	学術情報基盤オープンフォーラム
第28回会合	2020年9月10日	北海道大学(オンライン開催)	CloudWeek2020
第29回会合	2020年12月7日	大阪大学(オンライン開催)	AXIES2020年度年次大会
第30回会合	2021年3月5日	広島大学(オンライン)	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2021
第31回会合	2021年7月7日	国立情報学研究所(オンライン開催)	学術情報基盤オープンフォーラム
第32回会合	2021年9月2日	北海道大学(オンライン開催)	CloudWeek2021
第33回会合	2021年12月15日	幕張メッセ(ハイブリッド開催)	AXIES2021年度年次大会
第34回会合	2022年3月25日	広島大学(ハイブリッド開催)	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2022
第35回会合	2022年6月1日	国立情報学研究所(オンライン開催)	学術情報基盤オープンフォーラム2022

第36回会合	2022年9月7日	北海道大学(ハイブリッド開催)	CloudWeek2022
第37回会合	2022年12月13日	仙台国際センター(ハイブリッド開催)	AXIES2022年度年次大会
第38回会合	2023年3月10日	広島大学(ハイブリッド開催)	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2023
第39回会合	2023年5月31日	国立情報学研究所(ハイブリッド開催)	学術情報基盤オープンフォーラム2023
第40回会合	2023年8月30日	北海道大学(ハイブリッド開催)	CloudWeek2023
第41回会合	2023年12月13日	名古屋国際会議場	AXIES2023年度年次大会
第42回会合	2024年3月1日	広島大学(ハイブリッド開催)	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2024
第43回会合	2024年6月11日	国立情報学研究所(ハイブリッド開催)	学術情報基盤オープンフォーラム2024
第44回会合	2024年9月12日	北海道大学(ハイブリッド開催)	CloudWeek2024
第45回会合	2024年12月10日	奈良県コンベンションセンター	AXIES2024年度年次大会

## 大学 ICT 推進協議会・クラウド部会 ご入会のご案内

全国の大学でアカデミッククラウドの必要性に対する認知度が高まってきております。そのためアカデミッククラウドに関する様々な情報の共有が求められる状況にあります。

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会ではこうした大学のニーズに応えるべく、活動を活性化することを考えております。そのため、ご入会いただける大学会員及び賛助会員（企業会員）の皆様を募集しております。

本部会にご参加いただくことにより、大学会員及び賛助会員の皆様には以下のようなメリットがあると考えられます。

### ■大学会員のメリット

- ・クラウドは民間主導で急速な進化の過程にあるテクノロジーです。クラウド提供企業から最新の技術動向や技術情報を入手することができます。
- ・先進的な大学におけるクラウド導入事例を入手することが可能です。大学でのクラウド導入の留意点や注意点などを学ぶことができます。
- ・クラウド研究に携わる大学教職員及び企業のクラウド担当者との人脈を構築できます。

### ■賛助会員のメリット

- ・自社のクラウドソリューションを、大学教職員に広報することができます。
- ・クラウドに対する大学側のニーズをヒアリングすることができます。
- ・共同研究、実証実験などを行うパートナーとなる大学を探することができます。

つきましては、本部会へのご入会をご検討くださいますようお願い申し上げます。

入会のお申込み及びお問合せは、以下のメールアドレスまで願い申し上げます。

主 査 渡邊英伸 (広島大学)  
副 査 梶田将司 (京都大学)  
副 査 吉田浩 (国立情報学研究所)  
副 査 脇昌弘 (ネットアップ合同会社)  
副 査 須藤憲一 (プラナスソリューションズ株式会社)  
ご連絡先 sig-cloud-core2bd8kwj1 at axes.jp

クラウドカタログ2024

発行：クラウド部会

編集：プラナスソリューションズ株式会社 中田尚宏